

令和6年度

普通科

年間指導計画

3年

東京都立練馬特別支援学校

= 内 容 =

①教 科

国語・数学

国語

数学

音楽

美術

家庭

保健体育

職業

作業学習

②クラス授業

日常生活の指導

生活単元学習

特別活動

総合的な探究の時間

自立活動（重度・重複学級）

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級(類型)	3年・重度重複学級		
教科・領域等名	国語・数学		クラス・グループ		
教科・領域等の目標	(1) 日常生活に必要な言葉が分かり、簡単な指示に応じることができる。(知) (2) 言葉による人とのやりとりを楽しむことができる。(思) (3) 数や色、形、大きさの違いに気付き、場面に応じて活用しようとする。(態)				
単元(題材)名・主な学習内容		単元毎のねらい(評価の観点)	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	○言葉の働き ・呼名、出欠 (呼びかけへの呼応) ・写真を使った自分と友達の見分け等	・指示や説明を聞き、その指示に応じた行動をすることができる。(知) ・写真と名前や順番を判断して、表示することができる。(思) ・順番に前に出て、意欲的に活動に取り組もうとしている。(態)	<ul style="list-style-type: none"> 写真カード 名前カード 絵本 テレビ タブレット端末 絵本の内容を実物化 絵カード 写真カード 文字カード 太いペン 柔らかいペン 筆 鉛筆 運筆練習教具 写真カード
		5	○伝統的な言語文化 ・物語の読み聞かせ (注目 画面の変化 登場するものや人、生き物 繰り返し楽しさ 言葉のリズム 語句への興味)	・身近な人の話し掛けや会話などを通して、言葉を用いることで自分が感じた気持ちや要求が相手に伝わることを経験する。(知)	
		6	・身近な人の話し掛けや会話などを通して、簡単な事柄と語句を結び付けたり、語句から事柄を思い浮かべたりすることができる。(思)		
		7	・昔話や短い詩などの読み聞かせを聞いたり、模倣したりするなどして、独特の言い回しやリズム、繰り返しに親しもうとしている。(態)		
	9	○数量の基礎 ・具体物、物と物との対応	・物と物とを対応させることによって、個数を比べ、同等や多少が分かる。(知) ・指示された数の物を選ぶことができる。(思) ・物と物、物と言葉、物と数の組み合わせに意欲的に取り組もうとしている。(態)		
後期	2学期	10	○構造と内容の把握 ・物と言葉、動作と言葉の一致 ・選択・模倣 ・物→言葉や絵カード・言葉や絵カード→物 ・言葉や絵カード→動作 動作→言葉や絵カード	・自分の名前や食べ物の名前など日常生活でよく使われる具体物を知る。(知) ・身近な人との会話を通して、物の名前や動作などいろいろな言葉を聞いたり使ったりすることができる。(思) ・様々な組み合わせに関心をもって取り組もうとしている。(態)	
		11	○伝統的な言語文化 ・物語の読み聞かせ (模倣 場面に合った行動 次の場面への期待 因果関係 展開の予測)	・物語を理解して、内容にあった答えを選択することができる。(知)	
		12	・絵本の絵などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべる。(思) ・日常生活でよく使われる表示など特徴に気付き、読もうしたり、意味に応じた行動をしたりする。(態)		
	3学期	1	○図形 ・ものの類別・分類・整理 ・属性による分類 形=丸 四角 三角	・色や形、大きさの違いを認識している。(知) ・色や形、大きさに着目して分類することができる。(思) ・図形の形の違いに関心をもって取り組もうとしている。(態)	
		2	○情報の整理/記述 ・体験したことのイメージ化と表現 ・行事 旅行等の体験→写真の選択 言葉での表現 写真と言葉の一致	・場面に適した表現を選択することができる。(知) ・体験したことについて、映像や写真などを手掛かりにして、思い浮かべた事柄や思いを言葉と一致させることができる。(思)	
		3	・要求の表現、言葉等でのやり取り	・経験した身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべようとしている。(態)	

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）		
教科・領域等名	国語	クラス・グループ	2グループ		
教科・領域等の目標	(1) 平仮名、片仮名の読み書きの定着、向上を目指す。(知) (2) 日常生活で使う言葉の使い方に慣れる。(思) (3) 日常生活の中でのコミュニケーション能力を養う。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉の働き ・呼名・出席確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字や平仮名、片仮名で書かれた自分の名前が分かる。(知) ・写真や文字を見ながら友達の名前を呼び、名前を答える。(思) ・教員や友達からの働きかけや呼びかけに応じる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味をひく題材、繰り返し返しの内容、リズムのある内容、見通しのもてる内容を扱う。 ・場面ごとにマークをまとめて提示する。イラストや写真を活用し、言葉をイメージしやすくする。
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○語彙 ・社会生活で役立つ言葉（名詞、動詞、形容詞、擬音語、擬態語など） ・マトリックス ・ピクトグラム 	<ul style="list-style-type: none"> ・標識やシンボルマーク、身の回りの言葉の正しい意味を理解する。(知) ・文字、記号、絵から生活環境に合わせた行動につなげることができる。(思) ・学校や駅、道路など生活に必要な決まりを探そうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面ごとにマークをまとめて提示する。イラストや写真を活用し、言葉をイメージしやすくする。
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○語彙 ・文字を読もう ・いろいろな言葉 	<ul style="list-style-type: none"> ・平仮名、カタカナを正しく読むことができる。(知) ・日常生活でよく使う単語カードを読み、絵カードや写真を選ぶことができる。(思) ・挿絵を用いて社会生活に必要な挨拶や動作、感情を表す言葉を場面に応じて聞き、模倣して、言葉の意味に合わせて表現しようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストカード ・文字カード ・枠入りシート
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○はがき・手紙の書き方 ・暑中見舞い 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な手紙の書き方を理解する。(知) ・季節や相手に応じたふさわしい内容を選ぶことができる。(思) ・送る相手を意識して丁寧に書こうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器 ・はがき ・ワークシート
	9	<ul style="list-style-type: none"> ○はがき・手紙の書き方 ・暑中見舞い 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な手紙の書き方を理解する。(知) ・季節や相手に応じたふさわしい内容を選ぶことができる。(思) ・送る相手を意識して丁寧に書こうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器 ・はがき ・ワークシート 	
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統的な言語文化 ・物語の読み聞かせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・物語を聞き、語彙を増やすことができる。(知) ・気持ちを表す言葉を表現することができる。(思) ・いろいろな国の物語や、食べ物、植物に関心を示しながら聞こうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせの題材は、興味をひく題材、繰り返し返しの内容、リズムのある内容、見通しのもてる内容を扱う。 ・実態に応じて、興味をもてそうな本をあらかじめいくつか提示する。
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○図書室の利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室に行き、興味をもった題材を調べるために必要な本を自分で選ぶことができる。(知) ・自分が知りたいキーワードを文章から探すことができる。(思) ・本に興味をもち、表紙やページを自らめくり、見ようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実態に応じて、興味をもてそうな本をあらかじめいくつか提示する。
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○はがき・手紙の書き方 ・年賀状 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な手紙の書き方を理解する。(知) ・季節や相手に応じたふさわしい内容を選ぶことができる。(思) ・送る相手を意識して丁寧に書こうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器 ・はがき ・便箋、封筒 ・宛名用枠
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○書写 ・筆、ペン、鉛筆など 	<ul style="list-style-type: none"> ・道具の名称が分かる。(知) ・書く文字を選び、堂々と半紙に表現する。(思) ・筆記用具を正しく持ち、写し書きやなぞり書きをしようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・書道セット、手本 ・書道の基本姿勢を映像で見ることで、イメージしやすくする。
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統的な言語文化 ・百人一首（坊主めくり） ・かるた 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを理解することができる。(知) ・勝った、負けたを理解し、自分の気持ちを表現する。(思) ・順番を守り、ゲームに参加する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・百人一首 ・かるた
		3	<ul style="list-style-type: none"> ○はがき・手紙の書き方 ・暑中見舞い 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な手紙の書き方を理解する。(知) ・季節や相手に応じたふさわしい内容を選ぶことができる。(思) ・送る相手を意識して丁寧に書こうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器 ・はがき ・ワークシート

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）				
教科・領域等名	国語		3グループ				
教科・領域等の目標	(1) 身近な言葉を正しく理解したり、漢字を正しく読み書きしたりすることができる。(知) (2) 身近な言葉や漢字を日常生活の中で使用することができるようになる。(思) (3) 日常生活の中で定着しつつあるコミュニケーション能力を高め、場面に合わせて活用する。(態)						
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等				
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○語彙 <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの言葉 ・社会生活で役立つ言葉 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し方や書き方によって意味の異なる同音異義語や多義語があることを知る。(知) ・日常生活でよく使われる平仮名、片仮名、漢字を正しく読み書きすることができる。(思) ・他の人の話を聞く姿勢や態度を身に付ける。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実態に応じて、枠の大きさやなぞる文字の色を変えて、取り組みやすくする。 		
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○自己紹介、言葉遣い <ul style="list-style-type: none"> ・発表原稿作成 ・場面に応じた言葉遣い 			<ul style="list-style-type: none"> ・人前で話す経験を積み、自信をもって発表できるようにする。 ・オリエンテーションを丁寧に رفتてから図書室を利用する。 	
		6	○図書室の利用				<ul style="list-style-type: none"> ・図書室では、分類して並べてあることを知り、興味をもった題材を調べるために必要な本を自分で選ぶことができる。(知) ・自分が知りたいキーワードを文章から探すことができる。(思) ・本に興味をもち、集中して本を読み進めようとする。(態)
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○はがき・手紙の書き方 <ul style="list-style-type: none"> ・暑中見舞い 				
	9	<ul style="list-style-type: none"> ○記述 <ul style="list-style-type: none"> ・作文（夏休み、現場実習） 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わるように書くことができる。(知) ・身の回りの出来事、感想を書くことができる。(思) ・助詞に気を付けて、身の回りの出来事、感想を簡潔に文章にすることができる。(態) 				
後期	2学期	10		<ul style="list-style-type: none"> ○語彙 <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの言葉 ・社会生活で役立つ言葉 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に役立つ語彙を増やす。(知) ・日常生活でよく使われる平仮名、片仮名、漢字を正しく読める。(思) ・他の人の話を聞く姿勢や態度を身に付ける。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実態に応じて、枠の大きさやなぞる文字の色を変えて、取り組みやすくする。 	
		11		<ul style="list-style-type: none"> ○文章の読解 <ul style="list-style-type: none"> ・物語 ・伝記 ・説明文 			<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで、場面ごとに内容を理解する。(知) ・時系列に沿って内容を簡単にまとめることができる。(思) ・分かったことを簡潔に書いたり、相手に伝えたりしようとする。(態)
		12		<ul style="list-style-type: none"> ○はがき・手紙の書き方 <ul style="list-style-type: none"> ・年賀状 			
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統的な言語文化 <ul style="list-style-type: none"> ・書き初め ・かるた ・百人一首 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉を正しく書くことや聞き取ることができる。(知) ・筆に慣れ、字を丁寧に書くようにする。(思) ・お正月に残る日本の伝統文化に親しむ。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・書道セット、手本 ・書道の基本姿勢を映像で見ることで、イメージしやすくする。 ・かるた ・百人一首 		
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○記述 <ul style="list-style-type: none"> ・作文（1年間のまとめ） 			<ul style="list-style-type: none"> ・今年度学習した内容を振り返る。(知) ・今年度学習した成果をまとめ、発表する。(思) ・他の人の話を聞く姿勢や態度を身に付ける。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実態に応じて、枠の大きさの異なる作文用紙を用意し、書きやすくする。
3							

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）	
教科・領域等名	国語	クラス・グループ	4グループ	
教科・領域等の目標	(1) 身近な言葉や漢字を日常生活の中で正しく使用することができる。(知) (2) 相手を意識し、場面に応じた言葉遣いで話すことができる。(思) (3) 卒業後の生活を想定し、正確な漢字や丁寧な言葉を意識している。(態)			
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○表現 <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元において ICT 機器や写真、フラッシュカード等を活用し、視覚的な働きかけを行う。 ・実態に合わせた個別のワークシートを準備する。 ・教科書 ・葉書 ・便箋、封筒 ・書籍 ・タブレット
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○ややフォーマルな文章を書く <ul style="list-style-type: none"> ・手紙 	
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○内容の検討/構成の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・作文 	
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○場面に応じた言葉遣い <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧語 	
		9	<ul style="list-style-type: none"> ○語彙 <ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの漢字 	
	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○題材の設定/情報の収集 <ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習（方言） 	
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○構造と内容の把握 <ul style="list-style-type: none"> ・読解 	
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統的な言語文化 <ul style="list-style-type: none"> ・年賀状 	
		3学期	1	
2	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統的な言語文化 <ul style="list-style-type: none"> ・かるた ・百人一首 			
3	<ul style="list-style-type: none"> ○1年間のまとめと応用 			
後期	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統的な言語文化 <ul style="list-style-type: none"> ・かるた ・百人一首 	
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○1年間のまとめと応用 	
		3	<ul style="list-style-type: none"> ○1年間の課題、自分の行ってきた学習を振り返る。(知) ・学習の成果を確認し、日常生活の中で活用することができる。(思) ・自分の課題を意識し、今後に生かそうとしている。(態) 	

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）		
教科・領域等名	国語	クラス・グループ	5グループ		
教科・領域等の目標	(1) 日常生活に必要な読み書きの力を向上させ、言葉の定着を図る。(知) (2) 社会生活を意識し、場面や相手に応じて丁寧な言葉を活用できる。(思) (3) 必要な情報を読み取り、自分で調べようとしている。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○表現 ・自己紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わるような表現方法や場面にあった言葉を知る。(知) ・話したいことを整理し、文章に表すことができる。(思) ・話し手に注目し、聞くことへ意識を向けようとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元においてICT機器等を活用し多様な働き掛けが行えるようにする。 ・プリント ・教科書 ・タブレット端末 ・ハガキ ・便箋 ・封筒 ・興味を持って取り組めるよう、身近な題材を用意する。
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○ややフォーマルな文章を書く ・手紙 	<ul style="list-style-type: none"> ・近況や催しなどを知らせる手紙を書くことができる。(知) ・日時や場所などの必要な情報を正しく表記できる。(思) ・相手に伝えたいことを文で表現しようとしている。(態) 	
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○内容の検討/構成の検討 ・作文 	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿用紙の書き方に慣れ、知っている漢字や言葉を使って表現することができる。(知) ・自分の思いを適切に言葉に表すことができる。(思) ・体験したことを相手に伝わるように書こうとしている。(態) 	
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○場面に応じた言葉遣い ・丁寧語 	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧語や尊敬語を理解する。(知) ・相手や場面に応じた丁寧語を用いることができる。(思) ・相手を意識し、丁寧な言葉に言い直して話そうとしている。(態) 	
		9	<ul style="list-style-type: none"> ○語彙 ・身のまわりの漢字 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な手紙の書き方や時候の挨拶を知る。(知) ・宛名、住所などの位置を意識して正確に記入することができる。(思) ・相手に伝わるように書こうとしている。(態) 	
	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○題材の設定/情報の収集 ・調べ学習（世界の言語） 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な情報ツールに親しむ。(知) ・自分の知りたいテーマについての言葉選びの方法を知る。(思) ・必要な情報を様々な資料から読み取ろうとしている。(態) 	
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○構造と内容の把握 ・読解 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を正しく音読することができる。(知) ・説明文等の内容を正確に読み取ることができる。(思) ・文章の内容を理解し、問題に取り組もうとしている。(態) 	
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統的な言語文化 ・年賀状 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合った挨拶の言葉を知る。(知) ・宛て名の書き方を覚え、ルールに従って正しく書くことができる。(思) ・相手を意識し、丁寧な字で書こうとしている。(態) 	
		3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○書写 ・書き初め 	
2	<ul style="list-style-type: none"> ○百人一首 		<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統的な文化や風習を知る。(知) ・易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりできる。(思) ・百人一首の競技かるたのルールを覚え、古典を楽しもうとしている。(態) 		
3	<ul style="list-style-type: none"> ○1年間のまとめと応用 		<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習、自分の行ってきた学習について振り返る。(知) ・学習の成果を確認し、自分の課題を意識することができる。(思) ・身に付けた知識を、日常生活で活用しようとしている。(態) 		
後期	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○書写 ・書き初め 	<ul style="list-style-type: none"> ・手本を見ながら一画ずつ丁寧に書くことができる。(知) ・歴史的仮名遣いと現代語訳の違いを理解することができる。(思) ・決められた時間、集中して書写しようとしている。(態) 	
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○百人一首 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統的な文化や風習を知る。(知) ・易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりできる。(思) ・百人一首の競技かるたのルールを覚え、古典を楽しもうとしている。(態) 	
		3	<ul style="list-style-type: none"> ○1年間のまとめと応用 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習、自分の行ってきた学習について振り返る。(知) ・学習の成果を確認し、自分の課題を意識することができる。(思) ・身に付けた知識を、日常生活で活用しようとしている。(態) 	

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）		
教科・領域等名	国語		6グループ		
教科・領域等の目標	(1) 基礎的な漢字の読み書きの知識を身に付けると同時に、その意味を考えて日常生活で使うことができるようになる。(知) (2) 日常生活で必要とされるコミュニケーション能力を定着させ、スムーズな人間関係を構築する手段とする。(思) (3) 社会で必要とされる言葉の理解や語彙力を高め、正しく活用できるようになる。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○表現 <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介で伝えられる項目を書き出す。(知) ・社会人になったときの自己紹介の場面を設定し、自分の伝えたいことを整理して伝えたいことを明確にする。(思) ・それぞれが得意とする伝え方を工夫して発表しようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介の様々な例をパワーポイント等で視覚的に示す。
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○構造と内容の把握 <ul style="list-style-type: none"> ・創作（戯曲） 	<ul style="list-style-type: none"> ・戯曲にはどのようなものがあるかを知る。(知) ・自分に関わる事柄の中から話題を決める。(思) ・聞き手に話が伝わるよう推敲する力を身に付ける。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・想像しやすい題材を用意する。
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉遣い <ul style="list-style-type: none"> ・敬語 ・インタビューを通して敬語を使う ○内容の把握 <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューでメモをとる 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常よく使われる敬語、丁寧な話し方を覚える。(知) ・丁寧語、尊敬語、謙譲語の違いが分かる。(思) ・目的や場面、相手に応じた言葉遣いができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語（丁寧語、尊敬語、謙譲語）の一覧表を用意する。 ・例としてインタビューメモを提示する。
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統的な言語文化 <ul style="list-style-type: none"> ・手紙やはがきの書き方（暑中見舞い） 	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙による季節の挨拶や言葉使いを知る。(知) ・季節の挨拶や近況を知らせる手紙を書くことができる。(思) ・送る相手を意識してふさわしい内容で書こうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書で書き方の基本を学習する。(はがき、筆ペン)
	9	<ul style="list-style-type: none"> ○作文（夏休み、現場実習など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・経験したことを文章で書くことができる。(知) ・経験とそれによる自分の気持ちの変化を文章で表現ができる。(思) ・読み手に伝わるように工夫して書こうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末 	
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○話し合い <ul style="list-style-type: none"> ・意見をまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・友人と出かける際の目的の場所や集合、時間などを話し合う。(知) ・様々な資料を活用して自分の意見をまとめる。(思) ・全体の意見を聞き、まとめようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・項目を立てて振り返りをしやすくする。
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○構造と内容の把握/考えの形成 <ul style="list-style-type: none"> ・読解（物語文、説明文） 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成について知る。(知) ・文章を読んで理解したことに基づいて、まとめる。(思) ・自分の生活に関連させて感想を発表しようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み物は、興味のもちやすい内容のものを選ぶ。
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○書写 <ul style="list-style-type: none"> ・書初め 	<ul style="list-style-type: none"> ・止めやはね払いにより、異なる筆の使い方があることを知る。(知) ・決意や抱負を決めて、手本を見ながら書初めをする。(思) ・止めやはね払いを意識して、字形を整えて書こうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・書写の手本を用意する。(書道用具)
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統的な言語文化 <ul style="list-style-type: none"> ・古典に親しむ（百人一首） 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典と現代の仮名遣いという言葉の意味の違いを知る。(知) ・古典と現代語訳を読み比べ、様々な時代の人々の考え方について理解を深める。(思) ・好みの一首を決めて理由を伝えようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・百人一首など
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○語彙 <ul style="list-style-type: none"> ・様々な言葉 ・慣用句、四字熟語、世界の言葉 	<ul style="list-style-type: none"> ・慣用句や四字熟語など様々な言葉を知る。(知) ・慣用句や四字熟語を引用して、文を作成しようとする。(思) ・自分たちが日頃使用している言葉に意識をもつ。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書で取り扱っている言葉を中心に学習する。(教科書)
		3	<ul style="list-style-type: none"> ○記述 <ul style="list-style-type: none"> ・三年間のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・三年間で学習したことを振り返る。(知) ・自分の気持ちを整理し、その場に適した心情を表現できる。(思) ・それぞれの表わし方で振り返りを表現しようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（総合類型）			
教科・領域等名	国語		7グループ			
教科・領域等の目標	(1) 基礎的な漢字の読み書きの知識を身に付けると同時に、その意味を考えて日常生活で使うことができるようになる。(知) (2) 日常生活で必要とされるコミュニケーション能力を定着させスムーズな人間関係を構築する手段とする。(思) (3) 社会で必要とされる言葉の理解や語彙力を高め、正しく活用できるようになる。(態)					
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等			
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○表現 <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ○構造と内容の把握 <ul style="list-style-type: none"> ・創作（詩を書く） 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手に注目し、要点を聞き取り、メモを取る。(知) ・自分の話すことを整理して話す。(思) ・相手に伝わるように工夫して発表をする。(態) ・詩を読み、詩の技巧を知る。(知) ・感じたことや考えたことを言葉にして詩を書く。(思) ・読み手に気持ちが伝わるよう発表する力を身に付ける。(態) ・句点や句読点に気をつけて読む。(知) ・書かれている内容を感じながら読む。(思) ・内容に即した読み方を工夫しようとする。(態) ・日常よく使われる敬語、丁寧な話し方を覚える。(知) ・丁寧語、尊敬語、謙譲語の違いが分かる。(思) ・場に応じた話し方ができる。(態) ・手紙のあて名記入のバランスを知る。(知) ・季節の挨拶や近況を知らせる手紙を書くことができる。(思) ・送る相手を意識してふさわしい内容で書こうとする。(態) ・登場人物の心情をとらえて、人物像に即した読み方ができる(知) ・文章を読んで内容を要約できる。(思) ・話の展開や自分の体験などをもとに感想を発表しようとする(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・メモをとる項目を予め伝える。 ・歌の歌詞などを確認して参考にする ・リズム感のある教材を用意する。 ・敬語（丁寧語、尊敬語、謙譲語）の一覧表を用意する。 ・教科書で書き方の基本を学習する。（はがき、手紙、教科書、ボールペン、筆ペン） 	
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○音読/表現 <ul style="list-style-type: none"> ・音読 ○言葉遣い <ul style="list-style-type: none"> ・敬語 			
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統的な言語文化 <ul style="list-style-type: none"> ・手紙やはがきの書き方（お礼状など） ○内容の把握/考えの形成 <ul style="list-style-type: none"> ・読解（物語文） 			
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○記述/推敲 <ul style="list-style-type: none"> ・作文（夏休み、現場実習など） 			
	9		<ul style="list-style-type: none"> ・経験したことを文章で書くことができる。(知) ・経験とそれによる自分の気持ちの変化を文章で表現ができる(思) ・読み手に伝わるように工夫して書こうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・項目を立てて振り返りをしやすくする。(原稿用紙) 		
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○話し合い <ul style="list-style-type: none"> ・意見をまとめる ○構造と内容の把握/考えの形成 <ul style="list-style-type: none"> ・読解（説明文） 	<ul style="list-style-type: none"> ・友人と出かける際の目的の場所や集合、時間などを伝えられる。(知) ・様々な資料を活用して話し合うことができる。(思) ・全体の意見を考えて意見をまとめるようとする。(態) ・説明文の構造を理解した読み方ができる。(知) ・文章を読んで理解したことに基づいて、まとめる。(思) ・時事問題に関心をもち、自分の生活に関連させて感想を発表しようとする。(態) ・様々な文章を読んだり聞いたりして、知識を広げ、考えを深める。(知) ・短歌や俳句、川柳を、句切れや抑揚を意識して読む。(思) ・俳諧紀行文を味わい、俳句の創作に活用しようとする。(態) ・年始の挨拶状の形式が分かる。(知) ・近況や抱負を知らせる内容を書くことができる。(思) ・送る相手を意識してふさわしい内容で書こうとする。(態) ・丁寧に文字を書き写すことができる。(知) ・決意や抱負を手本を見ながら書初めする。(思) ・止めはね、払いを意識して、字形を整えて書こうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの経験を思い出すよう助言する。 ・読み物は、時事問題など興味のもちやすい内容のものを選ぶ。 ・親しみやすい題材（映像など）を用意する。(古典芸能、俳諧紀行文など) ・ガイドブック、タブレット端末 ・書写の手本を用意する。(書道用具) 	
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統的な言語文化 <ul style="list-style-type: none"> ・古典（奥の細道など） 			
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統的な言語文化 <ul style="list-style-type: none"> ・はがきの書き方（年賀状） ○書写 <ul style="list-style-type: none"> ・書初め 			
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○語彙 <ul style="list-style-type: none"> ・様々な言葉 ・慣用句、四字熟語、世界の言葉 	<ul style="list-style-type: none"> ・慣用句や四字熟語など様々な言葉を知る。(知) ・自分にとっての座右の銘を選ぶことができる。(思) ・自分から進んで新しい言葉を覚えて使おうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書で取り扱っている言葉を中心に学習する。(教科書) 	
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○記述/推敲/共有 <ul style="list-style-type: none"> ・文集の編集 			<ul style="list-style-type: none"> ・本やタブレット端末の情報を参考にして、編集の仕方を知る(知) ・内容や量を考えて、計画を立てる。(思) ・目次やあとがきなどの体裁を整えて、思い出に残る冊子を作ろうとする。(態)
		3				

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）		
教科・領域等名	数学		2グループ		
教科・領域等の目標	(1) 日常生活において必要な数学的な知識や技能を知る。(知) (2) 卒業後の自立した生活を目指し、必要な数学的思考を生活に生かす力を実践する。(思) (3) 図形、数に関する理解を深め、場面に応じて適切に活用できる。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	○データの活用 ・暦の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・今日、昨日、明日に親しむ。(知) ・暦の仕組みが分かり、予定の書き込みができる。(思) ・出来事と関連付けて考えることができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返しの学習の中で知識の定着を図る。 ・カレンダー
		5	○数えることの基礎 ・数の三項関係 一度に3種類の数を扱う	<ul style="list-style-type: none"> ・数詞、数唱、具体物との関係が分かる。(1から3まで、5まで、10まで)(知) ・数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いる。(思) ・数を数えようとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・数字カード ・座学だけでなく、アクティブラーニングを行い、体験的に学習する。
		6	○ものの類別や分類・整理 ・形のマッチング ・複雑な形	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ形が分かる。(知) ・位置関係を理解し、指示された場所を選ぶことができる。(思) ・具体物を操作しながら、感覚的に身につけようとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を適宜活用する。
		7	○データの活用 サイコロゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの数字を表の決まった場所に書くことを知る。(知) ・データを表に考えて記入をする。(思) ・表を見て結果を考えるようになる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム等を通して学習する。 ・繰り返しの学習の中で知識の定着を図る。
	9				
後期	2学期	10	○数えることの基礎 ・数と計算	<ul style="list-style-type: none"> ・ものの集まりと対応して、数詞が分かる。(知) ・生活に必要な足し算や引き算を活用することができる。(思) ・実際に具体物を動かしながら、理解を深めようとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・座学だけでなく、アクティブラーニングを行い、体験的に学習する。 ・ICT機器を適宜活用する。
		11	○図形 ・様々な図形の組み合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な形が三角や丸からできていることを知る。(知) ・文字や言葉の情報から図形をイメージして、正しく描くことができる。(思) ・図形を実際に動かし、課題に取り組もうとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム等を通して学習する。 ・繰り返しの学習の中で知識の定着を図る。
		12	○身の回りにある具体物 ・数、色、図形の知識を使ったゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・順番、色、形、数に関するゲームを通し、数学的な理解を深める。(知) ・1年間の学習から、必要な知識を使ってゲームを進めることができる。(思) ・(態)ルールを理解し、友達とゲームに参加している。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・座学だけでなく、アクティブラーニングを行い、体験的に学習する。
	3学期	1			
		2	○1年間のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習の内容を思い出す。(知) ・今までの学習で学んだ内容を活用する。(思) ・今までの学習で学んだことを使おうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を適宜活用する。 ・ゲーム等を通して学習する。
3					

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）
教科・領域等名	数学	クラス・グループ	3グループ
教科・領域等の目標	(1) 基本的な数の理解を深め、数的処理ができる。(知) (2) 卒業後の自立した生活を目指し、必要な数や量の感覚を身に付ける。(思) (3) 卒業後の自立した生活を目指し、長さ、重さ等の単位や図形、時間を活用しようとする。(態)		
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等
前期	4	<ul style="list-style-type: none"> 毎月初めにカレンダーを作成できる。(知) カレンダーを活用することができる。(思) 月、曜日、祝日などから予定などを意識する。(態) 1桁から2桁の加法の計算問題ができる。(知) 文章問題を読み、加算・減算の式を組み立てることができる。(思) 正しい電卓の使い方を確認し、3つ以上の数の計算をすることができる。(態) 「～分前」「～分後」の時間が分かる。(知) 今の時刻を見て、時計を読むことができる。(思) 目的地までの所要時間や移動手段を調べることができる。(態) 金種を理解することができる。(知) 指定された金額から必要なお金を選び、用意することができる。(思) 買い物物のロールプレイを通して、金額を計算して、正しく支払いをすることができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート ワークシート 電卓 デジタル時計 アナログ時計 硬貨、紙幣 電卓 財布 身近な具体物
	5		
	6		
	7		
	9		
後期	10	<ul style="list-style-type: none"> 正しく定規を扱うことができる。(知) 長さを測ったり、直線を引いたりできる。(思) 文字や言葉の情報から図形をイメージして、正しく描くことができる。(態) 様々な単位の読み方を知る。(知) 長さや重さ、量など、身近な具体物の計測ができる。(思) 「長い、短い」「重い、軽い」「多い、少ない」の比較をすることができる。(態) グラフの種類を知る。(知) 資料を基に、表やグラフを読み取ることができる。(思) 身近な場面で表やグラフが活用されていることに興味を持つ。(態) 1年間の学習内容の振り返りをする。(知) 主な学習内容を発表することができる。(思) 身近な場面で数学の学習が活かされていること考えることができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 定規 ワークシート はかり 定規 方眼紙 ICT機器 ワークシート 具体物
	11		
	12		
	1		
	2		
	3		
	3		

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）	
教科・領域等名	数学	クラス・グループ	4グループ	
教科・領域等の目標	(1) 基本的な数の理解を深め、数的処理の力を身に付けるようにする。(知) (2) 卒業後の自立した生活を目指し、必要な数学的思考を生活に生かす力を付ける。(思) (3) 卒業後の自立した生活を目指し、長さ、重さ等の単位や図形、時間を日常生活の中で活用する力を身に付ける。(態)			
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	1学期	4	○データの活用 ・カレンダーづくり ・月初めにカレンダーを作成できる。(知) ・明日、明後日、昨日など、表現することができる。(思) ・出来事と関連付けしてカレンダーを活用することができる。(態)	・ワークシート ・タブレット
	5	○整数の表し方 ・大きい数 ・小数 ・数のまとまりに着目し、100より大きい数や小数の表し方がわかる。(知) ・数のまとまりに着目し、数の表し方の適応範囲を広げることができる。(思) ・数の数え方を日常生活に生かそうとする。(態)	・ワークシート ・タブレット	
	6	○整数の加法、減法 ・3位数までの計算 ・電卓を使った計算 ・3位数までの計算問題ができる。(知) ・文章問題を読み、加算・減算の式を組み立てることができる。(思) ・正しい電卓の使い方を確認し、3つ以上の数の計算をすることができる。(態)	・ワークシート ・電卓	
	7	○数量/データの収集 ・時刻 ・時間の計算 ・「～分前」「～分後」の時間が分かる。(知) ・今の時刻を見て、時計を読むことができる。(思) ・目的地までの所要時間や移動手段を調べることができる。(態)	・デジタル時計 ・アナログ時計 ・タブレット	
	9	○数量/データの収集 ・お金の学習 ・金種を理解することができる。(知) ・指定された金額から必要なお金を選び、正しく支払いをすることができる。(思) ・金額の計算やロールプレイで学んだことを日常生活で活用できる。(態)	・硬貨、紙幣 ・電卓、財布 ・タブレット	
後期	2学期	10	○数量/データの収集 ・収支と支出（小遣い帳） ・収支と支出のつけ方を理解する。(知) ・生活に費用な足し算や引き算を活用することができる。(思) ・収支と支出をつけ、日常生活や校外学習で活用しようとする。(態)	・硬貨、紙幣 ・電卓、財布 ・タブレット
	11	○図形/測定 ・様々な図形 ・様々な単位 ・様々な単位の読み方を知る。(知) ・長さや重さ、量など、身近な具体物の計測ができる。(思) ・文字や言葉の情報から図形をイメージして、正しく描くことができる。(態)	・ワークシート ・電卓 ・タブレット ・定規 ・身近な具体物	
	12			
	3学期	1	○データの収集とその分析 ・表とグラフ ・表やグラフを読み取ることができる。(知) ・資料を基に必要な情報を読み取ることができる。(思) ・日常生活の中で表やグラフが活用されていることに関心をもつ。(態)	・ワークシート ・タブレット
	2	○1年間のまとめ ・学習内容の振り返りをする。(知) ・学習内容を発表する。(思) ・日常生活の中で数学が活用されていることを考えることができる。(態)	・ワークシート ・タブレット	
	3			

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）		
教科・領域等名	数学		5グループ		
教科・領域等の目標	(1) 基本的な数の理解を深め、数的処理の力を身に付けるようにする。(知) (2) 卒業後の自立した生活を目指し、必要な生活費等を考え計算する。(思) (3) 卒業後の自立した生活を目指し、長さ、重さ等の単位や図形、時間を日常生活の中で適切に活用できる。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○整数の加法、減法、乗法、除法 ・加算 ・減算 ・乗算 ・除算 ・電卓を使った計算 	<ul style="list-style-type: none"> ・電卓を正しく使い、3つ以上の数の計算ができる。(知) ・筆算を使い、2桁以上の加算、減算、乗法、除法ができる。(思) ・文章問題を読み、加算、減算、乗法、除法の式を組み立てようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・タブレット ・電卓
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○数量/データの収集 ・時刻と時間の計算 	<ul style="list-style-type: none"> ・「～分前」「～分後」の時間が分かる。(知) ・バスや電車の時刻表を見て、読み取ることができる。(思) ・目的地までの所要時間や移動手段を調べることができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル時計 ・アナログ時計 ・時刻表 ・タブレット
		6			
		7			
後期	2学期	9	<ul style="list-style-type: none"> ○数量/データの収集 ・お金の学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・金額から必要なお金を選択し、用意することができる。(知) ・指定された金額から必要なお金を選び、正しく支払いをすることができる。(思) ・金額の計算やロールプレイで学んだことを日常生活で活用できる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・硬貨、紙幣 ・電卓、財布 ・タブレット
		10	<ul style="list-style-type: none"> ○測定/図形 ・様々な図形 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しく定規を扱うことができる。(知) ・長さを測ったり、直線を引いたりできる。(思) ・文字や言葉の情報から図形をイメージして、正しく描くことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・定規 ・ワークシート ・身近な具体物
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○測定 ・様々な単位 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な単位の読み方を知る。(知) ・長さや重さ、量など、身近な具体物の計測ができる。(思) ・「長い、短い」「重い、軽い」「多い、少ない」の比較をすることができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・はかり ・定規 ・タブレット
	12	<ul style="list-style-type: none"> ○データの収集とその分析 ・グラフと表 	<ul style="list-style-type: none"> ・表やグラフを読み取ることができる。(知) ・資料を基に必要な情報を読み取ることができる。(思) ・日常生活の中で表やグラフが活用されていることに興味をもつ。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・棒グラフ ・円グラフ ・ワークシート ・タブレット 	
3学期	1	○1年間のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の振り返りをする。(知) ・学習内容を発表する。(思) ・日常生活の中で数学が活用されていることを考えることができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・タブレット 	
	2				
	3				

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）		
教科・領域等名	数学	クラス・グループ	6グループ		
教科・領域等の目標	(1) 卒業後の自立した生活を目指し、必要な金銭感覚や金銭を管理する力を身に付ける。(知) (2) 日常生活にある課題に対し、目的に応じて図やグラフを用いて、数学的に表現し伝え合うことができる。(思) (3) 自分の知りたいことについて、情報を収集し、数学的処理、表現を用いて考察する態度を養う。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○整数の加法、減法、乗法、除法 ・筆算を使った計算 ・電卓 	<ul style="list-style-type: none"> ・九九を覚えて、1桁の乗算の暗算ができる。(知) ・筆算を使い、2桁の乗算、除算ができる。(思) ・電卓の操作を正しく覚えて、正解を導き出そうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し取り組むことで見直しをもてるようにする。
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○数量の関係を表す式 ・文章題 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章問題を読み、加法、減法、乗算、除算の選択ができる。(知) ・文章題の内容を正確に把握し、式を作ることができる。(思) ・電卓等を使って、正しく答えを導こうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な題材を提示し、イメージしやすい生活の場面を設定して課題に取り組めるようにする。
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○概数 ・数のまとめり ・四捨五入 	<ul style="list-style-type: none"> ・四捨五入して概数を求めることができる。(知) ・日常生活の中で概数を使う場面を考えることができる。(思) ・概数が必要な場面、おおよその数を答えようとする。(態) 	
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○数量 ・お金の計算（割合、消費税、見積もり） 	<ul style="list-style-type: none"> ・収入と支出を正しく記入することができる。(知) ・指定された予算内で買えるものを見積もることができる。(思) ・生活費の内訳を知り、予算を立てる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・電卓や消費税計算アプリを使用する。
		9	<ul style="list-style-type: none"> ○データの収集とその分析 ・いろいろなグラフ 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果について、円グラフや帯グラフで表したり、読んだりできる。(知) ・外国の気温を表やグラフにまとめ、日本との違いを知る。(思) ・グラフの読み方を知り、様々なグラフを見て自分で比較してみようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドブック、パンフレット、インターネットなどから必要な事柄を活用する。
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○データの収集とその分析 ・グラフの使い方 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分でテーマを設定し、必要な情報を得ることができる。(知) ・調べたデータを図化し、まとめることができる。(思) ・調べたデータを基に発表をすることができる。(思) ・調べたデータを自分の生活に生かそうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドブック、統計データ、インターネットなどから必要な事柄を活用する。
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○図形 ・立体図形 ・展開図 	<ul style="list-style-type: none"> ・直方体の展開図を作成し、立体に組み立てることができる。(知) ・展開図を見て、隣り合う面が分かる。(思) ・展開図を見て、重なる点や辺が分かる。(思) ・立体の面と面、面と辺、辺と辺の関係が分かる。(思) ・身の回りにあるもののおおよその形を基本的な図形と対応させて理解しようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚支援教材や具体物を使用し、イメージしやすいようにする。 ・生徒の生活に身近な題材を取り入れ、実態に合ったワークシートを使用する。
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○数量/データの収集 ・時間の計算 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗換案内を利用して、必要な情報を探することができる。(知) ・交通経路を時間、場所、交通手段を含めてまとめることができる。(思) ・何分前、何時間後の計算ができる。(思) ・目的地、距離から待ち合わせに間に合うために何時に出ればよいか分かる。(態) ・電車やバスの時刻表の読み方を知ろうとする。(態) ・現場実習や進路先を想定して、具体的に通勤の時間を考えようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り換え案内アプリなどインターネットなどから必要な事柄を活用する。 ・視覚支援教材を用い、イメージしやすいようにする。
	3学期	1		<ul style="list-style-type: none"> ・数学の学習で楽しかったことや面白かったことを発表できる。(知) ・これからの生活に活かせる内容を考える。(思) ・卒業後も自分の生活のために考えていきたいものを発表し、継続して勉強していこうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習をまとめられるワークシートを準備する。
		2			
		3	○まとめ		

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級(類型)	3年・普通学級(総合類型)						
教科・領域等名	数学	クラス・グループ	7グループ						
教科・領域等の目標	(1)日常生活において必要な数学的な知識や技能を理解する。(知) (2)長さや重さなどの単位や図形、時間に関して場面に応じて適切に活用できる。(思) (3)金銭感覚や金銭を管理し、卒業後の自立した生活を目指す。(態)								
単元(題材)名・主な学習内容		単元毎のねらい(評価の観点)	指導の工夫及び活用する教材等						
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○整数の加法、減法、乗法、除法 ・筆算による計算 ・電卓を活用した計算 	<ul style="list-style-type: none"> ・電卓の効率的な使い方を理解する。(知) ・筆算を使い、2桁以上の乗法、除法の計算ができる。(知) ・電卓を使用して、正確に効率よく計算を行おうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に応じたワークシートを用意する。 				
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○数量の関係を表す式 ・文章題 			<ul style="list-style-type: none"> ・日常的によく使われる概数を題材として提示する。 			
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○概数 ・数のまとまり ・四捨五入 				<ul style="list-style-type: none"> ・身近な題材を提示し、イメージしやすい生活の場面を設定して課題に取り組めるようにする。 		
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○数量 ・お金の計算(割合、消費税、見積もり) 					<ul style="list-style-type: none"> ・電卓や消費税計算アプリを使用する。 ・生徒の生活に身近な題材を取り入れる。 	
	9	<ul style="list-style-type: none"> ○数量/データの収集 ・時間の計算 ・カレンダー 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット等を使って時間を調べることで、実生活に活かせるようにする。 						
後期	2学期	10		<ul style="list-style-type: none"> ○長さ、重さ、量 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある長さ、重さ、量の基本的な内容を理解する。(知) ・長さ、重さ、量について、およその見当を付け、単位を選択したり、測定したりすることができる。(思) ・長さ、重さ、量の基本事項を活用して、料理や移動距離などの身近な生活に活用しようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物を使用し、イメージしやすいようにする。 			
		11		<ul style="list-style-type: none"> ○データの収集とその分析 ・いろいろな表とグラフ 			<ul style="list-style-type: none"> ・自ら情報を取得し、分析する場面を設定する。 		
		12		<ul style="list-style-type: none"> ○図形 ・平面図形の面積 ・立方体図形 ・立体図形の体積 				<ul style="list-style-type: none"> ・立体物を製作するなど体験的に学ぶ機会を設定する。 	
	3学期	1		<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある立体を見つけようとする。(態) 					<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを活用し、学習の定着を図る。
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○1年間のまとめ 						
3									

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級(類型)	3年・重度重複学級			
教科・領域等名	音楽	クラス・グループ	1グループ			
教科・領域等の目標	(1) 創意工夫を生かした歌唱や演奏に必要な表現方法を増やす。(知) (2) 様々なジャンルの音楽に親しみ、興味や関心の幅を広げる。(思) (3) 主体的、協働的に学習に取り組み、音楽文化に親しみながら生活を明るくしていく態度を養う。(態)					
単元(題材)名・主な学習内容		単元毎のねらい(評価の観点)	指導の工夫及び活用する教材等			
前期	1学期	4	【歌唱】 ○声を出そう ・マイクに向けて声や息を出ることができる。(知) ・伴奏に合わせてタイミングよく発声することができる。(思) ・好きな歌の一部分を歌おうとしている。(態)	・ICT機器 ・歌詞カード		
		5	【器楽】 ○リズムを感じて音を出そう ・ベルハーモニーやハンドベルで音を奏でる。(知) ・他者の演奏と揃えて演奏できる。(思) ・音楽を聴き、自分から演奏しようとしている。(態)		・鍵盤楽器 ・打楽器 ・ハンドベル	
		6	【鑑賞】 ○世界の音楽に親しもう ・様々なジャンルの音楽を聴き、世界の幅広い音楽を知る。(知) ・教員の歌や楽器演奏を静かに聴いて楽しむ。(思) ・世界の様々な音楽を鑑賞し、興味をもつ。(態)			・ICT機器 ・旋律楽器 ・CD、DVD
		7	【身体表現】 ○音楽に合わせて動こう ・教員の簡単な動きを覚えて模倣する。(知) ・好きな歌や曲を聴きながら、身体を動かす。(思) ・曲調に合わせて身体を動かそうとしている。(態)			
	9					
後期	2学期	10	【歌唱】 ○音に合わせて声を出そう ・マイクに向けて母音や声や息を伸ばす。(知) ・歌曲や合唱曲の一部分を覚えて歌う。(思) ・楽曲の流れに合わせて歌おうとしている。(態)	・ICT機器 ・歌詞カード		
		11	【器楽】 ○こぶし祭に向けて ・友達と一緒に演奏しよう ・合図に合わせて鳴らすことができる。(知) ・数名のグループで、合奏ができる。(思) ・他者に向けて演奏しようとしている。(態)		・打楽器 ・ICT機器	
		12	【鑑賞】 ○身の回りの音や音楽を知ろう ・鑑賞している曲に使用されている楽器を知る。(知) ・楽器の音色や音楽を楽しむ。(思) ・ポピュラー音楽に興味をもつ。(態)			・ICT機器 ・旋律楽器 ・CD、DVD
	3学期	1	【身体表現】 ○リズムを身体で表現しよう ・教員の簡単な動きを覚えて模倣する。(知) ・音楽の大きな流れを感じ取り、動きに合わせて身体表現をする。(思) ・物や布を使った表現を楽しむ。(態)	・ICT機器 ・CD、DVD		
		2				
		3				

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）	
教科・領域等名	音楽		2グループ	
教科・領域等の目標	(1) 創意工夫を生かした歌唱や演奏に必要な表現方法を増やす。(知) (2) 様々なジャンルの音楽に親しみ、興味や関心の幅を広げる。(思) (3) 主体的、協働的に学習に取り組み、音楽文化に親しみながら生活を明るくしていく態度を養う。(態)			
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	1学期	4	【歌唱】 ○声を出そう ・マイクに向けて声や息を出すことができる。(知) ・伴奏に合わせてタイミングよく発声することができる。(思) ・好きな歌の一部分を歌おうとしている。(態)	・ICT機器 ・歌詞カード ・鍵盤楽器 ・打楽器 ・ハンドベル ・ICT機器 ・旋律楽器 ・CD、DVD ・ICT機器 ・CD、DVD
		5	【器楽】 ○リズムを感じて音を出そう ・ベルハーモニーやハンドベルで音を奏でる。(知) ・他者の演奏と揃えて演奏できる。(思) ・音楽を聴き、自分から演奏しようとしている。(態)	
		6	【鑑賞】 ○世界の音楽に親しもう。 ・様々なジャンルの音楽を聴き、世界の幅広い音楽を知る。(知) ・教員の歌や楽器演奏を静かに聴いて楽しむ。(思) ・世界の様々な音楽を鑑賞し、興味をもつ。(態)	
		7	【身体表現】 ○音楽に合わせて動こう ・教員の簡単な動きを覚えて模倣する。(知) ・好きな歌や曲を聴きながら、身体を動かす。(思) ・曲調に合わせて身体を動かそうとしている。(態)	
		9		
後期	2学期	10	【歌唱】 ○音に合わせて声を出そう ・マイクに向けて声や息を出すことができる。(知) ・伴奏に合わせてタイミングよく発声することができる。(思) ・好きな歌の一部分を歌おうとしている。(態)	・ICT機器 ・歌詞カード ・打楽器 ・ICT機器 ・ICT機器 ・旋律楽器 ・CD、DVD ・ICT機器 ・CD、DVD
		11	【器楽】 ○こぶし祭に向けて ・友達と一緒に演奏しよう ・ベルハーモニーやハンドベルで音を奏でる。(知) ・他者の演奏と揃えて演奏できる。(思) ・音楽を聴き、自分から演奏しようとしている。(態)	
		12	【鑑賞】 ○身の回りの音や音楽を知ろう ・様々なジャンルの音楽を聴き、世界の幅広い音楽を知る。(知) ・教員の歌や楽器演奏を静かに聴いて楽しむ。(思) ・世界の様々な音楽を鑑賞し、興味をもつ。(態)	
	3学期	1	【身体表現】 ○リズムを身体で表現しよう ・教員の簡単な動きを覚えて模倣する。(知) ・好きな歌や曲を聴きながら、身体を動かす。(思) ・曲調に合わせて身体を動かそうとしている。(態)	
		2		
		3		

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）	
教科・領域等名	音楽		クラス・グループ	
教科・領域等の目標	(1) 創意工夫を生かした歌唱や器楽演奏ができるための技術や表現力を高める。(知) (2) 様々なジャンルの音楽に親しみ、自分なりに音楽の良さや美しさを見出して聴くことができる。(思) (3) 主体的、協働的に学習に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るくしていく態度を養う。(態)			
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	1学期	4	【歌唱】 ○指揮者を見ながら、のびのびと歌おう ・歌のフレーズに合わせ、息継ぎを行う方法を知る。(知) ・歌詞に合わせ、息継ぎを工夫し歌うことができる。(思) ・仲間と一緒に歌うことで、みんなで歌う喜びを味わう。(態)	・ICT機器 ・歌詞カード ・プリント
		5	【器楽】 ○パートの役割を意識して演奏しよう ・文字楽譜を見て、演奏できる。(知) ・伴奏に合わせて自分のパートを演奏する。(思) ・自分の演奏を聴いて振り返りをしようとしている。(態)	・ICT機器 ・打楽器 ・鍵盤楽器
		6	【鑑賞】 ○世界の音楽に親しもう ・様々なジャンルの音楽を聴き、世界の幅広い音楽を知る。(知) ・特色に合った楽器を選んで表現することができる(思)。 ・特色に着目して鑑賞しようとしている。(態)	・ICT機器 ・DVD
		7	【創作】 ○楽器の音色を考えよう ・打楽器に触れ、材質や形による音色の違いを知る。(知) ・音色に合った効果音を考える。(思) ・物語に合わせて、楽器を演奏しようとしている。(態)	・打楽器 ・ワークシート
	9			
後期	2学期	10	【歌唱】 ○響きのある声で歌おう ・正しい姿勢で音程に注意しながら歌うことができる。(知) ・強弱を意識しながら表情豊かに歌うことができる。(思) ・仲間と一緒に歌うことで、みんなで歌う喜びを味わう。(態)	・ICT機器 ・歌詞カード ・プリント
		11	【器楽】 ○仲間と一緒に演奏しよう ・文字楽譜を見て、演奏できる。(知) ・各パートの役割を意識し、仲間と演奏する。(思) ・自分の演奏を聴いて振り返り、良かったところに気付くことができる。(態)	・ICT機器 ・打楽器 ・鍵盤楽器
		12	【鑑賞】 ○自分の好きな音楽を紹介しよう ・多様な音楽作品に触れ、興味の幅を広げることができる。(知) ・音楽的に好きな理由を考えることができる。(思) ・自分が好きな音楽を他者へ紹介することができる。(態)	・ICT機器 ・DVD
	3学期	1	【創作】 ○テーマに合わせて作曲しよう ・テーマに合わせた作曲方法を知る。(知) ・絵や写真を見て、音楽を作ることができる。(思) ・限定された楽器や音程から自分で選んで、曲を作ろうとしている。(態)	・ワークシート ・打楽器、鍵盤楽器
		2	【身体表現】 ○振り付けを工夫して踊ろう ・振り付けを覚える。(知) ・見る人に伝わるように大きく表現できる。(思) ・仲間同士で練習を進めることができる。(態)	・ICT機器
		3		

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）	
教科・領域等名	音楽		4グループ	
教科・領域等の目標	(1) 創意工夫を生かした歌唱や器楽演奏ができるための技術や表現力を高める。(知) (2) 様々なジャンルの音楽に親しみ、音楽の良さや美しさを見出して聴くことができる。(思) (3) 主体的、協働的に学習に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るくしていく態度を養う。(態)			
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	1学期	4	【歌唱】 ○歌詞の内容に合った表現の仕方を考えよう ・歌詞を覚え、歌詞の表す情景や曲想について、イメージをもつ。(知) ・歌詞をイメージし、息継ぎや強弱を工夫して歌うことができる。(思) ・得た知識を生かし、表現する面白さを味わって歌う。(態)	・ICT機器 ・歌詞カード
		5	【器楽】 ○こぶし祭に向けて ・パートの役割を意識して演奏しよう ・楽器の奏法や楽譜の読み方を知り、演奏することができる。(知) ・曲想にふさわしい表現を工夫して演奏する。(思) ・演奏の目標を達成できるように取り組もうとしている。(態)	・ICT機器 ・和楽器 ・鍵盤楽器
		6	【鑑賞】 ○世界の音楽に親しもう ・曲の特色を知り、曲全体を味わって聴くことができる。(知) ・曲や演奏の良さを見だし、感じ取ったことを伝え合う。(思) ・特色に着目して鑑賞しようとしている。(態)	・ICT機器 ・DVD ・ワークシート
		7	【創作】 ○リズムをつなげてみよう ・リズムパターンや短い旋律を反復させて演奏する。(知) ・各自が工夫した音を使って、表現する。(思) ・表現したい意図をもって、音を表そうとしている。(態)	・リズムカード ・ICT機器
	9	【身体表現】 ○振り付けを工夫して踊ろう ・振り付けを覚える。(知) ・曲の速度やリズムに合わせて、表現を工夫する。(思) ・仲間同士で振り付けを合わせようと練習に取り組むことができる。(態)	・ICT機器 ・ワークシート	
後期	2学期	10	【歌唱】 ○二部合唱でハーモニーを表現しよう ・自分のパートの音を知り、音程を覚える。(知) ・曲調にふさわしい表現や自分の声の出し方を工夫して歌う。(思) ・曲の特徴にふさわしい表現を工夫しようとしている。(態)	・ICT機器 ・歌詞カード ・プリント
		11	【器楽】 ○仲間と一緒に演奏しよう ・リズムや速度をそろえて演奏する。(知) ・曲のもつ雰囲気を感じ、思いや意図をもって演奏する。(思) ・仲間とリズムや音色を合わせることを意識して、練習に取り組もうとしている。(態)	・ICT機器 ・打楽器 ・鍵盤楽器
		12	【鑑賞】 ○自分の好きな音楽を紹介しよう ・多様な音楽作品に触れ、興味の幅を広げることができる。(知) ・音楽的に好きな理由を考えることができる。(思) ・自分が好きな音楽を他者へ紹介することができる。(態)	・ICT機器 ・DVD
	3学期	1	【創作】 ○テーマに合わせて作曲しよう ・テーマに合わせた作曲方法を知る。(知) ・絵や写真を見て、音楽を作ることができる。(思) ・限定された楽器や音程から自分で選んで、曲を作ろうとしている。(態)	・ワークシート ・打楽器 ・鍵盤楽器
		2	【身体表現】 ○リズムパターンを工夫して表現しよう ・曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせた表現をする。(知) ・曲の特徴を捉え、表したい表現を自分なりに工夫する。(思) ・得た知識を生かし、アイデアを出したり、工夫したりする。(態)	・ICT機器
3				

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）	
教科・領域等名	音楽		5グループ	
教科・領域等の目標	(1) 音楽の多様性について理解し、曲調に合った演奏や創作に必要な知識技能を身につける。(知) (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながら良さや美しさを味わって聴くことができる。(思) (3) 主体的、協働的に学習に取り組み、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(態)			
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	1学期	4	【歌唱】 ○曲の構成を感じながら歌おう ・曲の構成や曲想に合った表現方法を知る。(知) ・全体のハーモニーのバランスを考え、歌うことができる。(思) ・仲間とリズムや声の高低を合わせようと意識して歌う。(態)	・ICT機器 ・歌詞カード ・ワークシート
		5	【器楽】 ○こぶし祭に向けて ・楽譜を見ながら演奏しよう ・五線譜や文字楽譜を見て、演奏することができる。(知) ・曲想にふさわしい表現を工夫して演奏する。(思) ・自分の演奏を聴いて振り返り、課題点や良かったところに気付くことができる。(態)	・各楽器 ・楽譜 ・ワークシート
		6	【鑑賞】 ○物語のある音楽を楽しもう ・曲想及びその変化や音楽の構造を理解して聴く。(知) ・曲や演奏のよさなどについて自分なりに考えて聴く。(思) ・曲の背景や文化、歴史との関りに興味・関心をもつ。(態)	・ICT機器 ・ワークシート
		7	【身体表現】 ○音楽に動きをつけよう ・曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する。(知) ・感じ取った曲の雰囲気について自分なりの動きで表す。(思) ・見る人に伝わるように表現できる。(態)	・ICT機器 ・ワークシート
	9	・曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する。(知) ・感じ取った曲の雰囲気について自分なりの動きで表す。(思) ・見る人に伝わるように表現できる。(態)	・ICT機器 ・ワークシート	
後期	2学期	10	【歌唱】 ○聴く人を意識しながら歌おう ・歌詞や曲想を理解し、互いの歌声に合わせて歌う。(知) ・伝えたい部分を意識して歌う。(思) ・他パートとの重なりや声の響きを味わって歌う。(態)	・ICT機器 ・歌詞カード ・ワークシート
		11	【器楽】 ○三線を演奏してみよう ・三線の奏法や楽譜の読み方を知る。(知) ・姿勢や指のはじき方を工夫し、和楽器の音色を感じて演奏する曲調にふさわしい表現を工夫して演奏する。(思) ・姿勢や指のはじき方を工夫し、良い音色で演奏しようとする事ができる。(態)	・ワークシート ・三線 ・ICT機器
		12	【鑑賞】 ○自分の好きな音楽を紹介しよう ・多様な音楽作品に触れ、興味や関心の幅を広げることができる。(知) ・音楽的に好きな箇所や理由を具体的に考えることができる。(思) ・自分が好きな音楽を他者へ紹介することができる。(態)	・ICT機器 ・ワークシート
	3学期	1	【創作】 ○テーマに合わせて作曲しよう ・テーマに合わせた創作方法を知る。(知) ・限定された音数やリズムパターンで、メロディを作る。(思) ・テーマに合わせた音色で演奏しようとしている。(態)	・ワークシート ・キーボード
		2	【身体表現】 ○曲の特徴に合った表現を考えよう ・曲調に合った振付を考えることができる。(知) ・見る人に伝わるように大きく表現できる。(思) ・仲間同士で練習を進めることができる。(態)	・ICT機器 ・CD

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（総合類型）			
教科・領域等名	音楽		クラス・グループ			
教科・領域等の目標	(1) 音楽の多様性について理解し、曲調に合った演奏や創作に必要な知識技能を身につける。(知) (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながら良さや美しさを味わって聴くことができる。(思) (3) 主体的、協働的に学習に取り組み、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(態)					
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等			
前期	1学期	4	【歌唱】 ○曲の構成を感じながら歌おう ・構成や曲想に合わせた表現方法を知る。(知) ・表現の変化をつけることができる。(思) ・伴奏や他パートを意識しながら歌うことができる。(態)	・ I C T 機器 ・ 歌詞カード ・ ワークシート		
		5	【器楽】 ○こぶし祭にむけて ・楽譜を見ながら演奏しよう ・五線譜や文字楽譜を見て、演奏できる。(知) ・適切なリズムや音程で演奏できる(思) ・自分の演奏を聴いて振り返り、課題点や良かったところに気付くことができる。(態)		・ キーボード ・ ワークシート ・ 音階のある楽器	
		6	【鑑賞】 ○世界の音楽に触れよう ・国ごとの音楽の特徴を知る。(知) ・特色に合った音色やリズムを考えて表現することができる。(思) ・特色に着目して鑑賞しようとしている。(態)			・ I C T 機器 ・ ワークシート
		7	【身体表現】 ○リズムパターンを組み合わせ、身体で表現を考えよう ・曲調にあった身体表現方法を知る。(知) ・自分たちで身体表現を考えることができる。(思) ・見る人に伝わるように表現できる。(態)			
	9					
後期	2学期	10	【歌唱】 ○聴く人を意識しながら歌おう ・歌詞や曲想を理解することができる。(知) ・伝えたい部分を誇張しながら歌う。(思) ・全体のハーモニーのバランスを考え、歌うことができる。(態)	・ I C T 機器 ・ 歌詞カード ・ ワークシート		
		11	【器楽】 ○三線を演奏してみよう ・三線の奏法や楽譜の読み方を知る。(知) ・姿勢や指のはじき方を工夫し、和楽器の音色を感じて演奏する曲調にふさわしい表現を工夫して演奏する。(思) ・姿勢や指のはじき方を工夫し、良い音色で演奏しようとしている。(態)		・ ワークシート ・ 三線 ・ I C T 機器	
		12	【鑑賞】 ○自分の好きな音楽を紹介しよう ・多様な音楽作品に触れ、興味や関心の幅を広げることができる。(知) ・音楽的に好きな箇所や理由を具体的に考えることができる。(思) ・自分が好きな音楽を他者へ紹介することができる。(態)			・ DVD ・ ワークシート
	3学期	1	【創作】 ○詩や俳句に合うメロディを考えよう ・テーマに合わせた創作方法を知る。(知) ・限定された音数やリズムパターンで、メロディを作る。(思) ・テーマに合わせた音色で演奏しようとしている。(態)	・ ワークシート ・ CD、DVD		
		2	【身体表現】 ○曲の特徴に合ったリズム表現を考えよう ・自分たちで振付を考えることができる。(知) ・見る人に伝わるように大きく表現できる。(思) ・仲間同士で練習を進めることができる。(態)		・ I C T 機器 ・ CD	
	3					

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級(類型)	3年・重度重複学級	
教科・領域等名	美術		クラス・グループ	
教科・領域等の目標	(1)手・指・腕をしっかり使いながら造形表現的な活動に取り組むことができる。(知) (2)造形表現活動につながる、感触を中心とした様々な活動を楽しむ表現することができる。(思) (3)完成した自分の作品を意識して見ようとする。映像や光・音・匂いなどによる環境の変化に興味をもち表現しようとする。(態)			
単元(題材)名・主な学習内容		単元毎のねらい(評価の観点)	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> 手だてを基に、画用紙にドットシールやマスキングテープを貼ることができる。(知) ドットシールやマスキングテープを様々な場所に貼って模様を作ることができる。(思) 自分で好きな色のドットシールやマスキングテープを選び、貼ろうとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 握りやすい持ち手の道具を用意する。 感触が楽しめる教材を用意する。 イベントカラー、墨彩、ドットシール、マスキングシート他。 大きく持ちやすいものを用意する。
		5		
		6		
		7		
	9	<ul style="list-style-type: none"> 用具を使用して装飾に取り組むことができる。(知) 素材の質感の変化を感じながら、作品を作る。(思) 自分から道具や材料に手を伸ばそうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 制作台やのし棒に目印をつける。持ちやすい形のものを用意する。 和紙、金粉、ニス、筆、粘土、のし棒、粘土板他。 	
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> 用具を使用して装飾に取り組むことができる。(知) 素材の質感の変化を感じながら、作品を作る。(思) 自分から道具や材料に手を伸ばそうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 制作台やのし棒に目印をつける。持ちやすい形のものを用意する。 和紙、金粉、ニス、筆、粘土、のし棒、粘土板他。
		11		
		12		
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> カラーセロファンやペットボトルのラベルを用いて、光を透す色の構成や混色、変化を体験する。(知) カラーセロファンやラベルの色の組み合わせを考えて並べることができる。(思) 手を伸ばして自発的にセロファンをちぎって、ビニールに貼ろうとすることができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> セロファン、ペットボトル、鏡面シート、ラミネートフィルム、ラベル、両面テープ、ビニルシート、他
		2		
		3		

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級(類型)	3年・普通学級(基礎類型)			
教科・領域等名	美術		クラス・グループ			
教科・領域等の目標	(1)手・指・腕をしっかり使いながら造形表現的な活動に取り組むことができる。(知) (2)造形表現活動につながる、感触を中心とした様々な活動を楽しみ表現することができる。(思) (3)完成した自分の作品を意識して見ようとする。映像や光・音・匂いなどによる環境の変化に興味をもち表現しようとする。(態)					
単元(題材)名・主な学習内容		単元毎のねらい(評価の観点)	指導の工夫及び活用する教材等			
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> 手だてを基に、画用紙にドットシールやマスキングテープを貼ることができる。(知) ドットシールやマスキングテープを様々な場所に貼って模様を作ることができる。(思) 自分で好きな色のドットシールやマスキングテープを選び、貼ろうとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ドットシール、マスキングシール、ハサミ、水性ペン、油性ペン他 		
		5				
		6			<ul style="list-style-type: none"> ステンシル版画を使った自画像 	<ul style="list-style-type: none"> ステンシルシート、写真、アクリル絵の具、スポンジ、ローラー他
		7				
	9					
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> 用具を使用して装飾に取り組むことができる。(知) 素材の質感の変化を感じながら、作品を作る。(思) 自分から道具や材料に手を伸ばそうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 製作台やのし棒に目印をつける。持ちやすい形のものを用意する。 和紙、金粉、ニス、筆、粘土、のし棒、粘土板他 		
		11				
		12				
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> モザイクを隙間なく並べる。(知) モザイクの組み合わせを考えて、一つずつ丁寧に並べることができる。(思) 見本を見ながらモザイクを並べ、自ら手を伸ばして模様を作ろうとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 色紙、セロファン、ラミネートフィルム、ラベル、糊、両面テープ、ビニルシート、他 		
		2				
		3				

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）			
教科・領域等名	美術		クラス・グループ			
教科・領域等の目標	(1) 制作や鑑賞活動を通して美術作品に対する興味関心を持ち、知識を深める。(知) (2) 事物をよく観察し、色や形の面白さを感じながら制作を行い、感性を磨く。(思) (3) 様々な道具類の扱い方を体験し、自分にあった表現ができるようになる。(態)					
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等			
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○色と線のデザイン制作 ・ドットシールやマスキングテープ使って模様や絵を表現する方法を知る。(知) ・色や配置のバランスを考えて、ドットシールやマスキングテープを貼って模様を作ることができる。(思) ・自分で好きな色のドットシールやマスキングテープを選び、貼ろうとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドットシール、マスキングシール、ハサミ、水性ペン、油性ペン他 		
		5				
		6				
		7				
		9				
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○立体制作（粘土） ・動物の土鈴制作 ・のし棒など、道具の使用方法を覚えて、成形できる。(知) ・粘土や素材の特性を感じ、力加減を変えて伸ばしたり、切断したりして大まかな形を作る。(思) ・完成した作品の形や音を味わう。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘土、粘土板、のし棒、ヘラ、コテ、絵具等 		
		11				
		12				
	3学期	1			<ul style="list-style-type: none"> ○デザイン制作 ・伝統文様を用いた作品制作等 ・日本の伝統の文様を知り、鑑賞することで日本の紋に対する文化を知る。(知) ・好きな形や色を選び、完成を意識して制作する。(思) ・自分で自由に切った模様が、どのような模様になるか興味をもつ。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・マス目工作用紙、油性ペン、折り紙、型紙、ハサミ、ドットシール、マスキングテープ等
		2				
		3				

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）	
教科・領域等名	美術		4グループ	
教科・領域等の目標	(1) 様々な道具類の扱い方を体験し、自分にあった表現ができるようになる。(知) (2) 鑑賞活動を通して美術作品に対する興味関心を持ち、知識を深める。(知) (3) 事物をよく観察し、色や形の面白さを感じながら制作を行い、感性を磨く。(思) (4) 様々な素材や技法の特性を活かしながら効果的な表現活動を行う。(態)			
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ドットシールやマスキングテープ使って模様や絵を表現する方法を知る。(知) 色や配置のバランスを考えて、ドットシールやマスキングテープを貼って模様を作ることができる。(思) 自分で好きな色のドットシールやマスキングテープを選び、貼ろうとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ドットシール、マスキングシール、ハサミ、水性ペン、油性ペン他
		5		
		6		
		7		
	9	<ul style="list-style-type: none"> 自分の体や顔、目、口の形を知り、形に沿って着彩することができる。(知) 絵の具の扱い方や手順を知り、筆やスポンジを使って自分の好きな色を選び着彩することができる。(思) 互いの作品を見合い、友達の作品の良さに気付く。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 写真、ステンシルシート、アクリル絵の具、筆、スポンジ等 	
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> のし棒など、道具の使用方法を覚えて、成形できる。(知) 粘土や素材の特性を感じ、力加減を変えて伸ばしたり、切断したりして大まかな形を作る。(思) 完成した作品の形や音を味わう。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 粘土、粘土板、のし棒、ヘラ、コテ、絵具等
		11		
		12		
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統の文様を知り、鑑賞することで日本の紋に対する文化を知る。(知) 好きな形や色を選び、完成を意識して制作する。(思) 自分で自由に切った模様が、どのような模様になるか興味をもつ。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> マス目工作用紙、油性ペン、折り紙、型紙、ハサミ、ドットシール、マスキングテープ等
		2		
		3		

令和5年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）	
教科・領域等名	美術		クラス・グループ	
教科・領域等の目標	(1) 刃物の扱い方、色材の使用法、筆を使用した後の始末などを理解する。(知) (2) 身近な素材や様々な技法に興味をもち、対象をよく観察し感じたことを表現するとともに、様々な素材を使い工夫して制作する。(思) (3) 自己のまわりや、社会生活の中で美術に関心をもち、授業以外の場でも表現したり、作品に親しんだりする態度を育てる。(態)			
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> 写真を参考にして、顔の部位を意識しながら、丁寧に切り抜くことができる。(知) 自分の好きなものや色を使った背景と自画像の配置や配色を考えて場面構成を作ることができる。(思) 道具の扱い方を学び、安全に取り組もうとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 写真、ケント紙、デザインカッター、筆、キャンパス、アクリル絵の具等
		5		
	6			
	7	<ul style="list-style-type: none"> 制作の手順を覚え、自身で進めることができる。(知) 毛並みや鱗等の質感をイメージしながら、へらを使い分けることができる。(思) 鑑賞を通して、自他ともに良いところを発見し、お互いに伝えあうことができる。(態) 		
9				
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> 紙ヤスリなどの道具を正しく、効果的に使う。(知) 自分の名前を篆書体で調べ、文字の一部を変形して、オリジナル印のデザインを考えることができる。(思) 鑑賞を通して、自他ともに良いところを発見し、お互いに伝え合うことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> テレビ、タブレット端末、手順表、A4用紙、印刀、印床、紙やすり等
		11		
	12	<ul style="list-style-type: none"> ○デザイン・伝統工芸 ・「篆刻」 ・印面のデザイン、印面作り ・持ち手のデザイン、持ち手作り 		
	3学期	1		
		2		
3				

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級(類型)	3年・普通学級(総合類型)	
教科・領域等名	美術	クラス・グループ	6グループ	
教科・領域等の目標	(2) 刃物の扱い方、色材の使用法、筆を使用した後の始末などを理解する。(知) (2) 身近な素材や様々な技法に興味をもち、対象をよく観察し感じたことを表現するとともに、様々な素材を使い工夫して制作する。(思) (3) 友達の製作過程や完成作品を鑑賞しお互いの良いところなどを参考にする。(思) (4) 自己のまわりや、社会生活の中で美術に関心をもち、授業以外の場でも表現したり、作品に親しんだりする態度を育てる。(態)			
単元(題材)名・主な学習内容		単元毎のねらい(評価の観点)	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を参考にして、顔の部位を意識しながら、丁寧に切り抜くことができる。(知) ・自分の好きなものや色を使った背景と自画像の配置や配色を考えて場面構成を作ることができる。(思) ・道具の扱い方を学び、安全に取り組もうとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真、ケント紙、デザインカッター、筆、キャンパス、アクリル絵の具等
		5		
	6			
	7	<ul style="list-style-type: none"> ○立体 ・テーマ「動物」 		
9				
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ・制作の手順を覚え、自身で進めることができる。(知) ・毛並みや鱗等の質感をイメージしながら、へらを使い分けることができる。(思) ・鑑賞を通して、自他ともに良いところを発見し、お互いに伝えあうことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ、タブレット端末、手順表、A4用紙、印刀、印床、紙やすり等
		11		
		12		
	3学期	1		
		2		
		3		

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級(類型)	3年・重度・重複学級			
教科・領域等名	家庭		1グループ			
教科・領域等の目標	(1)家庭生活に必要な知識を増やす。(知) (2)家庭生活に必要な基本的な技術を身に付ける。(思) (3)体験した技術を活用し、実践しようとする態度を育む。(態)					
単元(題材)名・主な学習内容		単元毎のねらい(評価の観点)	指導の工夫及び活用する教材等			
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> 食事の役割 ○オリエンテーション ・日常食の調理 ○ピザトースト 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の料理を通して、他国の文化に触れる。(知) ・オーブントースターを使うことができる。(思) ・身支度から片付けまで、見通しをもって取り組むことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすいレシビを用意する。 ・食材 ・調理器具の使用場所にしるしを付ける。 ・写真や絵カードなど視覚支援教材を用意する。 	
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○粉を使った調理 ・お好み焼き 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の大きさを意識して切ることに慣れる。(知) ・ホットプレートを使うことができる。(思) ・身支度から片付けまで、見通しをもって取り組むことができる。(態) 		
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○麺を使った調理 ・うどん 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・スケッパーやピーラー、スライサーを教員と共に安全に使用することに慣れる。(知) ・電子レンジを使うことができる。(思) ・身支度から片付けまで、見通しをもって取り組むことができる。(態) 		
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○お茶漬け、即席スープ 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・器を意識して、材料を入れることに慣れる。(知) ・電子レンジを正しく使うことができる。(思) ・身支度から片付けまで、見通しをもって取り組むことができる。(態) 		
	9	<ul style="list-style-type: none"> ○消費生活 ・家庭ごみの分別 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ箱の位置を知る(知) ・写真などを見ながらごみを分けることができる。(思) ・ゴミ箱に分別したごみを捨てに行くことができる。(態) 			
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○こぶし祭に向けた作品の製作 ・小物作り等 ・染色(Tシャツ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・道具の名前や役割を知る。(知) ・ミシンやアイロンなどの家庭生活上で使用する道具の使い方を、教員と一緒に安全に操作することができるようになる。(思) ・準備や片付けに参加することができる。(態) ・布を染める道具の使い方を知る。(知) ・染色に使用するために、教員と一緒に道具を選択することができる。(思) ・体験を積み重ね、手元を見て集中する時間を増やすことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全面に十分に配慮する。 ・裁縫道具 ・写真教材 ・実物見本 ・ICT機器 	
		11				<ul style="list-style-type: none"> ・染色道具
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○健康管理と余暇 	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活について知る。(知) ・日常生活を振り返ることができる。(思) ・一人でできることを増やし、余暇活動につなげる。(態) 		<ul style="list-style-type: none"> ・写真教材や映像等を使用し、見通しを持ちやすくする。
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児や高齢者との関わり 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児と高齢者の暮らしを知る(知) ・乳幼児や高齢者の身体の特徴を確認する。(思) ・身近な乳幼児や高齢者とのかわり方を身に着けるために、疑似体験に参加しようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育人形 ・高齢者疑似体験教材 	
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○衣服の選択や手入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の役割や特徴を知る。(知) ・衣服の洗濯や干し方、たたみ方を確認する。(思) ・目的や季節に合った服装を選ぶことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的教材を取り入れる。 	
	3					

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級(類型)	3年・普通学級(基礎類型)		
教科・領域等名	家庭		クラス・グループ		
教科・領域等の目標	(1)家庭生活に必要な知識を増やす。(知) (2)家庭生活に必要な基本的な技術を身に付ける。(知) (3)体験した技術を活用し、実践しようとする態度を育む。(態) (4)手元に集中して活動する時間を増やし、余暇活動につなげる。(態)				
単元(題材)名・主な学習内容		単元毎のねらい(評価の観点)	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○こぶし祭にむけた作品の製作 <ul style="list-style-type: none"> ・小物作り等 ・染色(Tシャツ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・道具の名前や役割を知る。(知) ・ミシンやアイロンなどの家庭生活で使用する道具を、教員と一緒に安全に操作することができるようになる。(思) ・準備や片付けに参加することができる。(態) ・染色を通して日常生活における基礎的な技能を身に付ける。 ・染色に使用するために教員と一緒に道具を選択することができる。(思) ・体験を積み重ね、手元を見て集中する時間を増やすことができる。(態) ・規則正しい生活について知る。(知) ・日常生活を振り返ることができる。(思) ・一人でできることを増やし、余暇活動につなげる。(態) ・乳幼児と高齢者の暮らしを知る(知) ・乳幼児や高齢者の身体の特徴を確認する。(思) ・身近な乳幼児や高齢者とのかかわり方を身に付けるために、疑似体験に参加しようとする。(態) ・衣服の役割や特徴を知る。(知) ・衣服の洗濯や干し方、たたみ方を確認する。(思) ・目的や季節に合った服装を選ぶことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全面に十分に配慮する。 ・裁縫道具 ・写真教材 ・実物見本 ・I C T機器 ・染色道具 ・写真教材や映像等を使用し、見通しを持ちやすくする。 ・保育人形 ・高齢者疑似体験教材
		5	○健康管理と余暇		
		6	○乳幼児や高齢者との関わり		
		7			
	9	○衣服の選択や手入れ			
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> 食事の役割 ○オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・日常食の調理 ○ホットケーキ ○粉を使った調理 <ul style="list-style-type: none"> ・お好み焼き 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の料理を通して、他国の文化に触れる。(知) ・オーブントースターを正しく使うことができる。(思) ・身支度から片付けまで、見通しをもって取り組むことができる。(態) ・材料の大きさを意識して切ること慣れる。(知) ・ホットプレートやスライサーを正しく使うことができる。(思) ・身支度から片付けまで、見通しをもって取り組むことができる。(態) ・スケッパーやピーラー、スライサーを教員と共に安全に使用することに慣れる。(知) ・電子レンジを正しく使うことができる。(思) ・身支度から片付けまで、見通しをもって取り組むことができる。(態) ・器の大きさを意識して材料を入れることに慣れる。(知) ・電子レンジを正しく使うことができる。(思) ・身支度から片付けまで、見通しをもって取り組むことができる。(態) ・ゴミ箱の位置を知る(知) ・写真などを見ながらごみを分けることができる。(思) ・ゴミ箱に分別したごみを捨てに行くことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生面や安全面に十分に配慮する。 ・手指を多く使う食材や道具を取り入れる。 ・写真付きのレシピ等を活用して見通しをもちやすくする
		11	○うどん等		
		12			
	3学期	1	○お茶漬け、即席スープ等		
		2	○消費生活 <ul style="list-style-type: none"> ・環境を考えた家庭ごみの分別 		
		3			

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級(類型)	3年・普通学級(基礎類型)	
教科・領域等名	家庭		クラス・グループ	
教科・領域等の目標	(1)家庭生活に必要な知識、技術を増やす。(知) (2)卒業後を見据え得した技術や知識を実践し、適切な対応ができる力を身に付ける。(思) (3)習得した知識、技術を実践に活かそうとする。(態)			
単元(題材)名・主な学習内容		単元毎のねらい(評価の観点)	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	1学期	4 食事の役割 ○オリエンテーション ・日常食の調理 ○ピザトースト	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の料理を通して、他国の文化に触れる。(知) ・オープントスターを正しく使うことができる。(思) ・身支度から片付けまで、見通しをもって取り組むことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生面や安全面に十分に配慮する。 ・手指を多く使う食材や道具を取り入れる。 ・写真付きのレシピ等を活用して見通しをもちやすくする。 ・ICT機器 ・ワークシート ・視覚的に分かりやすくする。
		5 ○粉を使った調理 ・お好み焼き 等	<ul style="list-style-type: none"> ・包丁やピーラー、スライサー等の安全な使用方法を知る。(知) ・ホットプレートを正しく使うことができる。(思) ・身支度から片付けまで、見通しをもって取り組むことができる。(態) 	
		6 ○うどん 等	<ul style="list-style-type: none"> ・計量カップの使い方を知る。(知) ・電子レンジを正しく使うことができる。(思) ・身支度から片付けまで、見通しをもって取り組むことができる。(態) 	
		7 ○お茶漬け、即席スープ等	<ul style="list-style-type: none"> ・電気ポットの安全な扱い方を知る。(知) ・電子レンジを正しく使うことができる。(思) ・身支度から片付けまで、見通しをもって取り組むことができる。(態) 	
	9 ○消費生活 ・家庭ごみの分別	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ箱の位置を知る。(知) ・写真などを見ながらごみを分けることができる。(思) ・ゴミ箱に分別したごみを捨てに行くことができる。(態) 		
後期	2学期	10 ○生活に役立つ作品製作 ・染色	<ul style="list-style-type: none"> ・道具の名称と使い方を覚え、正しく安全に使うことができる。(知) ・見本を見て完成をイメージし、模様をつけていくことができる。(思) ・自分から生地が染まるように工夫する様子が見られる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器 ・染色道具 ・手順書 ・アイロン ・ミシン ・ICT機器や視覚的教材を活用し、興味や関心を引き出す。 ・身近な道具や材料を使用し、自分の生活に反映しやすくする。 ・体験することで理解しやすくする。
		11 ○健康管理と余暇	<ul style="list-style-type: none"> ・余暇とは何かを知る。(知) ・自分の生活を振り返ることができる。(思) ・自分の余暇についてイメージして、表現しようとする。(態) 	
		12 ○乳幼児や高齢者との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児や高齢者の暮らしを知る。(知) ・乳幼児や高齢者の心身の特徴を体験し、違いに気付くことができる。(思) ・身近な乳幼児や高齢者との適切な接し方を実践しようとする。(態) 	
	3学期	1 ○衣服の選択や手入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・場面や季節に合った服装について知る。(知) ・衣服の洗濯や干し方、たたみ方等の方法を知る。(思) ・状況に応じた衣類を選択して発表しようとする。(態) 	
		2		
		3		

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級(類型)	3年・普通学級(基礎類型)			
教科・領域等名	家庭		4グループ			
教科・領域等の目標	(1)家庭生活に必要な知識、技術を身に付ける。(知) (2)習得した知識、技術を活かして、道具を安全に扱う。(思) (3)習得した知識や技術を活かし、適切な対応がとれる。(態) (4)卒業後を見据え、習得した技術や知識を実践しようとする。(態)					
単元(題材)名・主な学習内容		単元毎のねらい(評価の観点)	指導の工夫及び活用する教材等			
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○生活に役立つ作品製作・染色 	<ul style="list-style-type: none"> ・裁縫道具の名称と使い方を覚え、正しく安全に使うことができる。(知) ・見本を見て完成をイメージし、模様をつけていくことができる。(思) ・自分から生地が染まるように工夫する様子が見られる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・裁縫道具 ・染色道具 ・アイロン ・ミシン ・手順書 	
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○健康管理と余暇 			<ul style="list-style-type: none"> ・余暇とは何かを知る。(知) ・規則正しい生活ができていないか、振り返ることができる。(思) ・自分の余暇についてイメージして表現しようとする。(態)
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児や高齢者との関わり 			
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○衣服の選択や手入れ 			
	9					
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> 食事の役割 ○オリエンテーション ・日常食の調理 ○ピザトースト 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の料理を通して、他国の文化に触れる。(知) ・オーブントースターを正しく使うことができる。(思) ・身支度から片付けまで、見通しをもって取り組むことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生面と安全面に十分に配慮する。 ・写真付きのレシピ等を活用して見通しをもちやすくする。 	
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○粉を使った調理 ・お好み焼き 等 			
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○うどん 等 			
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○チャーハン 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・包丁やピーラー、スライサー等を教員と共に安全に使用することに慣れる。(知) ・ホットプレートを正しく使うことができる。(思) ・身支度から片付けまで、見通しをもって取り組むことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・手指を多く使う食材や道具を取り入れる。 	
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○消費生活 ・家庭ごみの分別 			<ul style="list-style-type: none"> ・計量カップでの計量の仕方を知る。(知) ・電子レンジを正しく使うことができる。(思) ・身支度から片付けまで、見通しをもって取り組むことができる。(態)
		3				

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）			
教科・領域等名	家庭		クラス・グループ			
教科・領域等の目標	(1) 家庭生活に必要な知識と技術を習得する。(知) (2) 卒業後を見据え、習得して技術や知識を実践し、適切な対応ができる力を身に付ける。(思) (3) 習得した知識や技術を主体的に実践し、適切な対応がとれる。(思) (4) 家庭生活に必要な知識と技術を習得し、自ら実践しようとする態度を身に付ける。(態)					
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等			
		(知) 知識、技能 (思) 思考、判断、表現 (態) 主体的に学習に取り組む態度				
前期	1学期	4	食事の役割 ○オリエンテーション ・日常食の調理 ○ピザトースト	<ul style="list-style-type: none"> 包丁を安全に使用する。(知) ホットプレートを正しく使うことができる。(思) 準備や片付けを、自分から進んで行うことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な食材を用意する。 調理器具に目安の印をつける。 ICT機器を使って手順書を作成する。 ワークシートを用意する。 	
		5	○お好み焼き	<ul style="list-style-type: none"> 包丁を安全に使用する。(知) 計量カップを使って正しく計量できるようになる。(思) 準備や片付けを、自分から進んで行うことができる。(態) 		
		6	○生姜焼き 等 卵料理	<ul style="list-style-type: none"> ガスコンロを安全に使うことができる。(知) 計量スプーンを使って正しく計量できるようになる。(思) 準備や片付けを、自分から進んで行うことができる。(態) 		
		7	○加工食品を使った調理 ・チャーハン、カップ麺	<ul style="list-style-type: none"> 冷凍食品の活用方法やメリット、デメリットについて知る。(知) 市販調味料のレシピの読み方や調理方法を知る。(思) レシピを読み取り、自分で調理することができる。(態) 		
	9					
後期	2学期	10	○家庭生活について	<ul style="list-style-type: none"> 様々な自立の段階があることを知る。(知) 自分にとっての自立した生活について考える。(思) 地域社会の一員としてできることは何か考えようとする。(態) 健康に暮らすためにできることを知る。(知) 規則正しく健康的に暮らしているか、自分の生活を振り返る。(思) 余暇について考え意見することができる。(態) 染色道具を正しく安全に使うことができる。(知) 手順書を参考に主体的に取り組むことができる。(思) 準備や片付けを、自分から進んで行うことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 裁縫道具 染色道具 手順書 写真教材 実物見本 ICT機器 	
		11	○生活に役立つ作品製作 ・染色（Tシャツ） ・小物作り			
		12				
	3学期	1	○乳幼児や高齢者との関わり			<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児や高齢者の日頃の生活について理解する。(知) 乳幼児や高齢者の心身の特徴を考えることができる。(思) 高齢者の特徴を知り、適切な関わり方を考えることができる。(態)
		2	○衣服の選択や手入れ			<ul style="list-style-type: none"> 洗濯や手入れに必要な道具や洗剤の役割を理解する。(知) 衣類を洗濯、手入れができるようになる。(思) 職業や目的や季節に合った服装を選択できるようになる。(態)
3		○消費者教育 ・悪徳商法について ・契約について	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活は、契約に基づいていることを知る。(知) 1か月間に必要なお金を知り、正しい金銭感覚を身に付ける。(思) 契約を悪用し、だまそうとする方法を知り、対処法を考える。(態) 			

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（総合類型）		
教科・領域等名	家庭	クラス・グループ	6グループ		
教科・領域等の目標	(1) 家庭生活に必要な知識と技術を習得する。(知) (2) 卒業後を見据え、習得して技術や知識を実践し、適切な対応ができる力を身に付ける。(思) (3) 習得した知識や技術を主体的に実践し、適切な対応がとれる。(思) (4) 家庭生活に必要な知識と技術を習得し、自ら実践しようとする態度を身に付ける。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭生活について ○健康管理と余暇 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な自立の段階があることを知る。(知) ・自分にとっての自立した生活について考える。(思) ・地域社会の一員としてできることは何か考えようとする。(態) ・健康に暮らすためにできることを知る。(知) ・規則正しく健康的に暮らしているか、自分の生活を振り返る。(思) ・余暇について考え意見することができる。(態) ・染色道具を正しく安全に使うことができる。(知) ・手順書を参考に主体的に取り組むことができる。(思) ・準備や片付けを、自分から進んで行うことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・ワークシート ・教科書 ・裁縫道具 ・染色道具 ・手順書 ・写真教材 ・実物見本 ・ICT機器 ・映像や写真、身近な例を挙げ、イメージしやすくする。 ・実際に手洗いして確かめる。
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○こぶし祭に向けて ・染色（Tシャツ） ・小物作り 		
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児や高齢者との関わり 		
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○衣服の選択や手入れ 		
	9	<ul style="list-style-type: none"> ○消費者教育 ・悪徳商法について ・契約について 			
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> 食事の役割 ○オリエンテーション ・日常食の調理 ○ピザトースト 	<ul style="list-style-type: none"> ・包丁を安全に使用する。(知) ・オーブントースターを正しく使うことができる。(思) ・準備や片付けを、自分から進んで行うことができる。(態) ・包丁を安全に使用する。(知) ・計量カップを使って正しく計量できるようになる。(思) ・準備や片付けを、自分から進んで行うことができる。(態) ・ガスコンロを安全に使うことができる。(知) ・計量スプーンを使って正しく計量できるようになる。(思) ・準備や片付けを、自分から進んで行うことができる。(態) ・冷凍食品の活用方法やメリット、デメリットについて知る。(知) ・市販調味料のレシピの読み方や調理方法を知る。(思) ・レシピを読み取り、自分で調理することができる。(態) ・健康を考えて食材を選ぶことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・レシピ ・手洗いキット ・食材 ・調理器具 ・写真 ・教科書 ・ICT機器を活用する。 ・分かりやすいワークシートを用意する。
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○お好み焼き 		
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○生姜焼き 等 ・卵焼き 		
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○加工食品を使った調理 ・チャーハン、即席麺 等 		
		2			
		3			

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級(類型)	3年・重度重複学級		
教科・領域等名	保健体育		クラス・グループ		
教科・領域等の目標	(1) 体力の向上を図ると共に、身体操作性を高め、しなやかな体づくりをする。(知) (2) いろいろな運動を通して体を動かすことを楽しみ、習慣化できるようにする。(思) (3) 教員とのコミュニケーションを基本におき、簡単なルールを守り、友達を意識して運動できる力を育む。(態)				
単元(題材)名・主な学習内容		単元毎のねらい(評価の観点)	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○体づくり運動(新体カテストを含む) 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて教員の動きを模倣する。(知) ・様々な身体の動かし方や筋力を維持する力を高める。(思) ・課題に取り組む際、教員と一緒に動くことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器 ・体力等測定表 ・各種目用具他 ・マット ・ゴールテープ ・タイマー ・足型 ・ミニハードル
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○体育祭に向けて ・短距離走 ・学年種目等 	<ul style="list-style-type: none"> ・決められた距離を走ることができる。(知) ・同じリズムと歩幅を意識し、走りきることができる。(思) ・スタートの合図で走り出し、レーンを守ってゴールに向かうことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポンジボール ・ベース
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○球技 ・ワンベースキック ・ヤッカー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールを蹴る動作ができる。(知) ・ボールを蹴る方向や力加減を工夫しようとすることができる。(思) ・ベースボール型の活動に見通しをもち、多くの場面を一人で取り組むことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・浮き具 ・フラフープ
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○水泳 雨天時：球技 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を受けながら、水中で脱力することができる。(知) ・教員の動きを模倣して、水中運動ができる。(思) ・安全に気をつけながら、水中運動を楽しむことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目用具他 ・ICT機器
	9	<ul style="list-style-type: none"> ○パラリンピック種目(※) ・ポッチャ等 ・ゴールボール等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールを投げる方向に腕を振ることができる。(知) ・ルールに則り、狙う方向を意識することができる。(思) ・支援を受けながら、友達に意識を向けて動くことができる。(態) 		
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○球技(ゴール型) ・サッカー ・バスケットボール等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール運動を通して身体の可動域を広げる。(知) ・役割を理解して目的に応じた動きを選択できる。(思) ・ゲーム形式の活動を楽しむことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール ・ゴール ・コーン
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○器械運動 ・平均台 ・マット運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・平均台の上で前方や後方に歩く、片足バランス等の基本的な動きができる。(知) ・静止して片足バランス、横転、両膝抱え込みなど様々な運動を組み合わせて継続して動くことができる。(思) ・課題に取り組む際、教員と一緒に自分から動くことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフト平均台 ・マット ・絵カード ・音(ピンポン) ・マーカーや印 ・検定表 ・ICT機器
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○心の教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の発育、発達、生活に必要な健康、安全について知る。(知) ・自分の体を大切にしようとすることができる。(思) ・自分の状態を表現しようとする。(態) 	
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○陸上競技 ・長距離走 	<ul style="list-style-type: none"> ・専用の用具を扱うことができる。(知) ・的的方向に身体の向きを変えることができる。(思) ・支援を受けながら、的を狙ってターゲット型ゲームに取り組むことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器 ・投球補助具
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の伝統や文化に関わる種目 	<ul style="list-style-type: none"> ・一定時間(3分間程度)決められた場所を走ることができる。(知) ・同じリズムや速度で走ることができる。(思) ・自発的に、または教員と一緒に動くことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールテープ ・チェックシート
		3	<ul style="list-style-type: none"> ○ダンス ・現代的なリズムのダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な技やその運動に関連する動きを体験する。(知) ・相手の動きに応じた防御ができる。(思) ・礼法を通して、相手を尊重することができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・相撲マット ・竹刀等
			<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて体を動かす楽しさや喜びを味わう。(知) ・リズムに乗って踊ることで自己表現をする。(思) ・表現や踊りを通じた交流をすることができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽科で学習する楽曲 	

(※) 印はオリンピック・パラリンピック教育学習内容

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）		
教科・領域等名	保健体育		クラス・グループ		
教科・領域等の目標	(1) 体力の向上を図ると共に、身体操作性を高め、しなやかな体づくりをする。(知) (2) いろいろな運動を通して体を動かすことを楽しむ。(思) (3) 教員とのコミュニケーションを基本におき、簡単なルールを守り、友達を意識して運動できる力を育む。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○体づくり運動 ・体育祭練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて教員の動きを模倣する。(知) ・ルールを知り、始まりと終わりが分かる。(思) ・集団の中で教員と一緒に活動する様子が見られる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器 ・体力等測定表 ・各種目用具他 ・マット
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○陸上競技 ・短距離走 ・障害物走 	<ul style="list-style-type: none"> ・決められた距離を走ることができる。(知) ・同じリズムと歩幅を意識し、走りきることができる。(思) ・スタートの合図で走り出し、レーンを守ってゴールに向かおうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールテープ ・タイマー ・足型 ・ミニハードル
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○球技 ・ワンベースキック ・ヤッカー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールを蹴る動作ができる。(知) ・ボールを蹴る方向や力加減を工夫しようとする。(思) ・ベースボール型の活動に見通しをもち、多くの場面に参加しようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポンジボール ・ベース
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○水泳 雨天時：球技 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の動きを模倣して、水中運動ができる。(知) ・支援を受けながら、水中で脱力することができる。(思) ・安全に気をつけながら、水中運動を楽しもうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・浮き具 ・フラフープ
	9	<ul style="list-style-type: none"> ○パラリンピック種目(※) ・ボッチャ ・ゴールボール等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールを投げる方向に腕を振ることができる。(知) ・ルールに則り、狙う方向を意識することができる。(思) ・支援を受けながら、友達を意識を向けて動こうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目用具他 ・ICT機器 	
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○球技（ゴール型） ・サッカー ・バスケットボール等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール運動を通して身体の可動域を広げる。(知) ・役割を理解して目的に応じた動きを選択できる。(思) ・ゲーム形式の活動に参加しようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール ・ゴール ・コーン
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○器械運動 ・平均台 ・マット運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・平均台の上で前方や後方に歩く、片足バランス等の基本的な動きができる。(知) ・静止して片足バランス、横転、両膝抱え込みなど様々な運動を組み合わせて継続して動くことができる。(思) ・課題に取り組む際、教員と一緒に活動している。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフト平均台 ・マット ・絵カード ・音（ピンポン） ・マーカ―や印 ・検定表 ・ICT機器
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○心の教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の発育、発達、生活に必要な健康、安全について知る。(知) ・自分の体を大切にしようとする。(思) ・自分の状態を表現しようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器 ・投球補助具
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○陸上競技 ・長距離走 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を受けながら、的を狙ってターゲット型ゲームに取り組もうとする。(態) ・一定時間（3分間程度）決められた場所を走ることができる。(知) ・同じリズムや速度で走ることができる。(思) ・自発的に、または教員と一緒に活動する様子が見られる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールテープ ・チェックシート
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の伝統や文化に関わる種目 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な技やその運動に関連する動きを体験する。(知) ・相手の動きに応じた防御ができる。(思) ・礼法を通して、相手を尊重することができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・相撲マット ・竹刀等
		3	<ul style="list-style-type: none"> ○ダンス ・現代的なリズムのダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて体を動かす楽しさや喜びを味わう。(知) ・リズムに乗って踊ることで自己表現をする。(思) ・表現や踊りを通して、仲間を意識する様子が見られる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・耳慣れた曲を使用する。

(※) 印はオリンピック・パラリンピック教育学習内容

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）	
教科・領域等名	保健体育		2グループ	
教科・領域等の目標	(1) 各種の運動の特性に応じた基本的な技能を身につける。(知) (2) 運動や健康についての課題を発見し、仲間と協力しながら解決していく力を養う。(思) (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指す。(態)			
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○体づくり運動（新体力テストを含む） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器 ・体力等測定表 ・各種目用具他 ・マット ・ゴールテープ ・タイマー ・足型 ・ミニハードル ・スポンジボール ・ベース ・浮き具 ・フラフープ ・各種目用具他 ・ICT機器
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○陸上競技 ・短距離走 ・障害物走 	
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○球技 ・ワンバースキック ・ヤッカー 	
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○水泳 雨天時：球技 ○パラリンピック種目(※) ・ポッチャ等 ・スポーツ大会に向けてポッチャを行う 	
	9			
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○球技（ゴール型） ・サッカー ・バスケットボール等 	
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○器械運動 ・平均台 ・マット運動 	
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○心の教育 	
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ニュースポーツ ・ペガールボール等 	
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○陸上競技 ・長距離走 	
		3	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の伝統や文化に関わる種目 	

(※) 印はオリンピック・パラリンピック教育学習内容

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）	
教科・領域等名	保健体育		クラス・グループ	
3年・普通学級（基礎類型）	3グループ			
教科・領域等の目標	(1) いろいろな運動を通して、体力の向上を図り、各運動の基礎的技術の習得を図る。(知) (2) ルールを守り、仲間と協力しながら運動に取り組む態度を養う。(思) (3) 自己の記録や目標に挑戦しようとし、積極的に運動に取り組む姿勢を養う。(態) (4) 健康・安全に関する知識を深め、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てる。(態)			
単元（題材）名・主な学習内容	単元毎のねらい（評価の観点）		指導の工夫及び活用する教材等	
前期	4	○体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> 腕や脚の曲げ伸ばしなどを意識して、正しい姿勢で運動ができる。(知) 腕や脚の曲げ伸ばしなどを意識して正しい動きができる。(思) 動きのポイントを自分から他者に伝える。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器 体力等測定表 各種目用具他 ホイッスル
	5	○陸上競技 ・短距離走	<ul style="list-style-type: none"> ゴールを意識しながら、決められた距離を走りきることができる。(知) 自分の体力を考えてペース配分できる。(思) 走り方を工夫し、よりよい記録を目指して取り組む。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ゴールテープ カラーコーン マーカー
	6	○球技 ・キックベース	<ul style="list-style-type: none"> キックベースボールの基礎的な技能を向上することができる。(知) ルールに則り、運動を選択してゲームに参加できる。(思) 仲間と協力して攻撃や守備を行うことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> スポンジボール バランスボール サッカーボール ベース 浮き具 笛 フラフープ 水底板 等 ボッチャセット
	7	○水泳 ・クロール 浮き身 (雨天時：キックベース)	<ul style="list-style-type: none"> 正しい水中姿勢でのスタートや様々な泳法を身に付ける。(知) 速く泳げる泳法を選択し、競争に参加できる。(思) 安全に留意して授業に参加できる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 浮き具 笛 フラフープ 水底板 等 ボッチャセット
	9	○オリンピック・パラリンピック種目(※) ・ボッチャ、ゴールボール等	<ul style="list-style-type: none"> 競技のルールや特性を理解し、基礎的な技能を向上することができる。(知) ルールに則り、運動を選択してゲームに参加できる。(思) 仲間と協力して攻撃や守備を行うことができる。(態) 	
後期	10	○球技 ゴール型 ・サッカー	<ul style="list-style-type: none"> パス、ドリブル、シュート等、基本的な技能を身に付ける。(知) 目標までの距離に応じて、力加減を考えてパスをすることができる。(思) 仲間と一緒に作戦を考え、ゲームをすることができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> サッカーボール フットサルボール ミニゴール カラーコーン ドッジボール 得点板 マット 跳び箱 平均台
	11	○器械運動 ・マット、平均台	<ul style="list-style-type: none"> 前転や横転などの技を、一人で正しく行うことができる。(知) 平均台の上で片足バランスをとったり方向転換をしたりすることができる。(思) 自分で組み立てた運動を発表することができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> フライングディスク タブレット端末 TVモニター
	12	○ニュースポーツ ・アキュラシー 等	<ul style="list-style-type: none"> スロー等の基本的な技能を身に付ける。(知) 力加減を考えてスローをすることができる。(思) 自分から仲間へ声をかけながらゲームをすることができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> フライングディスク タブレット端末 TVモニター
	1	○心身の発達と疾病の理解	<ul style="list-style-type: none"> 疾病に対する理解を深める。(知) 心身の発育、発達や生活に必要な健康、安全に関する事項を理解し、実際の生活でできることを考える。(思) 自分の知っていることや実践できることを発表できる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> DVD 振り返りシート
	2	○日本の伝統に関する種目	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統に関する種目を知り、取り組む。(知) ルールに則り、運動を選択して運動できる。(思) 勝敗を意識して攻防を行うことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 電子タイマー 相撲マット等
	3			

(※) 印はオリンピック・パラリンピック教育学習内容

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）		
教科・領域等名	保健体育		クラス・グループ		
教科・領域等の目標	(1) いろいろな運動を通して運動を楽しみ、継続的、積極的に体を動かすことができる。(知) (2) 自らの健康の保持・増進を意識し、体力の向上方法を考えて取り組めるようになる。(思) (3) 様々な運動を通してルールを守り、友達と協力し合いながら安全に運動する力を育てる。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○体づくり運動 <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーショントレーニング 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の動きの組み合わせ方を理解する。(知) ・腕や脚の曲げ伸ばしなどを意識して正しい動きができる。(思) ・動きのポイントを自分から他者に伝える。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元において ICT 機器等を活用し多様な働きかけが行えるようにする。 ・ゴールテープ、カラーコーン等 ・マーカー、モニター等 ・浮き具、水底板等 ・マット、平均台等 ・ボール、ゴール、ポッチャセット等
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○体育祭にむけて <ul style="list-style-type: none"> ・学年種目、短距離走 	<ul style="list-style-type: none"> ・種目のやり方を身に付け、ルールを理解する。(知) ・よりよい方法を考え、実践する。(思) ・仲間と協力して種目に取り組むことができる。(態) 	
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○ダンス <ul style="list-style-type: none"> ・現代的なリズムのダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの楽しさや喜びを味わい、技能を身に付ける。(知) ・リズムやフォーメーションを意識して踊ることができる。(思) ・自分たちで組み立てたダンスを発表する。(態) 	
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○水泳 <ul style="list-style-type: none"> ・クロール、平泳ぎ 入水不可時等 ○器械運動 <ul style="list-style-type: none"> ・マット、平均台 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい水中姿勢でのスタートや、様々な泳法を身に付ける。(知) ・決められた距離を正しい泳法で泳ぐことができる。(思) ・安全に留意して授業に参加できる。(態) ・前転や横転などの技を一人で正しく行うことができる。(知) ・体の重心を意識して動きに取り組むことができる。(思) ・自分で動きを組み立て、発表をする。(態) 	
		9	<ul style="list-style-type: none"> ○パラリンピック種目(※) ・ポッチャ、ゴールボール 	<ul style="list-style-type: none"> ・競技のルールや特性を理解し、基礎的な技能を向上させる。(知) ・ルールに則り、運動を選択してゲームに参加できる。(思) ・工夫した点やポイントを仲間に伝える。(態) 	
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○ニュースポーツ <ul style="list-style-type: none"> ・ゴールドドッジ 	<ul style="list-style-type: none"> ・パスやシュート等の基本的な技能を身に付ける。(知) ・力加減を考えてパスをすることができる。(思) ・自分から仲間に声をかけながらゲームをすることができる。(思) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスク、マーカー、ゴール、カラーコーン等 ・マット、カラーコーン、マーカー、テープ等 ・ワークシート等
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○武道 <ul style="list-style-type: none"> ・相撲、柔道 	<ul style="list-style-type: none"> ・武道の基本動作を体験し、特性を知る。(知) ・基本動作を意識して活動する。(思) ・動きのポイントや意識した点を自分から他者に伝える。(態) 	
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○心身の発達と疾病の理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・疾病に対する理解を深める。(知) ・実際の生活でできることを考える。(思) ・自分の実践できることをまとめ、発表することができる。(態) 	
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○球技（ゴール型） <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー、フットサル 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なパスやシュートの方法を身に付ける。(知) ・パスを受ける際の体の向き意識して取り組む。(思) ・仲間と一緒に作戦を考え、ゲームに取り組むことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール、ゴール、マーカー、ゼッケン等 ・ベース、ボール、カラーコーン等
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○球技（野球型） <ul style="list-style-type: none"> ・キックベースボール ・フットソフトボール 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベースボール型の守備の役割を身に付ける。(知) ・身に付けたボールの扱い方を試合で活用することができる。(思) ・仲間と協力して攻撃や守備を行うことができる。(態) 	
		3			

(※) 印はオリンピック・パラリンピック教育学習内容

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（総合類型）		
教科・領域等名	保健体育		5グループ		
教科・領域等の目標	(1) いろいろな運動を通して運動を楽しみ、継続的、積極的に体を動かす習慣を育てる。(知) (2) 自らの健康の保持・増進や体力の向上を意識して取り組めるようになる。(思) (3) 様々な運動を通してルールを守り、友達と協力し合いながら安全に運動する力を育てる。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○体づくり運動 <ul style="list-style-type: none"> ・新体力テスト ・コーディネーショントレーニング 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の動きの組み合わせ方を理解する。(知) ・体のバランスをとったり移動したりするとともに、適切に用具の操作などを行うことができる。(思) ・動きのポイントを自分から他者に伝える。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器 ・相撲マット ・各種目用具他
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○体育祭にむけて <ul style="list-style-type: none"> ・学年種目、短距離走 	<ul style="list-style-type: none"> ・種目のやり方を身に付け、ルールを理解する。(知) ・よりよい方法を考え、実践する。(思) ・仲間と協力して種目に取り組むことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホイッスル ・フラッグ
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○陸上競技 <ul style="list-style-type: none"> ・短距離走 ・立幅跳び 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・体調や身体の動かし方に留意して、運動に取り組むことができる。(知) ・両手を振り上げた反動を利用して跳ぶことができる。(思) ・仲間と競いながら、自己の記録の向上を目指そうとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカーボール ・ベース 等
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○球技（野球型） <ul style="list-style-type: none"> ・キックベースボール ・フットベースボール ・ティーボール 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なボールの打ち方（蹴り方）、投げ方、捕り方を身に付ける。(知) ・次の塁まで速く走ることができる。(思) ・任されたポジションの役割を考えて守備をすることができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・検定表他 ・各種目用具他
		9	<ul style="list-style-type: none"> ○水泳 <ul style="list-style-type: none"> ・クロール 等 ※雨天時キックベースボール 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい水中姿勢でスタートを行うことができる。(知) ・決められた距離を正しい泳法で泳ぐことができる。(思) ・安全に留意して授業に参加できる。(態) 	
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○球技（ゴール型） <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー 	<ul style="list-style-type: none"> ・パス、ドリブル、シュート等基本的な技能を身に付ける。(知) ・パスを受ける際の体の向き意識して取り組む。(思) ・作戦などについて話し合いに参加することができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器 ・タブレット端末 ・モニター ・学習カード ・記録表 ・各種目用具 等
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○ニュースポーツ <ul style="list-style-type: none"> ・フライングディスク 	<ul style="list-style-type: none"> ・力加減を調整して、ねらった位置に投げることができる。(知) ・ポイントや得点につながる効果的な投げ方を考えている。(思) ・ルールを守り、フェアプレイを意識して活動しようとしている。(態) 	
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○器械運動 <ul style="list-style-type: none"> ・マット運動 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動で前転や後転等の回転系、V字バランス、肩倒立等の巧技系のうち1つの技を正しく1人で行うことができる。(知) ・一つ一つの技の課題を見つけて、取り組み方を工夫できる。(思) ・自分で動きを組み立て、発表をする。(態) 	
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○パラリンピック種目(※) <ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャ ・ゴールボール 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目の特性やルールについて知る。(知) ・ルールを守って友達と助け合いながら活動に取り組む。(思) ・身体的制限がある状況での運動の難しさを表現して、他者に伝えようとしている。(態) 	
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○飲酒と喫煙 	飲酒、喫煙の心身への影響、健康を損なう原因について知る(知) <ul style="list-style-type: none"> ・飲酒、喫煙について、課題を発見し、解決方法を考える(思) ・自分の実践できることをまとめ、発表することができる。(態) 	
		3	<ul style="list-style-type: none"> ○ダンス <ul style="list-style-type: none"> ・現代的なリズムのダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの楽しさや喜びを味わい、技能を身に付ける。(知) ・リズムやフォーメーションを意識して踊ることができる。(思) ・自分たちで組み立てたダンスを発表する。(態) 	

(※) 印はオリンピック・パラリンピック教育学習内容

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部			学年・学級 (類型)	3年・重度重複学級	
教科・領域等名	職業		クラス・グループ	1グループ	
教科・領域等の目標	(1) 働くことに関心をもち、マナーやルールを守ることができる。(知) (2) 仲間と協力して活動し、コミュニケーション力や社会性を身に付ける。(思) (3) 進路への関心と理解を深め、自己決定の力を付ける。(態)				
単元 (題材) 名・主な学習内容			単元毎のねらい (評価の観点)	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	1学期	4	○職業 ・1年の授業の流れ ・挨拶、返事、報告の練習、身だしなみ、体力作り ・軽作業	・見通しをもって、活動することができる。(知) ・一定時間集中して作業に取り組むことができる。(思) ・自ら率先して挨拶、返事、報告ができる。(態)	・継続して取り組める適切な課題を設定し、定着を図る ・スイッチ教材を使用して、挨拶、返事、報告を促す。
		5	○職業 ・家の手伝いをやってみよう	・家庭での仕事内容を知る。(知) ・仕事の中から取り組める仕事を考える。(思) ・仕事に取り組む。(態)	・家の手伝い (食器の片づけ・買い物・掃除・洗濯物干し等) ・タイムタイマーを活用して、作業と休憩のめりはりをつける。 ・ICT 機器
		6	○産業現場等における実習 ・実習激励会事前事後学習	・実習先や目標を確認し、見通しをもつ。(知) ・自分の実習先や仕事内容を考える。(思) ・まとめ、発表する。(態)	・ICT 機器
		7	○職業 ・挨拶、返事、報告の練習、身だしなみ、体力作り ・軽作業	・見通しをもって、活動することができる。(知) ・一定時間集中して作業に取り組むことができる。(思) ・自ら率先して挨拶、返事、報告ができる。(態)	・継続して取り組める適切な課題を設定し、定着を図る ・スイッチ教材を使用して、挨拶、返事、報告を促す
	9				
後期	2学期	10	○産業現場等における実習 ・実習激励会事前事後学習	・実習先や目標を確認し、見通しをもつ。(知) ・自分の実習先や仕事内容を考える。(思) ・まとめ、発表する。(態)	・教科書 ・ICT 機器 ・現場実習日誌
		11	○職業 ・身だしなみ講座	・身だしなみや清潔について学ぶ。(知) ・働くための体力や健康について意識をする。(思) ・体調管理を心がける。(態)	・ワークシートや具体例を提示し、実際に自身の身だしなみについて確認をする。
		12	○職業 ・挨拶、返事、報告の練習、身だしなみ、体力作り ・軽作業	・見通しをもって、活動することができる。(知) ・一定時間集中して作業に取り組むことができる。(思) ・自ら率先して挨拶、返事、報告ができる。(態)	・継続して取り組める適切な課題を設定し、定着を図る ・スイッチ教材を使用して、挨拶、返事、報告を促す
	3学期	1			
		2	○職業 ・主権者教育 ・生徒会選挙	・選挙の方法を知る。(知) ・選挙公約を聞き、投票する候補者を考える。(思) ・記入、投函の流れに沿って投票しようとする。(態)	・投票箱、投票用紙
		3	○職業 ・1年間のまとめ	・1年間の授業を振り返る。(知) ・自分の実習や活動を振り返る。(思) ・まとめ、発表する。(態)	・教科書 ・ICT 機器

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級(類型)	3年・普通学級(基礎類型)		
教科・領域等名	職業	クラス・グループ	2グループ		
教科・領域等の目標	(1) 働くことに興味をもち、マナーやルールを守ることができる。(知) (2) 仲間と協力して活動し、コミュニケーション力や社会性を身に付ける。(思) (3) 進路への関心と理解を深め、自己決定の力を付ける。(態)				
単元(題材)名・主な学習内容		単元毎のねらい(評価の観点)	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	○職業 ・1年の授業の流れ ・挨拶、返事、報告の練習、身だしなみ、体力作り ・軽作業	・見通しをもって、活動することができる。(知) ・一定時間集中して作業に取り組むことができる。(思) ・自ら率先して挨拶、返事、報告ができる。(態)	・継続して取り組める適切な課題を設定し、定着を図る ・スイッチ教材を使用して、挨拶、返事、報告を促す。
		5	○職業 ・家の手伝いをやってみよう	・家庭での仕事内容を知る。(知) ・仕事の中から取り組める仕事を考える。(思) ・仕事に取り組む(態)	・家の手伝い(食器の片づけ・買い物・掃除・洗濯物干し等) ・タイムタイマーを活用して、作業と休憩のめりはりをつける。 ・ICT機器
		6	○産業現場等における実習 ・実習激励会事前事後学習	・実習先や目標を確認し、見通しをもつ。(知) ・自分の実習先や仕事内容を考える。(思) ・まとめ、発表する。(態)	・継続して取り組める適切な課題を設定し、定着を図る ・スイッチ教材を使用して、挨拶、返事、報告を促す
		7	○職業 ・挨拶、返事、報告の練習、身だしなみ、体力作り ・軽作業	・見通しをもって、活動することができる。(知) ・一定時間集中して作業に取り組むことができる。(思) ・自ら率先して挨拶、返事、報告ができる。(態)	・継続して取り組める適切な課題を設定し、定着を図る ・スイッチ教材を使用して、挨拶、返事、報告を促す
	9				
後期	2学期	10	○産業現場等における実習 ・実習激励会事前事後学習	・実習先や目標を確認し、見通しをもつ。(知) ・自分の実習先や仕事内容を考える。(思) ・まとめ、発表する。(態)	・教科書 ・ICT機器 ・現場実習日誌
		11	○職業 ・身だしなみ講座	・身だしなみや清潔について学ぶ。(知) ・働くための体力や健康について意識をする。(思) ・体調管理を心がける。(態)	・ワークシートや具体例を提示し、実際に自身の身だしなみについて確認をする。
		12	○職業 ・挨拶、返事、報告の練習、身だしなみ、体力作り ・軽作業	・見通しをもって、活動することができる。(知) ・一定時間集中して作業に取り組むことができる。(思) ・自ら率先して挨拶、返事、報告ができる。(態)	・継続して取り組める適切な課題を設定し、定着を図る ・スイッチ教材を使用して、挨拶、返事、報告を促す
	3学期	1	○職業 ・主権者教育 ・生徒会選挙	・選挙の方法を知る。(知) ・選挙公約を聞き、投票する候補者を考える。(思) ・記入、投函の流れに沿って投票しようとする。(態)	・投票箱、投票用紙
		2	○職業 ・1年間のまとめ	・1年間の授業を振り返る。(知) ・自分の実習や活動を振り返る。(思) ・まとめ、発表する。(態)	・教科書 ・ICT機器
3					

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）		
教科・領域等名	職業	クラス・グループ	3グループ		
教科・領域等の 目標	(1) 卒業後を見据えてビジネスマナー、ソーシャルスキルを身に付ける。(知) (2) 卒業後の生活に必要な力や支援機関等について考えたり調べたりする。(思) (3) 進路への関心と理解を深め、自己決定の力を付ける。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○勤労の意義 ・職種について 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な職種があることを知り、仕事の重要性を理解する。(知) ・仕事をする上での得意なことや苦手なことを考える。(思) ・得意なこと、苦手なことを他者に伝えようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートやICT機器を用いて、職種を提示する。
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○産業現場における実習に向けて ・現場実習事前学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・今ある課題を理解する。(知) ・現場実習の目標を考え、目標に即した力を身に付ける。(思) ・授業で身に付けた力を現場実習で生かそうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・現場実習日誌を基に、いくつかの目標を示す。
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○現場実習事後学習 ・現場実習報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・現場実習での成果について理解を深める。(知) ・実施後のまとめを行い、進路先を決められるようにする。(思) ・体験したことを振り返り、自分が頑張ったことを報告する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・現場実習日誌を活用し、成果について振り返りよう促す。
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○働くために必要な態度 ・報告や返事等適切な言葉遣い 	<ul style="list-style-type: none"> ・働くために必要な態度について理解を深める。(知) ・報告や返事等を適切な方法で行う。(思) ・自分から報告や返事等をしようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフトで選択肢を設ける。
		9	<ul style="list-style-type: none"> ○産業現場における実習 ・現場実習事前学習 ・現場実習事後学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の現場実習での課題を振り返る。(知) ・振り返りを基に目標を考える。(思) ・実施後のまとめを行い、進路先を決められるようにする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントを明確にして見本を示す。
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○ビジネスマナー ・話しかけ方、報告の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマナーについて知る。(知) ・正しい方法でロールプレイをする。(思) ・他者のロールプレイを見て、自分から助言をする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントを明確にして見本を示す。
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○社会人に向けて ・身だしなみ講座 ・健康管理について 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人の身だしなみや清潔について学ぶ。(知) ・働くための体力や健康について意識をする。(思) ・体調管理を心がける。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを用いて、自身の身だしなみについての確認をする
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業後について ・卒業後の支援機関 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後に利用する支援機関について知る。(知) ・支援機関の使い方を考える。(思) ・支援機関について調べた内容を発表する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例を提示し、必要に応じて個別に調べ方の確認をする。
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○主権者教育 ・生徒会役員選挙 	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙制度について理解する。(知) ・選挙公約をよく聞き、投票する人を決める。(思) ・投票用紙に自ら記入をする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・投票箱や投票用紙を事前に提示する。
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○消費者教育 ・お金の使い方 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の生活に向けて、お金の使い方について知る。(知) ・お金の使い方や使い道等について考える。(思) ・当事者意識をもって主体的に活動に取り組む。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートやICT機器を用いて、お金の使い方を示す。
		3	<ul style="list-style-type: none"> ○進路先報告会 ・事前学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路先報告会について理解する。(知) ・進路先や決意を具体的に考える。(思) ・卒業後への意識を高め、生活に見通しをもつ。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・やり方の見本を提示し、個別に報告内容の確認をする。

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）		
教科・領域等名	職業	クラス・グループ	4グループ		
教科・領域等の目標	(1) 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に関わる知識を身につける。(知) (2) 卒業後を見据え、自己の課題と解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。(思) (3) よりよい将来の職業生活の実現や地域社旗への貢献に向け、改善しようとする実践的な態度を養う。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○職業オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・年間の進路行事について ○挨拶練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の授業の内容と行事について知る。(知) ・どのようなことを学習し、身に付けるか考えようとする。(思)(態) ・挨拶、立ち振る舞い等、実践的な技術を学ぶ。(知) ・学んだ技術を表現できる。(思) ・実際の場面で、学んだことを表現しようとしている。(態) ・卒業後の生活に必要な知識を身に付ける。(知) ・なりたい自分を実現するために必要なことを考える。(思) ・必要な事柄について自ら知識を深めようとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・ワークシート ・教科書 ・ワークシート
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○勤労の意義 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の将来について考えよう 		
	6	<ul style="list-style-type: none"> ○産業現場等における実習 <ul style="list-style-type: none"> ・実習激励会、現場実習の事前事後学習(日誌・お礼状) ○職業 <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマナー 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の目標や日時、持ち物等を日誌に記入する。(知) ・現場実習の目標や現時点の課題を整理する。(思) ・相手に伝わる声の大きさや姿勢で発表しようとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・現場実習日誌 ・ワークシート 	
	7	<ul style="list-style-type: none"> ○職業 <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマナー 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として相応しい挨拶や言葉遣いへの知識を増やす。(知) ・学んだ技術を表現できる。(思) ・実際の場面で、学んだことを表現しようとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 	
	9	<ul style="list-style-type: none"> ○情報機器の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・PCの扱い方について 	<ul style="list-style-type: none"> ・PCの基本的な立ち上げ方や操作方法を知る。(知) ・ローマ字入力に慣れる。(思) ・覚えたことを活用して、文章を入力しようとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器 	
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○産業現場等における実習 <ul style="list-style-type: none"> ・現場実習事前学習 ○職業 <ul style="list-style-type: none"> ・健康管理について 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の適性や課題を整理する。(知) ・実習でできたことや失敗したことを書きだすことができる。(思) ・次の実習で活かせるように行動しようとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・現場実習日誌
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○勤労の意義 <ul style="list-style-type: none"> ・卒業後について 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人の身だしなみや清潔について理解する。(知) ・体力や健康についてチェックシートを用いて、自分に必要な体調の管理方法を考える。(思) ・自分で考えた体調管理方法を実践しようとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・ICT機器 ・教科書
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○職業 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会選挙 ・消費者教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後に利用する関係機関について知る。(知) ・自分が利用したい関係機関を考える。(思) ・教員の説明を聞いて、自分に置き換えて考えようとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○職業 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会選挙 ・消費者教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・投票を行い、選挙制度について理解を深める。(知) ・収入と支出の関係を学習し、生活に必要な費用や相談先について知る。(知) ・自分が利用したい関係機関を考える。(思) ・教員の説明を聞いて、自分に置き換えて考えようとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・投票箱 ・ICT機器 ・ワークシート
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○産業現場等における実習 <ul style="list-style-type: none"> ・進路先報告会事前学習 ・1年間のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路先や決意を具体的に発表する。(知) ・卒業後の生活や就労に関する内容を振り返る。(思) ・卒業後への意識を高める。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器 ・教科書
3					

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（総合類型）	
教科・領域等名	職業	クラス・グループ	5グループ	
教科・領域等の目標	(1) 卒業後の生活に必要な支援機関の知識を高める。(知) (2) 卒業後を見据えてビジネスマナー、ソーシャルスキルの理解を深める。(思) (3) 進路への関心と理解を深め、自己決定の力をつける。(態)			
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	1学期	4	○職業オリエンテーション ・1学期の授業の流れ ・1年間の授業内容と進路関係の行事について知る。(知) ・今までの学習や実習を振り返り、今後の課題や学びの見通しを持つ。(思) ・それぞれの課題について意見を出し、自身を振り返ろうとする。(態)	・教科書 ・ICT機器 ・ワークシート
	5	○社会人について学ぶ ・学生と社会人の違いを知る(知) ・社会人の自分をイメージし、現時点の課題を整理する。(思) ・社会人になる自分についてグループで意見を出し合い、まとめようとする。(態)	・教科書 ・ICT機器 ・ワークシート	
	6	○産業現場等における実習 ・現場実習事前学習 ・居住地の福祉事務所の場所と役割について知る。(知) ・福祉サービスやその手続きの方法を調べる。(思) ・調べた方法をグループで伝えあうことができる。(態)	・教科書 ・ICT機器 ・ワークシート	
	7	○情報機器の活用 ・パソコン操作 ・基本的なパソコンの操作を覚える。(知) ・ローマ字入力で文章を打つことができる。(思) ・自らパソコンを操作しようとする意識づけができる。(態)	・教科書 ・ICT機器 ・ワークシート ・ICT機器 ・ワークシート	
	9	○産業現場等における実習 ・現場実習事後学習 ・前回の現場実習の課題を振り返ることができる。(知) ・現場実習を振り返り、成果と2学期に向けた課題を整理する。(思) ・整理した課題を実行しようとする。(態)	・教科書 ・ICT機器 ・ワークシート	
後期	2学期	10	○職業 ・身だしなみ講座 ・社会人の身だしなみや清潔について学ぶ。(知) ・学校生活での身だしなみを意識する。(思) ・社会人の身だしなみについてグループで意見を交換する。(態)	・教科書 ・ICT機器 ・ワークシート
	11	○健康管理について ・健康管理について確認する。(知) ・体力や健康について意識する。(思) ・日常の体調管理を心がけようとする。(態)	・教科書 ・ICT機器 ・ワークシート	
	12	○勤労の意義 ・卒業後について ・進路先報告会事前学習 ・卒業後に利用する関係機関について知る。(知) ・進路先や決意を具体的に発表する。(思) ・他生徒の発表を聞き、卒業後への意識をさらに高める。(態)	・教科書 ・ICT機器 ・ワークシート	
	3学期	1	○主権者教育 ・生徒会役員選挙 ・選挙制度について理解する。(知) ・選挙公約をよく聞き、投票する人を決める。(思) ・投票する人を記入することができる。(態)	・教科書 ・ICT機器 ・ワークシート
	2	○職業 ・消費者教育 ・1年間のまとめ ・社会人として必要な金銭管理について知る。(知) ・卒業後の生活に向けて、お金の使い方や余暇の過ごし方を意識する。(思) ・卒業後の自分を想像して、どのように過ごすか意見を聞きあう。(態)	・教科書 ・ICT機器 ・ワークシート	
3				

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（総合類型）		
教科・領域等名	職業	クラス・グループ	6グループ		
教科・領域等の目標	(1) 卒業後を見据えてビジネスマナー、ソーシャルスキルを身に付ける。(知) (2) 卒業後の生活に必要な力や支援機関等について考えたり調べたりする。(思) (3) 進路への関心と理解を深め、自己決定の力を付ける。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点） 知知識、技能 思思考、判断、表現 態主体的に学習に取り組む態度	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○勤労の意義 ・職種について 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な職種があることを知り、仕事の重要性を理解する。(知) ・仕事をする上での得意なことや苦手なことを考える。(思) ・得意なこと、苦手なことを他者に伝えようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートやICT機器を用いて、職種を提示する。
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○産業現場における実習 ・現場実習事前学習 ・現場実習報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・今ある課題を理解する。(知) ・現場実習の目標を考え、目標に即した力を身に付ける。(思) ・授業で身に付けた力を現場実習で生かそうとする。(態) ・現場実習での成果について理解を深める。(知) ・実施後のまとめを行い、進路先を決められるようにする。(思) ・体験したことを振り返り、自分が頑張ったことを報告する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・現場実習日誌を基に、いくつかの目標を示す。 ・現場実習日誌を活用し、成果について振り返るよう促す。
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○働くために必要な態度 ・報告や相談等 	<ul style="list-style-type: none"> ・働くために必要な態度について理解を深める。(知) ・報告や返事等を適切な方法で行う。(思) ・自分から報告や相談等をしようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフトで選択肢を設ける。
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○求職登録の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労に向けての意欲を高め、申請書類の書き方を知る。(知) ・申請書類を書く上で、必要なことを考える。(思) ・正しく書いているかお互いに内容を確認しようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントを明確にして見本を示す。
	9	<ul style="list-style-type: none"> ○産業現場における実習 ・現場実習事前学習 ・現場実習事後学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の現場実習での課題を振り返る。(知) ・振り返りを基に目標を考える。(思) ・実施後のまとめを行い、進路先を決められるようにする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・現場実習日誌を活用し、成果について振り返るよう促す。 	
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○ビジネスマナー ・話しかけ方、報告・相談の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマナーについて知る。(知) ・正しい方法でロールプレイをする。(思) ・他者のロールプレイを見て、自分から助言をする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントを明確にして見本を示す。
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○社会人に向けて ・身だしなみ講座 ・健康管理について 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人の身だしなみや清潔について学ぶ。(知) ・働くための体力や健康について意識をする。(思) ・体調管理を心がける。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを用いて、自身の身だしなみについての確認をする
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業後について ・卒業後の支援機関 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後に利用する支援機関について知る。(知) ・支援機関の使い方を考える。(思) ・支援機関について調べた内容を発表する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例を提示し、必要に応じて個別に調べ方の確認をする。
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○主権者教育 ・生徒会役員選挙 	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙制度について理解する。(知) ・選挙公約をよく聞き、投票する人を決める。(思) ・政治に関心を持ち、投票行動について見通しをもつ。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・投票箱や投票用紙を事前に提示する。
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○消費者教育 ・お金の使い方 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の生活に向けて、お金の使い方について知る。(知) ・お金の使い方や使い道等について考える。(思) ・当事者意識をもって主体的に活動に取り組む。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートやICT機器を用いて、お金の使い方を示す。
		3	<ul style="list-style-type: none"> ○進路先報告会 ・事前学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路先報告会について理解する。(知) ・進路先や決意を具体的に考える。(思) ・卒業後への意識を高め、生活に見通しをもつ。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・やり方の見本を提示し、個別に報告内容の確認をする。

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（総合類型）		
教科・領域等名	職業	クラス・グループ	7グループ		
教科・領域等の目標	(1) 卒業後を見据えてビジネスマナー、ソーシャルスキルを身に付ける。(知) (2) 卒業後の生活に必要な力や支援機関等について考えたり調べたりする。(思) (3) 進路への関心と理解を深め、自己決定の力を付ける。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）			
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○勤労の意義 <ul style="list-style-type: none"> ・職種について ・求職登録の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な職種があることを知り、仕事の重要性を理解する。(知) ・仕事をする上での得意ことや苦手なことを考える。(思) ・得意なこと、苦手なことを他者に伝えようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートやICT機器を用いて、職種を提示する。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ○産業現場等における実習 <ul style="list-style-type: none"> ・現場実習の事前事後学習（日誌・お礼状） 	<ul style="list-style-type: none"> ・今ある課題を理解する。(知) ・振り返りを基に目標を考える。(思) ・課題改善に向けて、自ら行動に移すことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・現場実習日誌を基に、いくつかの目標を示す。 	
	6	<ul style="list-style-type: none"> ○職業 <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマナー 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として相応しい言葉遣い等の知識を高め、実践する。(知) ・正しい方法でロールプレイをする。(思) ・他者のロールプレイを見て、自分から助言をする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフトで選択肢を設ける。 	
	7	<ul style="list-style-type: none"> ○情報機器の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・PCの扱い方について 	<ul style="list-style-type: none"> ・PCの基本的な立ち上げ方や操作方法を知り、慣れる。(知) ・ローマ字入力操作性に慣れる。(思) ・基本的な操作方法を活用して、表を作成することができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントを明確にして見本を示す。 	
	9				
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○産業現場等における実習 <ul style="list-style-type: none"> ・現場実習事前学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の現場実習での課題を振り返る。(知) ・課題に対して、具体的な改善策等を考えることができる。(思) ・自分の適性や課題を整理し、実習でできたことや失敗したことを書きだし、次の実習で活かせるようにする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントを明確にして見本を示す。
	11	<ul style="list-style-type: none"> ○職業 <ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみ講座 ・健康管理について 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人の身だしなみや清潔について学ぶ。(知) ・社会人の身だしなみや清潔について、自己チェックや他者チェックで評価をする。(思) ・体調管理を心がける。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを用いて、自身の身だしなみについての確認をする 	
	12	<ul style="list-style-type: none"> ○勤労の意義 <ul style="list-style-type: none"> ・卒業後について 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後に利用する支援機関について知る。(知) ・支援機関の使い方を考える。(思) ・支援機関について調べた内容を発表する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例を提示し、必要に応じて個別に調べ方の確認をする。 	
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○職業 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会選挙 ・消費者教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・投票を行い、選挙制度について理解を深める。(知) ・選挙公約をよく聞き、投票する人を決める。(思) ・投票用紙に自ら記入をする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・投票箱や投票用紙を事前に提示する。
	2				
3	<ul style="list-style-type: none"> ○産業現場等における実習 <ul style="list-style-type: none"> ・進路先報告会事前学習 ・1年間のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の生活や就労に関する内容を振り返る。(知) ・進路先や決意を具体的に考える。(思) ・卒業後への意識を高め、生活に見通しをもつ。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートやICT機器を用いて、お金の使い方を示す。 		

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・重度重複学級		
教科・領域等名	作業学習		紙工班		
教科・領域等の目標	(1) 作業工程や手順を理解して見通しをもち、意欲的に仕事に取り組む力をつける。(知) (2) 指示をよく聞き、任された仕事に集中して取り組む力をつける。(思) (3) 働くための態度やマナーを身につけ、協力して仕事に取り組む力をつける。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○紙すき作業手順、役割確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な器具や道具の扱い方を知る。(知) ・自分の仕事の手順を確認し、理解する。(知) ・分担された仕事を指示通りに最後まで行うことができる。(思) ・一定時間、同じ作業に集中して取り組む。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真等を用いて作業工程を視覚化し、分かりやすく提示する。 ・使用する材料や道具置き場を一定に設定する。 ・挨拶や報告の仕方を、場面に応じて例示する。 ・タイマー等を使用し、作業時間を視覚的に分かりやすくする。 ・「10できたら報告する」など作業の流れを一定にし、見通しをもちやすくする。 ・作業の流れの動線を一定にする。 ・作業工程を視覚的に提示し見通しをもちやすくする。
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○数の意識と報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・数の目標をたてることで、1日の作業量を把握する。(知) ・事前に決めた数量で報告を行うことができる。(思) ・目標を意識しながら取り組むことで、主体的に次回の目標修正をすることができる。(態) ・作業に集中できる時間を延ばす。(態) 	
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間と連携・協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間に作業報告し、確認を依頼する。(知) ・仲間の作業報告を受け、量や質を確認する。(思) ・仲間と協力して作業に取り組む。(態) 	
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○製品加工の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・見本通りに紙を切る、折る、のりを貼ることができる。(知) ・製品の使い手を意識し、丁寧に作業する。(思) ・協力して製品作りを行う。(態) 	
		9	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の仕事を伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の仕事について、準備や手順を再確認する。(知) ・自分の仕事について準備や手順を伝えることができる。(思) ・写真等を用いて、準備リストと手順書を改善する。(態) 	
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○製品作りの意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業販売展示会の日程や目的等を知る。(知) ・より良い製品を作るために自分ができることを考える。(思) ・製品作りに向けて、意見交換をする。自分にできることを発表する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品の完成見本を提示し、見本通りに丁寧に製品を扱うようにする。 ・接客方法、言葉遣い等の見本を示し、ロールプレイで練習を行う。 ・一人で行えるような作業環境、道具の設定、手順書を提示する。 ・出来高表やシール等を用い、作業量を生徒が理解できるように支援する。 ・報告の際に、仕事の質が一定にできているか確認をする。 ・お互いの頑張ったことを認め合い、働く喜びを共有できるようにする。
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○製品加工 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業製品販売会に向けて、自分の役割を知る。(知) ・場面に応じた報告、連絡を確実にすることができる。(思) ・作業に集中できる時間を延ばす。(態) ・協力して製品作りを行う。(態) 	
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○作業製品販売会 	<ul style="list-style-type: none"> ・接客時の言葉遣いを知る。(知) ・販売する製品について、おすすめできる理由を考える。(思) ・販売数を増やすための工夫をする。(態) 	
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○学校や地域に還元できる製品の企画 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末に向けた活動予定を確認し、見通しをもつ。(知) ・教員が事前に準備した見本から、相手先が喜ぶ製品を考える。(思) ・活動での課題を改善するような工夫をする。(態) 	
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○製品加工 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の作業に見通しをもつ。(知) ・報告を確実に言い、困った時は教員へ相談する。(思) ・作業グループの中で周りを意識し、協力して作業する。(態) 	
		3	<ul style="list-style-type: none"> ○納品 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や正しい言葉遣いを再確認する。(知) ・報告を確実に言い、困った時は教員へ相談する。(思) ・お互いの頑張りを認め、働く喜びや達成感を共有する。(態) 	

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）		
教科・領域等名	作業学習		紙工班		
教科・領域等の目標	(1) 作業工程や手順を理解して見通しを持ち、意欲的に仕事に取り組む力をつける。(知) (2) 指示をよく聞き、任された仕事に集中して取り組む力をつける。(思) (3) 働くための態度やマナーを身につけ、協力して仕事に取り組む力をつける。(態) (4) 製品を作り上げる喜びや達成感を感じる。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1 学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○紙すき作業手順、役割確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な器具や道具の扱い方を知る。(知) ・自分の仕事の手順を確認し、理解する。(知) ・分担された仕事を指示通りに最後まで行うことができる。(思) ・一定時間、同じ作業に集中して取り組む。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真等を用いて作業工程を視覚化し、分かりやすく提示する。 ・使用する材料や道具置き場を一定に設定する。 ・挨拶や報告の仕方を、場面に応じて例示する。 ・タイマー等を使用し、作業時間を視覚的に分かりやすくする。 ・「10できたら報告する」など作業の流れを一定にし、見通しをもちやすくする。 ・作業の流れの動線を一定にする。 ・作業工程を視覚的に提示し見通しをもちやすくする。
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○数の意識と報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・数の目標をたてることで、1日の作業量を把握する。(知) ・事前に決めた数量で報告を行うことができる。(思) ・目標を意識しながら取り組むことで、主体的に次回の目標修正を行うことができる。(態) ・作業に集中できる時間を延ばす。(態) 	
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間と連携・協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間に作業報告し、確認を依頼する。(知) ・仲間の作業報告を受け、量や質を確認する。(思) ・仲間と協力して作業に取り組む。(態) 	
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○製品加工の準備 ○自分の仕事を伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ・見本通りに紙を切る、折る、のりを貼ることができる。(知) ・製品の使い手を意識し、丁寧に作業する。(思) ・協力して製品作りを行う。(態) ・自分の仕事について、準備や手順を再確認する。(知) ・自分の仕事について準備や手順を伝えることができる。(思) ・写真等を用いて、準備リストと手順書を改善する。(態) 	
		9			
後期	2 学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○製品作りの意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業販売展示会の日程や目的等を知る。(知) ・より良い製品を作るために自分ができることを考える。(思) ・製品作りに向けて、意見交換をする。自分にできることを発表する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品の完成見本を提示し、見本通りに丁寧に製品を扱うようにする。 ・接客方法、言葉遣い等の見本を示し、ロールプレイで練習を行う。 ・一人で行えるような作業環境、道具の設定、手順書を提示する。 ・出来高表やシール等を用い、作業量を生徒が理解できるように支援する。 ・報告の際に、仕事の質が一定にできているか確認をする。 ・お互いの頑張ったことを認め合い、働く喜びを共有できるようにする。
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○製品加工 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業製品販売会に向けて、自分の役割を知る。(知) ・場面に応じた報告、連絡を確実にすることができる。(思) ・作業に集中できる時間を延ばす。(態) ・協力して製品作りを行う。(態) 	
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○作業製品販売会 	<ul style="list-style-type: none"> ・接客時の言葉遣いを知る。(知) ・販売する製品について、おすすめできる理由を考える。(思) ・販売数を増やすための工夫をする。(態) 	
	3 学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○学校や地域に還元できる製品の企画 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末に向けた活動予定を確認し、見通しをもつ。(知) ・教員が事前に準備した見本から、相手先が喜ぶ製品を考える。(思) ・活動での課題を改善するような工夫をする。(態) 	
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○製品加工 ○納品 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の作業に見通しをもつ。(知) ・報告を確実に言い、困った時は教員へ相談する。(思) ・作業グループの中で周りを意識し、協力して作業する。(態) ・挨拶や正しい言葉遣いを再確認する。(知) ・報告を確実に言い、困った時は教員へ相談する。(思) ・お互いの頑張りを認め、働く喜びや達成感を共有する。(態) 	
		3			

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）	
教科・領域等名	作業学習	クラス・グループ	洗濯班	
教科・領域等の目標	(1) 工程や手順を理解して見通しをもち、意欲的に仕事に取り組む力をつける。(知) (2) 指示をよく聞き、任された仕事に集中して取り組む力をつける。(知) (3) 働くための態度やマナーを身につけ、協力して仕事に取り組む力をつける。(思) (4) 洗濯作業を通して、日常生活に必要な知識・技能を高める。(思) (5) 受注、配達などを通して、人とのコミュニケーションをはかり、社会性を身に付ける。(態)			
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○役割の確認をしよう ・仕事を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事に関わりやすいよう、メンバー分けを考える。 ・ホワイトボードにグループごとの仕事の流れ、分担、現況が分かる手順表を掲示する。 ・報告や相談のタイミングや言葉を明確に示し、繰り返し練習する。 ・作業工程表やマニュアルを作成し、自主的に活動できるようにする。 ・視覚的な情報を多く用い分かりやすくする。 ・動きやすい作業の動線を工夫する。
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶と報告をしよう 	
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○時間を意識しよう 	
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○数を意識しよう 	
	9	<ul style="list-style-type: none"> ○役割の確認をしよう ・仕事を再確認する 		
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間と協力しよう 	
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○作業販売展示会に向けて ・仕事内容の確認 ・役割分担 	
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間と連携しよう ・展示会での催しについて 	
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○作業販売展示会 ・整理整頓 ・展示会準備 ・片付け 	
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○1年間のまとめをしよう 	
		3	<ul style="list-style-type: none"> ○1年間のまとめをしよう 	

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級(類型)	3年・重度重複学級		
教科・領域等名	作業学習	クラス・グループ	農園芸班		
教科・領域等の目標	(1) 工程や手順を理解して見通しを持ち、意欲的に仕事に取り組む力をつける。(知) (2) 指示をよく聞き、任された仕事に集中して取り組む力をつける。(知) (3) 様々な道具を使う中、安全についての意識と行動を養う。(思) (4) 働くための態度やマナーを身につけ、協力して仕事に取り組む力をつける。(態) (5) 作物の収穫、加工調整を通して働くことの喜びや達成感を味わう。(態)				
単元(題材)名・主な学習内容		単元毎のねらい(評価の観点)	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○作業道具や手順を知る ・花の栽培 ・土ふるい ・土作り ・種まき ・片付け 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な器具や道具の扱い方や仕事の手順を確認し、覚える。(知) ・分担された仕事を指示通りに最後まで行うことができる。(思) ・作業に必要な道具をイメージし、主体的に準備する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・道具について安全に使用できるように留意する。 ・視覚的に分かるよう掲示物を用意する。 ・収穫する大きさ等視覚的に分かるようにする。 ・気候により、休憩や水分補給を行う。 ・生徒の実態に合わせ、役割を分担し、責任感をもたせるように指導する。 ・休憩や水分補給を多く行う。 ・報告のタイミングや言葉を明確に示し、繰り返し練習する。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ○時間を意識する ・夏野菜の栽培 	<ul style="list-style-type: none"> ・開始時間と終了時間を確認しながら、作業できるようになる。(知) ・一定時間で作業できる量を自分で判断できるようになる。(思) ・提示された時間の中で終わられるように活動する。(態) 		
	6	<ul style="list-style-type: none"> ○報告の仕方 ・土作り、耕うん ・畝立て ・種まき、定植 ・間引き ・水やり 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要とされる知識及び技能を身に付ける。(知) ・状況を見て、適切な声量やタイミングで報告等ができる。(思) ・自ら作業の終わりが分かり、報告をする。(態) 		
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫 ・片付け 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担などの見通しをもてるようになる。(知) ・同じ作業に取り組む仲間と役割を確認し、お互いに補いあう。(思) ・周囲の状況を確認し、自ら協力して活動する。(態) 		
後期	2学期	9	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間と協力する ・草花の栽培 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要とされる実勢的な知識及び技能を身に付ける。(知) ・決められた手順を守り、丁寧かつ正確に作業する。(思) ・作業に必要な道具をイメージし、主体的に準備する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に合わせ、役割を分担し、責任感をもたせるように指導する。 ・報告のタイミングや言葉を明確に示し、繰り返し練習する。 ・一人で出来るように支援し、見守る場面を増やす。 ・働く場面での言葉遣いや態度についての言葉かけを多くする。
		10	<ul style="list-style-type: none"> ○作業手順を覚える 等 ・冬野菜の栽培 等 		
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○報告、相談の仕方 ・花の栽培 ・土ふるい ・土作り ・種まき ・片付け 等 		
	12	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間と協力する ・冬野菜の栽培 ・土作り、耕うん ・種まき ・定植 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担や作業量から、見通しをもてるようになる。(知) ・同じ作業に取り組む仲間と役割を確認し、お互いに補いあう。(思) ・周囲の状況を確認し、自ら協力して活動する。(態) 		
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ・間引き ・水やり 等 		
2	<ul style="list-style-type: none"> ○こぶし祭 ・販売準備 販売練習 ・製品販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・接客時の言葉遣いなどを知る。(知) ・販売に向けて自分ができることを考える。(思) ・協力して販売会の準備をする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・道具について安全に使用できるように留意する。 		
3					

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）			
教科・領域等名	作業学習	クラス・グループ	農園芸班			
教科・領域等の目標	(1) 工程や手順を理解して見通しを持ち、意欲的に仕事に取り組む力をつける。(知) (2) 指示をよく聞き、任された仕事に集中して取り組む力をつける。(知) (3) 様々な道具を使う中、安全についての意識と行動を養う。(思) (4) 働くための態度やマナーを身につけ、協力して仕事に取り組む力をつける。(態) (5) 作物の収穫、加工調整を通して働くことの喜びや達成感を味わう。(態)					
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等			
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○作業道具や手順を知る ・花の栽培 ・土ふるい ・土作り ・種まき ・片付け 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な器具や道具の扱い方や仕事の手順を確認し、覚える。(知) ・分担された仕事を指示通りに最後まで行うことができる。(思) ・作業に必要な道具をイメージし、主体的に準備する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・道具について安全に使用できるように留意する。 ・視覚的に分かるよう掲示物を用意する。 ・収穫する大きさ等視覚的に分かるようにする。 ・気候により、休憩や水分補給を行う。 ・生徒の実態に合わせ、役割を分担し、責任感をもたせるように指導する。 ・休憩や水分補給を多く行う。 ・報告のタイミングや言葉を明確に示し、繰り返し練習する。 	
	5	<ul style="list-style-type: none"> ○時間を意識する ・夏野菜の栽培 	<ul style="list-style-type: none"> ・開始時間と終了時間を確認しながら、作業できるようになる。(知) ・一定時間で作業できる量を自分で判断できるようになる。(思) ・提示された時間の中で終わられるように活動する。(態) 			
	6	<ul style="list-style-type: none"> ○報告の仕方 ・土作り、耕うん ・畝立て ・種まき、定植 ・間引き ・水やり ・収穫 ・片付け 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要とされる知識及び技能を身に付ける。(知) ・状況を見て、適切な声量やタイミングで報告等ができる。(思) ・自ら作業の終わりが分かり、報告をする。(態) 			
	7	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間と協力する ・草花の栽培 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担などの見通しをもてるようになる。(知) ・同じ作業に取り組む仲間と役割を確認し、お互いに補いあう。(思) ・周囲の状況を確認し、自ら協力して活動する。(態) 			
後期	2学期	9	<ul style="list-style-type: none"> ○作業道具や手順を知る ・花の栽培 ・土ふるい ・土作り ・種まき ・片付け 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要とされる実勢的な知識及び技能を身に付ける。(知) ・決められた手順を守り、丁寧かつ正確に作業する。(思) ・作業に必要な道具をイメージし、主体的に準備する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に合わせ、役割を分担し、責任感をもたせるように指導する。 ・報告のタイミングや言葉を明確に示し、繰り返し練習する。 ・一人で出来るように支援し、見守る場面を増やす。 ・働く場面での言葉遣いや態度についての言葉かけを多くする。 	
		10	<ul style="list-style-type: none"> ○作業手順を覚える 等 ・冬野菜の栽培 等 			
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○報告、相談の仕方 ・花の栽培 ・土ふるい ・土作り ・種まき ・片付け 等 			<ul style="list-style-type: none"> ・必要とされる知識及び技能を身に付ける。(知) ・状況を見て、適切な声量やタイミングで報告等ができる。(思) ・作業の区切りで報告や相談しながら、活動する。(態)
	12	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間と協力する ・冬野菜の栽培 ・土作り、耕うん ・種まき ・定植 ・間引き ・水やり 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担や作業量から、見通しをもてるようになる。(知) ・同じ作業に取り組む仲間と役割を確認し、お互いに補いあう。(思) ・周囲の状況を確認し、自ら協力して活動する。(態) 			
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○こぶし祭 ・販売準備 販売練習 ・製品販売 			<ul style="list-style-type: none"> ・接客時の言葉遣いなどを知る。(知) ・販売に向けて自分ができることを考える。(思) ・協力して販売会の準備をする。(態)
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○こぶし祭 ・販売準備 販売練習 ・製品販売 			<ul style="list-style-type: none"> ・接客時の言葉遣いなどを知る。(知) ・販売に向けて自分ができることを考える。(思) ・協力して販売会の準備をする。(態)
3		<ul style="list-style-type: none"> ○こぶし祭 ・販売準備 販売練習 ・製品販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・接客時の言葉遣いなどを知る。(知) ・販売に向けて自分ができることを考える。(思) ・協力して販売会の準備をする。(態) 			

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・重度重複学級		
教科・領域等名	作業学習		クラス・グループ		
教科・領域等の目標	(1) 工程や手順を理解して見通しをもち、意欲的に仕事に取り組む力を付ける。(知) (2) 相手に伝わる報告や相談、依頼の方法を身に付ける。(知) (3) 指示をよく聞き、任された仕事に集中して取り組む力を付ける。(思) (4) 働くための態度やマナーを身に付け、協力して仕事に取り組む力を付ける。(態) (5) 社会とのつながりを意識しつつ、他者と協力して目的を達成しようとする態度を育む。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション ・ 昨年の作業内容を振り返る ・ 未経験作業の体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年取り組んだ作業内容を振り返り、年間の見通しをもつ。(知) ・ 経験のない作業を体験してみて、自分に適した作業を探す。(思) ・ 分担された仕事を指示通りに最後まで行うことができる。(思) ・ 一定時間、同じ作業を集中して取り組む。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業種の内容工程表や手順書を準備する。 ・ タイマー等を使用し、作業時間を視覚的に分かりやすくする。 ・ 使用する材料や道具置き場を視覚的に分かりやすく整理する。 ・ 挨拶や報告の仕方を、場面に応じて例示する。 ・ 必要な部署に報告や依頼の動線が分かりやすく、席を配置する。 ・ 報告や相談のタイミングや言葉を明確に示し、繰り返し練習する。 ・ 参考となる製品を提示する。
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○仕事の基本を知る。 ・ 身だしなみ確認 ・ 返事、挨拶、姿勢、礼等の確認と練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶や身だしなみ等の基本を知る。(知) ・ どの仕事にも通じる内容を意識する。(返事、挨拶、身だしなみ、報告、清潔、姿勢、状況に合わせた礼の角度など)(思) ・ 場面や相手に応じた挨拶、報告をしようとする。(態) 	
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○道具の使い方を知る。 ・ 仕事場の整理・整頓 ・ 清掃作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整理、整頓の仕方や清掃用具の正しい扱い方を知る。(知) ・ 使いやすいように資材や道具の配置について考えて、整理・整頓ができる。(思) ・ 友達と協力して、片付けや清掃に取り組む。(態) 	
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間同士で検討する。 ・ 紙袋のデザインを考える。 ・ 工程や手順の課題と改善についての話し合い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的に合った文字のフォントや配色について知る。(知) ・ 行事や紙袋に入れる物を確認し、必要な文字やマーク、模様等のステンシルを考えて、作成する。(思) ・ より良い物を作ろうと仲間同士で検討する。(態) 	
	9	<ul style="list-style-type: none"> ○作業工程を知る ・ 回収・仕分け・結束・押印 ・ シュレッター・計量・デザイン・カッティング・製品加工・納品 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製品完成までの作業工程を知り、自分の担当作業の役割や注意点について意識する。(知) ・ 次の工程の担当者を意識して丁寧に自分の作業に取り組む。(思) ・ 相手に伝わるように報告や依頼ができる。(態) 		
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○効率を考える ・ 返事、挨拶、姿勢、礼等の確認と練習 ・ 自分の仕事の確認と改善についての話し合い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な言葉遣いや作業態度を知り、意識する。(知) ・ 挨拶、返事、報告を適切な声量やタイミングで行う。(思) ・ 清潔で安全な身だしなみを意識し、実践したり、見学者に対して自分から挨拶したりできる。(態) ・ 作業販売展示会の日程や目的等を知る。(知) ・ SDGs 目標「つくる責任つかう責任」について学習する。(知) ・ より良い製品を作るために自分ができることや効率の良い手順について考える。(思) ・ 製品作りで工夫できることや改善点について提案したり、相手の提案に耳を傾けたりしながら話し合う。(態) 	
		11			
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○作業を改善する ・ 回収・仕分け・結束・押印 ・ シュレッター・計量・デザイン・カッティング・製品加工・納品 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改善した手順を覚えて進める。(知) ・ 新しい仕事を覚え、担当できる作業工程を増やす。(知) ・ 製品を点検し、不要な素材や不良品を外すことができる。(思) ・ 整理整頓を意識し、決められたスペースで、丁寧に取り組む。(思) ・ 集中して取り組み、慣れるに従い作業能率の向上を図る。(態) ・ 仲間に報告や相談をしながら協力して進めようとする。(態) 	
	3学期	1			
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間と協力する。 ・ 参考製品や手順書の製作 ・ 仕事場の整理・整頓・清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整理、整頓の仕方や清掃用具の正しい扱い方を知る。(知) ・ 参考製品を選び、清掃ができる。(思) ・ 友達と協力して、片付けや清掃ができる。(態) 	
		3	<ul style="list-style-type: none"> ○1年間のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ できるようになったことなど自分の成長を振り返り返る。(知) ・ 振り返った内容を発表することができる。(思) ・ 改善点を卒業後の仕事に活かそうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間の活動を評価し、成長した点や課題点を伝える。

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級(類型)	3年・普通学級(基礎類型)				
教科・領域等名		作業学習	クラス・グループ				
教科・領域等の目標		リサイクル班					
		(1)工程や手順を理解して見通しをもち、意欲的に仕事に取り組む力を付ける。(知) (2)相手に伝わる報告や相談、依頼の方法を身に付ける。(知) (3)指示をよく聞き、任された仕事に集中して取り組む力を付ける。(思) (4)働くための態度やマナーを身に付け、協力して仕事に取り組む力を付ける。(態) (5)社会とのつながりを意識しつつ、他者と協力して目的を達成しようとする態度を育む。(態)					
単元(題材)名・主な学習内容		単元毎のねらい(評価の観点)	指導の工夫及び活用する教材等				
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション ・昨年の作業内容を振り返る ・未経験作業の体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年取り組んだ作業内容を振り返り、年間の見通しをもつ。(知) ・経験のない作業を体験してみて、自分に適した作業を探す。(思) ・分担された仕事を指示通りに最後まで行うことができる。(思) ・一定時間、同じ作業を集中して取り組む。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業種の内容工程表や手順書を準備する。 ・タイマー等を使用し、作業時間を視覚的に分かりやすくする。 ・使用する材料や道具置き場を視覚的に分かりやすく整理する。 ・挨拶や報告の仕方を、場面に応じて例示する。 ・必要な部署に報告や依頼の動線が分かりやすく、席を配置する。 ・報告や相談のタイミングや言葉を明確に示し、繰り返し練習する。 ・参考となる製品を提示する。 		
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○仕事の基本を知る。 ・身だしなみ確認 ・返事、挨拶、姿勢、礼等の確認と練習 			<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や身だしなみ等の基本を知る。(知) ・どの仕事にも通じる内容を意識する。(返事、挨拶、身だしなみ、報告、清潔、姿勢、状況に合わせた礼の角度など)(思) ・場面や相手に応じた挨拶、報告をしようとする。(態) 	
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○道具の使い方を知る。 ・仕事場の整理・整頓 ・清掃作業 				<ul style="list-style-type: none"> ・整理、整頓の仕方や清掃用具の正しい扱い方を知る。(知) ・使いやすいように資材や道具の配置について考えて、整理・整頓ができる。(思) ・友達と協力して、片付けや清掃に取り組む。(態)
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間同士で検討する。 ・紙袋のデザインを考える。 ・工程や手順の課題と改善についての話し合い 				
	9	<ul style="list-style-type: none"> ○作業工程を知る ・回収・仕分け・結束・押印 ・シュレッダー・計量・デザイン・カッティング・製品加工・納品 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品完成までの作業工程を知り、自分の担当作業の役割や注意点について意識する。(知) ・次の工程の担当者を意識して丁寧に自分の作業に取り組む。(思) ・相手に伝わるように報告や依頼ができる。(態) 				
2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○効率を考える ・返事、挨拶、姿勢、礼等の確認と練習 ・自分の仕事の確認と改善についての話し合い 		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な言葉遣いや作業態度を知り、意識する。(知) ・挨拶、返事、報告を適切な声量やタイミングで行う。(思) ・清潔で安全な身だしなみを意識し、実践したり、見学者に対して自分から挨拶したりできる。(態) ・作業販売展示会の日程や目的等を知る。(知) ・SDGs目標「つくる責任つかう責任」について学習する。(知) ・より良い製品を作るために自分ができることや効率の良い手順について考える。(思) ・製品作りで工夫できることや改善点について提案したり、相手の提案に耳を傾けたりしながら話し合う。(態) 			
	11				<ul style="list-style-type: none"> ・改善した手順を覚えて進める。(知) ・新しい仕事を覚え、担当できる作業工程を増やす。(知) ・製品を点検し、不要な素材や不良品を外すことができる。(思) ・整理整頓を意識し、決められたスペースで、丁寧に取り組む。(思) ・集中して取り組み、慣れるに従い作業能率の向上を図る。(態) ・仲間に報告や相談をしながら協力して進めようとする。(態) 		
	12	<ul style="list-style-type: none"> ○作業を改善する ・回収・仕分け・結束・押印 ・シュレッダー・計量・デザイン・カッティング・製品加工・納品 					
3学期	1		<ul style="list-style-type: none"> ・整理、整頓の仕方や清掃用具の正しい扱い方を知る。(知) ・参考製品を選び、清掃ができる。(思) ・友達と協力して、片付けや清掃ができる。(態) 				
	2	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間と協力する。 ・参考製品や手順書の製作 ・仕事場の整理・整頓・清掃 		<ul style="list-style-type: none"> ・できるようになったことなど自分の成長を振り返り返る。(知) ・振り返った内容を発表することができる。(思) ・改善点を卒業後の仕事に活かそうとする。(態) 			
	3	<ul style="list-style-type: none"> ○1年間のまとめ 					

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級(類型)	3年・普通学級(総合類型)		
教科・領域等名	作業学習	クラス・グループ	事務作業班		
教科・領域等の目標	(1) パソコンやシュレッダー、コピー機など機械の操作方法や基本的な技術を習得する。(知) (2) 協力して作業に取り組む力、場面に応じた適切なコミュニケーション能力を身に付ける。(思) (3) 効率の良い作業工程を考え、納期や数量を意識して、正確かつ丁寧に作業に取り組む。(態)				
単元(題材)名・主な学習内容		単元毎のねらい(評価の観点)	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション ・作業内容、作業工程の確認 ・作業日誌の記入方法 ・身だしなみの確認 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔で安全な身だしなみを意識し、実践する。(知) ・作業日誌を通じて、その日の作業を振り返り、自己評価をする。また、自身の課題に気付く。(思) ・実践したことを評価・改善し、考えたことを表現する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントを明確にして、話をする。 ・挨拶練習や身だしなみチェックを行う。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークトレーニング ・紙の計数 ・スタンプ押し 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付ける。(知) ・決められた手順を守り、丁寧かつ正確に作業する。(思) ・作業に必要な道具をイメージし、主体的に準備する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・手順表や視覚支援を用いて、繰り返し作成を行う。 	
	6	<ul style="list-style-type: none"> ○パソコンの使い方 ・ローマ入力 ・名刺作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンの基本的な立ち上げ方や操作方法を知る。(知) ・ローマ字入力の操作に慣れる。(思) ・ローマ字入力や操作方法を活用して任された名刺を作成する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・名刺作成手順表 	
	7	<ul style="list-style-type: none"> ○作業手順を覚える ・印刷、丁合、配布 ・シュレッダー回収 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業生活に必要とされる実勢的な知識及び技能を身に付ける。(知) ・決められた手順を守り、丁寧かつ正確に作業する。(思) ・作業に必要な道具をイメージし、主体的に準備する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・道具の置き場所が分かりやすい環境を整備する。 	
	9	<ul style="list-style-type: none"> ○報告、連絡、相談の仕方 ・適切な言葉遣い ・クッション言葉 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付ける。(知) ・状況を見て、適切な声量やタイミングで報告等ができる。(思) ・報告、連絡、相談を場面で使い分けながら、活動する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告や相談のタイミングを明確に示し、練習する。 	
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークトレーニング ・紙の計数 ・スタンプ押し ・カッティング 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付ける。(知) ・決められた手順を守り、正確に作業する。(思) ・作業に必要な道具をイメージし、主体的に準備する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回までの反省をもとに、目標を立てられる作業日誌を活用する。
	11	<ul style="list-style-type: none"> ○メモ帳の使い方 ・メモを読み返す ・必要事項の聞き書き 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付ける。(知) ・作業の過程で困ったときに、メモを読み返して、取り組む。(思) ・活動しながら気づいたこと、工夫したことなどを、メモする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・メモを見返すことを促す。 	
	12	<ul style="list-style-type: none"> ○時間を意識する ・印刷、丁合、配布 ・シュレッダー回収 ・用紙補充 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・開始時間と終了時間を確認しながら、作業できるようになる。(知) ・一定時間で作業できる量を自分で判断できるようになる。(思) ・自分で基準となる時間を決めて、活動する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・道具の置き場所が分かりやすい環境を整備する。 	
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間と協力する ・印刷、丁合、配布 ・シュレッダー回収 ・用紙補充 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担や作業量から、全体的な見通しをもてるようになる。(知) ・同じ作業に取り組む仲間と役割を確認し、お互いに補いあう。(思) ・周囲の状況を確認し、自ら協力して活動する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々に応じて、視覚支援や個別に指導を行う。
	2	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間と協力する ・印刷、丁合、配布 ・シュレッダー回収 ・用紙補充 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担や作業量から、全体的な見通しをもてるようになる。(知) ・同じ作業に取り組む仲間と役割を確認し、お互いに補いあう。(思) ・周囲の状況を確認し、自ら協力して活動する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々に応じて、視覚支援や個別に指導を行う。 	
3	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間と協力する ・印刷、丁合、配布 ・シュレッダー回収 ・用紙補充 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担や作業量から、全体的な見通しをもてるようになる。(知) ・同じ作業に取り組む仲間と役割を確認し、お互いに補いあう。(思) ・周囲の状況を確認し、自ら協力して活動する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々に応じて、視覚支援や個別に指導を行う。 		

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（総合類型）		
教科・領域等名	作業学習	クラス・グループ	食品加工班		
教科・領域等の目標	(1) 職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。(知) (2) 働くことの意味を理解し、望ましい態度（意欲、言葉遣い、挨拶、報告、身だしなみ）を身に付ける。(思) (3) 効率の良い作業工程を考え、納期や数量を意識して、正確かつ丁寧に作業に取り組む。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション ・作業内容、作業工程の確認 ・作業日誌の記入方法 ・身だしなみの確認 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔で安全な身だしなみを意識し、実践する。(知) ・作業日誌を通じて、その日の作業を振り返り、自己評価をする。また、自身の課題に気付く。(思) ・実践したことを評価・改善し、考えたことを表現する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントを明確にして、話をする。 ・前回までの反省をもとに、目標を立てられる作業日誌を活用する。
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○衛生管理を身に付ける ・手洗いの手順 ・毛髪の整え方 ・テーブル拭き 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付ける。(知) ・決められた手順を守り、身支度を整えることができる。(思) ・衛生面を常に意識し、作業環境も整えながら、活動する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶練習や身だしなみチェックを行う。
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○作業手順を覚える ・道具準備 ・計量 ・菓子製造 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業生活に必要とされる実勢的な知識及び技能を身に付ける。(知) ・決められた手順を守り、丁寧かつ正確に作業する。(思) ・作業に必要な道具をイメージし、主体的に準備する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・道具の種類や置き場所が分かりやすい環境を整備する。
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○報告の仕方 ・適切な言葉遣い ・報告のタイミング 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付ける。(知) ・状況を見て、適切な声量やタイミングで報告等ができる。(思) ・作業の区切りで報告しながら、活動する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告のタイミングや言葉を明確に示し、繰り返し練習する。
	9	<ul style="list-style-type: none"> ○時間を意識する ・道具準備 ・菓子製造 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・開始時間と終了時間を確認しながら、作業できるようになる。(知) ・一定時間で作業できる量を自分で判断できるようになる。(思) ・提示された時間の中で終わられるように活動する。(態) 		
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○販売に向けて ・菓子製造 ・袋詰め ・ラベル貼り 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付ける。(知) ・決められた手順を守り、正確に作業する。(思) ・お客様の立場に立って、商品を丁寧に扱う。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品販売に必要な見た目やラベルなどを意識できるようにする。
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○報告、連絡、相談の仕方 ・適切な言葉遣い ・クッション言葉 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付ける。(知) ・状況を見て、適切な声量やタイミングで報告等ができる。(思) ・報告、連絡、相談を場面で使い分けながら、活動する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習や体験を通じて身に付けた言葉やタイミングを活用できるようにする。
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○時間を意識する ・道具準備 ・菓子製造 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・開始時間と終了時間を確認しながら、作業できるようになる。(知) ・一定時間で作業できる量を自分で判断できるようになる。(思) ・自分で基準となる時間を決めて、その時間内で活動する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームとしての時間や、役割分担を意識できるようにする。
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間と協力する ・道具準備 ・計量 ・菓子製造 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担や作業量から、全体的な見通しをもてるようになる。(知) ・同じ作業に取り組む仲間と役割を確認し、お互いに補いあう。(思) ・周囲の状況を確認し、自ら協力して活動する。(態) 	
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○販売に向けて ・挨拶 ・接客用語 ・金銭の取扱い 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付ける。(知) ・状況を見て、言葉遣いや接客用語を使い分けられることができる。(思) ・学習した言葉遣いや接客用語を用いて、販売活動に取り組む。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の職業生活を意識した行動や態度を説明する。
3					

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・重度重複学級		
教科・領域等名	日常生活の指導		クラス・グループ		
教科・領域等の目標	(1) 学校生活の流れを意識し、基本的な生活習慣を確立する。 (2) 活動の流れを知り、学校生活を安心して過ごす。 (3) 運動の楽しさを知り、基礎体力の維持と向上を図る。				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○朝の会 ・挨拶、時間割、献立 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の呼びかけに応じて、挨拶や返事ができるようになる。 ・朝の会の手順及び一週間の基本的な流れに慣れる。 ・生活のリズムを整える。 ・朝の会の司会を自ら進んで行おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもちやすいように個別に支援する。 ・写真、カード等の視覚的な支援を用いてわかりやすくする。 ・活動を繰り返し、見通しをもてるようにする。 ・水分補給等に気をつける。 ・数の確認ができる用具を準備する。 ・食べる順番を工夫する。
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○衣服着脱 ・着替え、荷物整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・着替えの順番や脱いだ物を置く位置を覚えることができる。 ・脱ぐ時に裏返しにならないように気をつけることができる。 ・一人で、できることを増やす。 	
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○排泄 ・トイレの使い方やサイン 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いの仕方を覚える。 ・トイレ等の意思表示ができるようになる。 ・排泄後、自分から手を洗うことができる。 	
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○体力づくり ・準備体操、ランニング、ダンス ○係活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体を動かすことや体力づくりに興味や関心をもつことができる。 ・身体を動かすことを楽しみ、習慣化する。 ・係や当番活動、清掃活動を覚える。 ・自分の係仕事に取り組むことが習慣化する。 	
	9	<ul style="list-style-type: none"> ○給食指導 ・準備、片づけ、摂食指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備、片付けの習慣化をし、自分で準備ができる。 ・好き嫌いをなくし、食べられるものを増やす。 		
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○朝の会 ・挨拶、時間割、献立 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会の手順及び一週間の基本的な流れに慣れる。 ・朝の司会を自ら進んで行うことができる。 ・朝の会や次の授業の開始時間を意識して着替えや行動ができる。 	
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○衣服着脱 ・着替え、荷物整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・着替えの順番や脱いだ物を置く位置を覚えることができる。 ・脱ぐ時に裏返しにならないように気をつけることができる。 ・一人で、できることを増やす。 	
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○排泄 ・トイレの使い方やサイン 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いを自ら行おうとしようとする。 ・トイレ等の意思表示ができるようになる。 	
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○体力づくり ・準備体操、ランニング、ダンス ○係活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体を動かすことや体力づくりに興味や関心をもつことができる。 ・身体を動かすことを楽しみ、習慣化する。 ・係や当番活動、清掃活動を覚える。 ・自分の係仕事に取り組むことが習慣化する。 	
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○給食指導 ・準備、片づけ、摂食指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備、片付けの習慣化をし、自分で準備ができる。 ・好き嫌いをなくし、食べられるものを増やす。 	
		3			

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）	
教科・領域等名	日常生活の指導	クラス・グループ	B組	
教科・領域等の目標	(1) 清潔や身だしなみを意識し、身辺処理能力を高める。 (2) 朝の会や帰りの会を通して、伝える力と聞く力を高める。 (3) 自分の役割を意識し、責任をもって行動できるようになる。 (4) 予定を意識し、見通しをもって主体的に活動することができる。			
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶、返事 ○衣服の着脱等の身辺処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・常に丁寧な言葉遣いを心がけ、その都度、適切と思われる行動・言葉遣いを示す。 ・個に応じて言葉かけをしたり支援ツールを使用したりする。 ・教室内の掲示を工夫し、情報が明確に伝わるようにする。また情報が伝わっているかの確認を行う。
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○清潔・身だしなみ ○持ち物の管理 	
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○朝の会、帰りの会 ○体力づくり 	
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○係活動 	
	9	<ul style="list-style-type: none"> ○日課帳記入 		
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶、返事 ○衣服の着脱等の身辺処理 	
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○清潔・身だしなみ ○持ち物の管理 	
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○朝の会、帰りの会 ○体力づくり 	
		1	<ul style="list-style-type: none"> ○係活動 	
	3学期	2	<ul style="list-style-type: none"> ○日課帳記入 	
		3		

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）					
教科・領域等名	日常生活の指導	クラス・グループ	C組					
教科・領域等の目標	(1) 見通しをもって落ち着いて行動をすることができる。 (2) 自分の身の回りのことや役割に落ち着いて取り組むことができる。 (3) 個々の課題に即して、それぞれの個別課題に習慣にする。							
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい	指導の工夫及び活用する教材等					
前期	1 学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶と返事 ○朝の会 ○着替え ○身だしなみ 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の呼びかけに応じて、挨拶や返事ができるようになる。 ・朝の会の手順及び一週間の基本的な流れに慣れる。 ・朝の会や次の授業の開始時間を意識して着替えや行動ができる。 ・正しい身だしなみを意識して生活することができる。 ・下校方法を自ら記入する 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会の進行表や、係分担当表を掲示し、自分の役割が何かを視覚的に把握できるようにする。 			
		5	○整理整頓			<ul style="list-style-type: none"> ・提出物や鞆などの荷物の置き場所を覚えることができる。 ・教室内のロッカーを整えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の構造化を図り、必要な情報に着目できる環境調整をする。 ・個別の課題を明確化し、意識向上を目指し、言葉掛けを続けていく。 	
		6	○日課帳の記入			<ul style="list-style-type: none"> ・正確な文字を覚える。 ・日課帳の記入の仕方を覚える。 ・丁寧な文字で予定を書く。 		
		7	○係活動			<ul style="list-style-type: none"> ・係や当番活動、清掃活動を覚える。 ・係仕事のあとに報告することを徹底する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・できたことは即時評価し、本人の次の意欲へつなげていく。
		9	○体力づくり			<ul style="list-style-type: none"> ・健康の維持および増進をめざし、日常的に体を動かす習慣を付ける。 ・日常的に体を動かすことに慣れ、日常の情緒の安定を目指す。 		
後期	2 学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶と返事 ○朝の会 ○着替え ○身だしなみ 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の呼びかけに応じて、挨拶や返事ができるようになる。 ・朝の会の手順及び一週間の基本的な流れに慣れる。 ・朝の会や次の授業の開始時間を意識して着替えや行動ができる。 ・正しい身だしなみを意識して生活することができる。 ・下校方法を自ら記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会の進行表や、係分担当表を掲示し、自分の役割が何かを視覚的に把握できるようにする。 			
		11	○整理整頓			<ul style="list-style-type: none"> ・提出物や鞆などの荷物の置き場所を覚えることができる。 ・教室内のロッカーを整えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の構造化を図り、必要な情報に着目できる環境調整をする。 	
		12	○日課帳の記入			<ul style="list-style-type: none"> ・正確な文字を覚える。 ・日課帳の記入の仕方を覚える。 ・丁寧な文字で予定を書く。 		
	3 学期	1	○係活動			<ul style="list-style-type: none"> ・係や当番活動、清掃活動を覚える。 ・係仕事のあとに報告することを徹底する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・できたことは即時評価し、本人の次の意欲へつなげていく。
		2	○体力づくり			<ul style="list-style-type: none"> ・健康の維持および増進をめざし、日常的に体を動かす習慣を付ける。 ・日常的に体を動かすことに慣れ、日常の情緒の安定を目指す。 		
3								

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）		
教科・領域等名	日常生活の指導		クラス・グループ		
教科・領域等の目標	(1) 身だしなみや健康に配慮し、衛生的な生活を送れるようになる。 (2) 時間を意識して行動に移す力を伸ばす。 (3) 聞く力・伝える力を伸ばす。 (4) 係活動等を通して、役割を意識して責任をもって行動できるようになる。				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	○挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら挨拶を行うことができる。 ・予定を意識し、見通しをもって自発的に活動する。 ・適切なコミュニケーション能力を身に付ける。 ・タイムスケジュールを確認し、時間を守り、生活することができる。 ・衛生、健康への意識を高める。 ・季節や場に応じた服装を覚えて、整える。 ・共用物を大切に扱い、物を決められた場所にしまう習慣を付ける。 ・自分の係を覚え、正確に取り組む。 ・文章表現や漢字の読み方を身に付ける。 ・健康の維持および増進をめざし、日常的に体を動かす習慣を付ける。 ・日常的に体を動かすことに慣れ、基礎体力を維持、向上する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室内の掲示を工夫し、情報が明確に伝わるようにする。また情報が伝わっているかの確認を行う。 ・朝の会でタイムスケジュールに関して、繰り返し伝える。 ・分かりやすい文章の教材を選択する。
		5	○朝の会		
		6	○身だしなみ		
		7	○整理整頓		
	2学期	9	○係活動		
		10	○日課帳記入		
後期	2学期	11	○体力づくり等		
		10	○挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・環境が変わっても自ら挨拶を行うことができる。 ・具体的な衛生、健康への取り組みについて、朝の会などで話をすることで理解を深める。 ・季節や場に応じた服装を覚えて、具体的な場面での使用方法について知り、自分から調整しようとする。 ・共用スペースや自分のロッカーを整頓する習慣を身に付ける。 ・係活動を通じて、友達との適切なコミュニケーション能力を身に付ける。 ・文章表現や漢字の読み方などを学び、文字の適切な形を捉えて、素早く丁寧に書き写す力を身に付ける。 ・健康の維持および増進をめざし、日常的に体を動かす習慣を付ける。 ・日常的に体を動かすことに慣れ、基礎体力を維持、向上する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室内の掲示を工夫し、情報が明確に伝わるようにする。 ・朝の会などで、具体的な場面を設け、伝え方や言葉遣いを練習する。 ・日常的に取り組むことで、少しずつ積み重ねる。
		11	○朝の会		
	12	○身だしなみ			
	3学期	1	○整理整頓		
		2	○係活動		
		3	○日課帳記入		
3		○体力づくり等			

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）		
教科・領域等名	日常生活の指導	クラス・グループ	E組		
教科・領域等の目標	(1) 見通しをもって落ち着いて行動をすることができる。 (2) 係活動等を通して、役割を意識し、主体的に取り組むことができる。 (3) 一日の目標や振り返りを通して、記述する力や伝える力を伸ばす。				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶と返事 ○朝の会、帰りの会 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わることを意識して、挨拶や返事ができるようになる。 ・朝の会や帰りの会で伝えることを意識して進行する。 ・周囲の状況を判断して、着替えることができる。 ・自ら鏡を見て、衣服を正しく着ること、直すことができる。 ・自分のロッカーを整頓する習慣を身に付ける。 ・持ち物の管理を自分で行うことができる。 ・正確な文字・文章表現を覚える。 ・文章を書く力を付ける。 ・出来上がったら報告確認が主体的に行う。 ・自分の係を覚え、正確に取り組む。 ・協力をして係仕事に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じて言葉掛けなどの支援を行う。 ・視覚的に提示する。 ・確認する場面を設定する。 ・ロッカーの構造化を図る。 ・担任と確認する時間を設定する。 ・協力をしやすいペアにする。 ・段階を追って支援の方法を工夫していく。
		5	○身だしなみ		
		6	○整理整頓		
		7	○日課帳の記入		
		9	○係活動		
後期	2学期	10	○コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後を意識して、適切なコミュニケーション力を身に付ける。 ・社会生活を送る上で必要な礼儀作法を身に付ける。 ・適切な表現方法で他者とコミュニケーションをとることができる。 ・朝の会でその日の目標、帰りの会で感想を発表できる。 ・自ら鏡を見て、衣服を正しく着ること、直すことができる。 ・季節や場に合わせた服装をすることができる。 ・共用物を大切に扱い、物を決められた場所にしまう習慣を付ける。 ・正しい文字表記や文章の表現を意識しながら、時間内に日課帳を書くことができる。 ・責任をもって係活動に取り組む。 ・時間配分を考慮して活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉かけなど個別に支援を行う。 ・始めはテンプレートを用意する。 ・確認する場を設定する。 ・所定の場所に写真を貼るなど視覚支援を行う。 ・記入後教員と確認をする時間を設定する。 ・できたことは即時評価し、本人の次の意欲へつなげていく。
		11	○朝の会、帰りの会		
		12	○身だしなみ		
	3学期	1	○整理整頓		
		2	○日課帳の記入		
		3	○係活動		
		3			

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）		
教科・領域等名	日常生活の指導		クラス・グループ		
教科・領域等の目標	(1) 身だしなみや健康に配慮し、衛生的な生活を送れるようになる。 (2) 一日の活動を振り返り、記述してまとめる力や伝える力を伸ばす。 (3) 係活動等を通して、役割を意識して責任をもって行動できるようになる。				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	○挨拶	・適切なコミュニケーション能力を身に付ける。	・個に応じて言葉かけなどの支援を行う。 ・朝の会などで、具体的な場面を設け、自己評価を行う練習をする。 ・鏡で身だしなみの確認をする場面を設定する。 ・写真やイラストを活用し、しまう場所を提示する。 ・手順書を用いながら、必要に応じて言葉かけをする。 ・記入後教員と確認をする時間を設ける。
			○朝の会	・朝の会で、その日の目標や評価を発表する。	
		5	○身だしなみ	・衛生、健康への意識を高める。 ・季節や場に応じた服装を覚えて、整える。	
		6	○整理整頓	・共用物を大切に扱い、物を決められた場所にしまう習慣を付ける。	
	7	○係活動	・自分の係を覚え、正確に取り組む。		
	9	○日課帳記入	・簡単な漢字や文章を書く力を身に付ける。		
後期	2学期	10	○挨拶	・適切なコミュニケーション能力を身に付ける。	
			○朝の会	・朝の会で、その日の目標や感想を発表する。	
		11	○身だしなみ	・季節や場に応じた服装を覚えて、具体的な場面での使用方法について身に付ける。	
	12	○整理整頓	・共用スペースや自分のロッカーを整頓する習慣を身に付ける。		
	3学期	1	○係活動	・自分の係に責任をもって取り組む。	
		2	○日課帳記入	・簡単な文章や漢字の読み方などを学び、時間内に日課帳を書くことができる。	
		3			

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）			
教科・領域等名	日常生活の指導	クラス・グループ	G組			
教科・領域等の目標	(1) 係活動等を通して役割を意識し、責任をもって行動できるようになる。 (2) 相談や報告などの伝える力を伸ばす。 (3) 心身の健康を維持し、身辺処理や整理整頓など自分のことを自分で行う意識を高める。					
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点） a 知識、技能 b 思考、判断、表現 c 主体的に学習に取り組む態度	指導の工夫及び活用する教材等			
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶と返事 ○着替え等と身辺処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に聞こえるように挨拶や返事などができる。 ・時間を意識して着替えられる。 ・提出物やロッカーの荷物を置く場所を覚え、自主的に管理できることを増やす。 ・朝の会の手順を覚え、自主的に取り組む。 ・予定の確認を行い、1日の活動に見通しをもつ。 ・食器の扱いやマナーを守って食事ができる。 ・日課帳の記入を行い、文字を丁寧に書いたり、学校生活を振り返ったりする習慣を身に付ける。 ・自分の係や当番活動を覚え、自発的に取り組む。 ・手洗いを丁寧にを行う、鏡を見て身だしなみを整える等、清潔を意識して生活することができる。 ・朝の運動など意欲的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマー等で時間の目安を示し、意識できるようにする。 ・各手順書や、物を置く場所を固定する。 ・朝の会では、司会の手順書を使用する。 ・正しいマナーをその都度伝えていく。 ・日課帳を工夫する。 ・掲示物を色分けして視覚的に分かりやすいようにする。 	
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○持ち物の管理 ○朝の会 			
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○給食指導 ○日課帳の記入 			
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○係活動 ○清潔、身だしなみ 			
		9	<ul style="list-style-type: none"> ○体力づくり 			
	後期	2学期	10			<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶と返事 ○着替え等と身辺処理
			11			<ul style="list-style-type: none"> ○持ち物の管理 ○朝の会
			12			<ul style="list-style-type: none"> ○給食指導 ○日課帳の記入
		3学期	1			<ul style="list-style-type: none"> ○係活動 ○清潔、身だしなみ
2			<ul style="list-style-type: none"> ○体力づくり 			
3						

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（総合類型）		
教科・領域等名	日常生活の指導		H組		
教科・領域等の目標	(1) 身だしなみや健康に配慮し、衛生的な生活を送れるようになる。 (2) 一日の活動を振り返る力や、記述してまとめる力を伸ばす。 (3) 聞く力・伝える力を伸ばす。 (4) 係活動等を通して、役割を意識して責任をもって行動できるようになる。				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶 ○朝の会 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から、適切な言葉遣いと声量で挨拶ができる。 ・予定を意識し、見通しをもって自発的に活動する。 ・衛生、健康への意識を高める。 ・季節や場に応じた服装を覚えて、整える。 ・共用物を大切に扱い、物を決められた場所にしまう習慣を付ける。 ・クラスの役割を自覚し、協力しながら取り組む力を身に付ける。 ・適切なコミュニケーション能力を身に付ける。 ・文章表現や漢字の書き方、読み方を身に付ける。 ・日常的に体を動かすことに慣れ、基礎体力を維持、向上する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室内の掲示を工夫し、情報が明確に伝わるようにする。また情報が伝わっているかの確認を行う。 ・朝の会・帰りの会で発表する場を設け、伝え方や言葉遣いを練習する。 ・分かりやすい文章の教材を選択する。
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○身だしなみ ○整理整頓 ○係活動 		
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○日課帳記入 ○音読 		
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○体力作り等 		
		9			
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶 ○朝の会 	<ul style="list-style-type: none"> ・優先順位を考え、自己の役割に取り組む。 ・具体的な衛生、健康への取り組みについて、朝の会などで話をする事で理解を深める。 ・季節や場に応じた服装を覚えて、具体的な場面での使用方法について知り、自分から調整しようとする。 ・共用スペースや自分のロッカーを整頓する習慣を身に付ける。 ・クラスの役割を自覚し、時間を意識し、責任をもって取り組む力を身に付ける。 ・適切なコミュニケーション能力を身に付け、具体的な場面での使用方法について知る。 ・文章表現や漢字の読み方などを学び、文字の適切な形を捉えて、素早く丁寧に書き写す力を身に付ける。 ・日常的に体を動かすことに慣れ、基礎体力を維持、向上する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室内の掲示を工夫し、情報が明確に伝わるようにする。 ・朝の会などで、具体的な場面を設け、伝え方や言葉遣いを練習する。 ・日常的に取り組むことで、少しずつ積み重ねる。
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○身だしなみ ○整理整頓 ○係活動 		
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○日課帳記入 ○音読 		
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○体力作り等 		
		2			
		3			

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級(類型)	3年・重度重複学級	
教科・領域等名	生活単元学習		クラス・グループ	
教科・領域等の目標	(1)将来の社会参加に向けて、いろいろな活動内容やスケジュールを理解する。(知) (2)さまざまな素材に接し、手指を使ってものづくりに関わる力を育てる。(思) (3)クラス集団の中での役割を理解し、責任を果たそうとする態度を育てる。(態)			
単元(題材)名・主な学習内容		単元毎のねらい(評価の観点)	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	1学期	4 ○学校生活の準備	<ul style="list-style-type: none"> 自分の時間割や学習グループを知り、授業の見通しをもつ。(知) 話し合いをして各係を決め、協力の意識を高める。(思) 前期の予定を確認し、目標を掲示する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の事態に合わせて、写真やカードを用いる。 色分けや絵カードなどを準備し視覚的に分かりやすくする。 視覚、触覚、嗅覚などで実際に感じられるようにする。 ゲームや歌を取り入れる。 主体的に活動できるよう、道具や手順を工夫する。 実態に合わせルールや道具を工夫する。 写真やICT機器を用いて具体的にイメージできるようにする。
		5 ○体育祭に向けて	<ul style="list-style-type: none"> 体育祭の日程や参加する種目について知る。(知) 体育祭の目標を教員と一緒に考える。(思) 自ら手を伸ばして体育祭の応援グッズを作成しようとする。(態) 	
		6 ○季節の植物を調べよう	<ul style="list-style-type: none"> 校内に咲いている植物の種類について知る。(知) 採集した季節の草花をドライフラワーに加工する。(思) 自分から植物を見付け、指をさしたり、写真を撮ったりする。(態) 	
		7 ○水の科学 ・水の常体変化 ・水の力	<ul style="list-style-type: none"> 様々な条件下で水が変化することを知る。(知) 空気入れを押し回数が多い方が少ない方かどちらが飛ぶか考えてペットボトルロケットの飛距離を伸ばすことができる。(思) 実験や製作に自ら参加しようとする。(態) 	
		9 ○外国語(ALT) ・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 外国の挨拶や言葉などを知る。(知) 外国人講師の言葉かけに反応したり、真似したりできる。(思) 外国語に興味をもち、自分から表現しようとする。(態) 	
後期	2学期	10 ○外国の人々の文化や習慣 ・ハロウィン	<ul style="list-style-type: none"> 外国の生活の様子や文化について知る。(知) 日本との文化や習慣の違いについて教員と一緒に考える。(思) 自分からハロウィンの飾り作りや仮装に参加しようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 視覚、触覚、嗅覚などで実際に感じられるようにする。 ゲームや歌を取り入れる。 主体的に活動できるよう、道具や手順を工夫する。 実態に合わせルールや道具を工夫する。・写真やICT機器を用いて具体的にイメージできるようにする。 個々の実態に合わせた雰囲気づくりなどの環境整備を行う。 写真やVTRなどを活用し具体的に思い出せるよう働き掛ける。
		11 ○外国語(ALT) ・自分の年齢や買い物で使う単語	<ul style="list-style-type: none"> 単語の発声やアクセントを知る。(知) 数や色、果物などを伝えることができる。(思) 自分から他者に伝えようとする。(態) 	
		12 ○こぶし祭まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 写真等でこぶし祭を振り返る。(知) 作品や展示物で興味のあったものをまとめる。(思) まとめたものを発表する。(態) 	
	3学期	1 ○お正月遊び制作・遊び ・福笑い、羽子板等	<ul style="list-style-type: none"> お正月の伝承遊びを知る。(知) やり方を身に付ける。(思) 協力してお正月遊びに取り組む。(態) 	
		2 ○校外学習にむけて	<ul style="list-style-type: none"> 行先や予定について知る。(知) 興味関心を高める。(思) 話し合いをして、クラス行動を計画する。(態) 	
3 ○1年間のまとめ ・アルバムづくり		<ul style="list-style-type: none"> 写真等を整理し、1年間を振り返る。(知) 感想をまとめる。(思) まとめたものを発表する。(態) 		

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）		
教科・領域等名	生活単元学習		クラス・グループ		
教科・領域等の目標	(1) 生活の中にある理科・社会・英語・情報の内容を知る。(知) (2) 生活の中で学んだ知識の使い方を考え、活用する方法を考える。(思) (3) 自ら学んだ知識を活用しようとする。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1 学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○学級オリエンテーション ・学級係表作り ・個人時間割作り ・掲示物作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の授業クラス、場所を知る。(知) ・自分たちの使いやすい教室環境、分かりやすい個人時間割を考える。(思) ・実際に作る中で教室環境や時間割を使いやすくしようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物を多用し、理解が進むようにする。
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルデザイン ・ピクトグラムを調べる。 ・ピクトグラムを描く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインを知る。(知) ・どのような場所で使われているか考える。(思) ・自分で考えたピクトグラムを描くことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を適宜使用し、視覚的に理解する。
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語 ・外国語の歌を聴く 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の歌を聴いて、英語のリズムを知る。(知) ・英単語の意味を考えながら音楽を聴く。(思) ・英語を楽しむようになる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを活用し情報を収集の方法を確認する。
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○学年集会 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画を考え、必要な準備を知る。(知) ・企画した内容から、具体的な活動を考える。(思) ・当日の運営から終了まで責任をもって行う。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担を個々に考えて整理する。
		9	<ul style="list-style-type: none"> ○天気調べ ・東京の降水確率・降水量や天気予報を調べる 	<ul style="list-style-type: none"> ・降水確率・降水量や天気予報のしくみについて知る。(知) ・必要な情報を調べられるようになる。(思) ・調べた内容をまとめて、発信することができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを活用し情報を収集の方法を確認する。
後期	2 学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○世界の中の日本を調べる ・世界の国の名前や位置、食べ物の文化を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな食べ物やスポーツ、鉄道などを知る。(知) ・各国の名前や位置、食べ物の文化を調べる。(思) ・調べた内容をまとめて、発信することができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを活用し情報を収集する方法を確認する。
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○こぶし祭事前事後学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・こぶし祭の活動内容、自分の役割を知る。(知) ・こぶし祭成功に向けて、具体的な活動を考える。(思) ・こぶし祭に積極的に参加する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割などを表にし、生徒主体で動けるよう整理する。
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語 ・外国語の歌を聴こう 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の歌を聴いて、英語のリズムを知る。(知) ・英単語の意味を考えながら音楽を聴く。(思) ・英語を楽しむようになる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を適宜使用し、視覚的にわかりやすくする。
	3 学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○校外学習事前事後学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習の行先や行程・集合場所を知る。(知) ・実際の楽しみ方を考える。(思) ・校外学習に向けて期待感を高める。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを活用し情報を収集する方法を確認する。
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業に向けて ・3年間を振り返る ・卒業後の自分を考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の思い出を振り返り、卒業後の生活を知る。(知) ・卒業後の生活で頑張りたいことを考える。(思) ・卒業後生活に期待感をもち。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士で話し合い、協同する場を設定する。
3					

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級(類型)	3年・普通学級(基礎類型)	
教科・領域等名	生活単元学習	クラス・グループ	C組	
教科・領域等の目標	(1) 生活の中にある理科・社会・英語・情報の内容を知る。(知) (2) 生活の中で学んだ知識の使い方を考え、活用する方法を考える。(思) (3) 自ら学んだ知識を活用しようとする。(態)			
単元(題材)名・主な学習内容		単元毎のねらい(評価の観点)	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○学級オリエンテーション ・学級係表作り ・個人時間割作り ・掲示物作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の授業クラス、場所を知る。(知) ・自分たちの使いやすい教室環境、分かりやすい個人時間割を考える。(思) ・実際に作る中で教室環境や時間割を使いやすくしようとする。(態) ・体育祭の中での役割を知る。(知) ・自分の役割を果たす方法を考え活動する。(思) ・みんなで体育祭を成功しようとする。(態) ・動物園にいる動物の生態を知る。(知) ・インターネットを使い動物の名称や生態を調べ、まとめる方法を考える。(思) ・みんなで協力してデジタル動物園を完成する。(態) ・英語の歌を聴いて、英語のリズムを知る。(知) ・英単語の意味を考えながら音楽を聴く。(思) ・英語を楽しむようになる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物を多用し、理解が進むようにする。 ・タブレット端末を適宜使用し、視覚的にわかりやすくする。 ・インターネットを活用し情報を収集する方法を確認する。 ・ワークシートの活用やフィールドワーク等を行い、理解を深める。 ・ICT機器、画用紙等
	5	<ul style="list-style-type: none"> ○体育祭事前事後学習 ・係活動 ・学年種目練習 		
	6	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル動物園を作ろう ・インターネットを使い動物を調べる ・静止画や動画を見つけ貼り付ける 		
	7	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語 ・外国語の歌を聴こう ○学年集会 		
	9			
後期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○学年集会 ○デジタルの街を作ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・町中にあるお店や建物の使い方や役割を知る。(知) ・町中にあるお店や建物の使い方やどのような役割があるか考える。(思) ・町中にあるお店や建物を使おうとする。(態) ・こぶし祭の活動内容、自分の役割を知る。(知) ・こぶし祭成功に向けて、具体的な活動を考える。(思) ・こぶし祭に積極的に参加する。(態) ・英語の歌を聴いて、英語のリズムを知る。(知) ・英単語の意味を考えながら音楽を聴く。(思) ・英語を楽しむようになる。(態) ・身近な野菜や生産物がどこでできているのかを知る。(知) ・環境保護が自分の生活に繋がっていることを考える。(思) ・自ら環境を守る意識を考える。(態) ・校外学習の行先や行程・集合場所を知る。(知) ・実際の楽しみ方を考える。(思) ・校外学習に向けて期待感を高める。(態) ・3年間の思い出を振り返り、卒業後の生活を知る。(知) ・卒業後の生活で頑張りたいことを考える。(思) ・卒業後生活に期待感をもつ。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物を多用し、理解が進むようにする。 ・役割などを表にし、生徒主体で動けるよう整理する。 ・ICT機器を活用し、写真や動画などを見ることでイメージしやすいようにする。 ・タブレット端末を適宜使用し、視覚的にわかりやすくする。 ・生徒同士で話し合い、協同する場を設定する。
	11	<ul style="list-style-type: none"> ○こぶし祭事前事後学習 		
	12	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語 ・外国語の歌を聴こう 		
	1	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な産業を知ろう ・農業や水の役割 ・環境と暮らし ○校外学習事前事後学習 		
	2	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業に向けて ・3年間を振り返る ・卒業後の自分を考える 		
	3			

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）	
教科・領域等名	生活単元学習	クラス・グループ	D組	
教科・領域等の目標	(1) クラスの中で役割を分担し、任された仕事を遂行することで達成感や楽しさを感じる。(知) (2) クラスの活動や各行事の事前事後学習を通して、考える力を身につけ、知識や見分を広げる。(思) (3) 協同作業を行うことで他者と適切な関わり方をしようとする。(態)			
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○学級オリエンテーション ・年間行事表 ・クラス目標作成 ・時間割作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の授業クラス、場所を知る。(知) ・自分たちで分かりやすい掲示物のデザインを考える。(思) ・作成した掲示物を見て、自ら授業準備することができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に支援し、実態に合った指導をする。 ・視覚的に分かりやすく掲示する。 ・生徒同士で話し合っ て決めるように促す。 ・タブレット端末を活用し、写真や動画などを見ることでイメージしやす いようにする。 ・ワークシートを活用して理解を深める。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語（ALT） ・コミュニケーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語での挨拶や自己紹介の方法を知る。(知) ・自分の名前と好きなことを表現する。(思) ・外国語に興味をもち、自分から伝えようとする。(態) 	
	6	<ul style="list-style-type: none"> ○「花」や「野菜」育てよう ・用具の準備（買い物学習） ・プランターの作成 ・「花」や「野菜」の観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・「花」や「野菜」を育てることを通して、異なる植物にも、同じよ うな特徴や性質があることを知る。(知) ・「花」や「野菜」の育て方について、自分なりに考えたり、他者に 聞いたり、タブレット端末を活用して調べたりして、より良い育て 方を工夫することができる。(思) ・植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって適切に関わろう とする。(態) 	
	7			
	9			
後期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語（ALT） ・自分の年齢や買い物で使う単語 	<ul style="list-style-type: none"> ・単語の意味を理解する。(知) ・欲しいものの数や色、サイズなどを伝えることができる。(思) ・自分から他者に伝えようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に支援し、実態に合った指導をする。 ・視覚的に分かりやすく掲示する。 ・生徒同士で話し合っ て決めるように促す。 ・タブレット端末を活用し、写真や動画などを見ることでイメージしやす いようにする。 ・ワークシートを活用して理解を深める。
	11	<ul style="list-style-type: none"> ○都道府県の姿 ・地名、県章クイズ ・都道府県別データ調べ ・都道府県別プロフィール 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら決めた都道府県の概要について知ることができる。(知) ・都道府県別のデータをもとに比較することができる。(思) ・アプリケーションソフトを使い、調べた内容をまとめて、発信する ことができる。(態) 	
	12	<ul style="list-style-type: none"> ○こぶし祭まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真等でこぶし祭を振り返る。(知) ・作品や展示物で興味のあるものをまとめる。(思) ・まとめたものを発表する。(態) 	
	1	<ul style="list-style-type: none"> ○学年集会 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画を考え、必要な準備を知る。(知) ・企画した内容から、具体的な活動を考える。(思) ・当日の運営から終了まで責任をもって行う。(態) 	
	2	<ul style="list-style-type: none"> ○校外学習事前事後学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習の予定や、交通経路を知る。(知) ・クラス別行動について、仲間と調べ話し合っ て決める。(思) ・校外学習を振り返り、まとめることができる。(態) 	
3	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業式に向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の思い出を振り返り、卒業後の生活を知る。(知) ・卒業後の生活で頑張りたいことを考える。(思) ・卒業後生活に期待感をもち。(態) 		

令和5年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）		
教科・領域等名	生活単元学習		クラス・グループ		
教科・領域等の目標	(1) 卒業後の生活に向けて、理科的・社会的学習や情報、日本の伝統文化の学びを通して見識を広げる。(知) (2) 集団活動の中でのルールや自分の役割を理解し行動しようとする態度を培う。(思) (3) 学校生活や行事に見通しをもち、意欲的、主体的に取り組もうとする気持ちを培う。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	○学校生活の準備をしよう	<ul style="list-style-type: none"> 自分の時間割や学習グループを知り、授業の見通しをもつ。(知) 年間予定を確認し、目標を決める。(思) 話し合いをして各係を決め、協力の意識を高める。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒同士の話し合いを中心に進める。
		5	○日本のことについて知ろう	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県の名産品や文化を知る。(知) 名産品や文化など都道府県の特徴をまとめたかるたを作ることができる。(思) かるた活動を通して、いろいろな都道府県の特徴を見つけることができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末を活用する。 活用しやすいサイトや資料を予め調べておき、提示する。
		6	○外国語（ALT） ・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 外国語での挨拶や自己紹介の方法を知る。(知) 自分の名前や好きなことを表現する。(思) 外国語に興味をもち、他者とコミュニケーションをとろうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 個別に支援し、実態に合った指導をする。
		7	○情報モラル ・タブレット端末やSNSの使い方	<ul style="list-style-type: none"> SNS上での注意すべきことについて知る。(知) SNS上で、よりよいコミュニケーションをとるために必要なことについて考えることができる。(思) SNSを使用する上で、自分の課題について考える力を付ける。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末を活用する。
	9				
後期	2学期	10	○植物を育てて押し花をつくらう。	<ul style="list-style-type: none"> 育てる植物の種類について知る。(知) よりよい育て方を考える。(思) 自分から変化を見付け、観察日記にまとめる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒同士の話し合いを中心に進める。
		11	○外国語（ALT） ・買い物をしてみよう	<ul style="list-style-type: none"> 単語の意味を理解する。(知) 欲しいものの数や色、サイズなどを伝えることができる。(思) 自分から他者に伝えようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 個別に支援し、実態に合った指導をする。
		12	○こぶし祭のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 写真等でこぶし祭を振り返る。(知) 作品や展示物で興味のあるものをまとめる。(思) まとめたものを発表する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末を活用する。
	3学期	1	○情報活用の基本スキルを身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> 写真や動画の撮り方を知る。(知) 画像加工やスライドショー、プレゼンテーションを用いて、発表作りをすることができる。(思) 自分に合わせた発表をすることができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末を活用する。
		2	○校外学習事前事後学習	<ul style="list-style-type: none"> 校外学習の予定や、交通経路を知る。(知) クラス別行動について、仲間と調べ話し合っ決めて。(思) 校外学習を振り返り、まとめることができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 個々に応じた役割分担を設け、全員が活躍できる場を設定する。
3	○学年のまとめ ・感謝の気持ちを伝えよう	<ul style="list-style-type: none"> 写真を整理し、1年間を振り返る。(知) お世話になった人に感謝に文お礼状を書く。(思) お世話になった人に押し花、写真、お礼状を送り、感謝を伝える。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 押し花や写真資料を準備する。 		

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）	
教科・領域等名	生活単元学習	クラス・グループ	F組	
教科・領域等の 目標	(1) 将来の社会参加に向けて、いろいろな活動の技能を理解する。(知) (2) さまざまな素材に接し、手指を使ってもものづくりに関わる力を育てる。(思) (3) クラス集団の中での役割を理解し、責任を果たそうとする態度を育てる。(態)			
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	4	○学校生活の準備 ・1学期の目標	<ul style="list-style-type: none"> 自分の時間割や学習グループを知り、授業の見通しをもつ。(知) 話し合いをして各係を決め、協力の意識を高める。(思) 前期の予定を確認し、目標を掲示する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 視覚的に分かりやすい資料を掲示する。
	5	○植物を育てよう	<ul style="list-style-type: none"> 育てる植物の種類について知る。(知) よりよい育て方を考える。(思) 自分から変化を見付け、観察日記にまとめる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒同士で話し合っ決めてるように促す。
	6	○天気調べ ・降水確率や天気予報	<ul style="list-style-type: none"> 降水確率や天気予報のしくみについて知る。(知) 必要な情報を調べられるようになる。(思) 調べた内容をまとめて、発信することができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末を使用する。
	7	○日本の伝統・文化 ・千羽鶴を目指して	<ul style="list-style-type: none"> 千羽鶴の折り方を身に付ける。(知) 正確に鶴を折ることができる。(思) ポイントを自分から伝えようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 具体例を明確に提示する。
	9	○1学期のまとめ ○2学期の目標	<ul style="list-style-type: none"> 1学期の目標を振り返る。(知) 成果や課題を考える。(思) 2学期に生かそうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを使用する。
後期	10	○日本調べ ・好きな都道府県	<ul style="list-style-type: none"> 調べ学習のやり方を知る。(知) 他県への興味関心を高める。(思) 調べた内容をまとめて、発信することができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末を使用する。
	11	○外国語（ALT） ・自分の年齢や買い物で使う単語	<ul style="list-style-type: none"> 単語の意味を理解する。(知) 欲しいものの数や色、サイズなどを伝えることができる。(思) 自分から他者に伝えようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 具体例を明確に提示する。
	12	○こぶし祭まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 写真等でこぶし祭を振り返る。(知) 作品や展示物で興味のあるものをまとめる。(思) まとめたものを発表する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 視覚的に分かりやすく掲示する。
	1	○お正月遊び制作・遊び ・福笑い、羽子板等	<ul style="list-style-type: none"> 2学期の目標を振り返る。(知) 成果や課題を考える。(思) 3学期に生かそうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒同士で話し合っ決めてるように促す。
	2	○お正月遊び制作・遊び ・福笑い、羽子板等	<ul style="list-style-type: none"> お正月の伝承遊びを知る。(知) やり方を身に付ける。(思) 協力してお正月遊びに取り組む。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> かるた、すごろく、福笑いなど
3	○校外学習にむけて	<ul style="list-style-type: none"> 行先や予定について知る。(知) 興味関心を高める。(思) 話し合いをして、クラス行動を計画する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 視覚的に分かりやすく掲示し、タブレット端末を使用する。 	
	3	○1年間のまとめ ・アルバムづくり	<ul style="list-style-type: none"> 写真等を整理し、1年間を振り返る。(知) 感想をまとめる。(思) まとめたものを発表する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 写真資料を準備する。

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）	
教科・領域等名	生活単元学習	クラス・グループ	G組	
教科・領域等の目標	(1) クラスの中で役割を分担し、任された仕事を遂行することで達成感や楽しさを感じる。(知) (2) クラスの活動や各行事の事前事後学習を通して、考える力を身につけ、知識や見分を広げる。(思) (3) 協同作業を行うことで他者と適切な関わり方をしようとする。(態)			
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○学級活動 <ul style="list-style-type: none"> ・年間行事表 ・クラス目標作成 ・時間割作成 ・余暇活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の授業クラス、場所を知る。(知) ・自分たちで分かりやすい掲示物のデザインを考える。(思) ・作成した掲示物を見て、自ら授業準備することができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に支援し、実態に合った指導をする。 ・視覚的に分かりやすく掲示する。 ・生徒同士で話し合っ て決めるように促す。 ・タブレット端末を活用し、写真や動画などを見ることでイメージしやすいようにする。 ・ワークシートを活用して理解を深める。 ・地域の施設等に行き、関心のあるものを活用する。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語（ALT） <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語での挨拶や自己紹介の方法を知る。(知) ・自分の名前と好きなことを表現する。(思) ・外国語に興味をもち、自分から伝えようとする。(態) 	
	6	<ul style="list-style-type: none"> ○学年集会 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画を考え、必要な準備を知る。(知) ・企画した内容から、具体的な活動を考える。(思) ・当日の運営から終了まで責任をもって行う。(態) 	
	7	<ul style="list-style-type: none"> ○暮らしと地域生活 <ul style="list-style-type: none"> ・買い物学習 ・校外歩行 ・調理 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活を知り、暮らしと地域が密接なことを知る。(知) ・地域の施設の役割が分かり、その過程を理解する。(思) ・より良い生活の為にできることを考え、実践する。(態) 	
	9	<ul style="list-style-type: none"> ○植物を育てよう <ul style="list-style-type: none"> ・買い物学習 ・校外歩行 	<ul style="list-style-type: none"> ・植物を育てることを通して、特徴や性質があることを知る。(知) ・植物の育て方について考えたり、タブレット端末を活用して調べたりして、育て方を工夫することができる。(思) ・植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって適切に関わろうとする。(態) 	
後期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語（ALT） <ul style="list-style-type: none"> ・自分の年齢や買い物で使う単語 	<ul style="list-style-type: none"> ・単語の意味を理解する。(知) ・欲しいものの数や色、サイズなどを伝えることができる。(思) ・自分から他者に伝えようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に支援し、実態に合った指導をする。 ・視覚的に分かりやすく掲示する。 ・生徒同士で話し合っ て決めるように促す。 ・タブレット端末を活用し、写真や動画などを見ることでイメージしやすいようにする。 ・ワークシートを活用して理解を深める。 ・地域の施設等に行き、関心のあるものを活用する。
	11	<ul style="list-style-type: none"> ○植物を育てよう <ul style="list-style-type: none"> ・買い物学習 ・校外歩行 	<ul style="list-style-type: none"> ・植物を育てることを通して、特徴や性質があることを知る。(知) ・植物の育て方について考えたり、タブレット端末を活用して調べたりして、育て方を工夫することができる。(思) ・植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって適切に関わろうとする。(態) 	
	12	<ul style="list-style-type: none"> ○暮らしと地域生活 <ul style="list-style-type: none"> ・買い物学習 ・校外歩行 ・調理 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活を知り、暮らしと地域が密接なことを知る。(知) ・地域の施設の役割が分かり、その過程を理解する。(思) ・より良い生活の為にできることを考え、実践する。(態) 	
	1	<ul style="list-style-type: none"> ○こぶし祭まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真等でこぶし祭を振り返る。(知) ・作品や展示物で興味のあるものをまとめる。(思) ・まとめたものを発表する。(態) 	
	2	<ul style="list-style-type: none"> ○校外学習事前事後学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習の予定や、交通経路を知る。(知) ・クラス別行動について、仲間と調べ話し合っ て決める。(思) ・校外学習を振り返り、まとめることができる。(態) 	
	3	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業式に向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の思い出を振り返り、卒業後の生活を知る。(知) ・卒業後の生活で頑張りたいことを考える。(思) ・卒業後生活に期待感をもち、(態) 	
	3			

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（総合類型）		
教科・領域等名	生活単元学習		クラス・グループ		
教科・領域等の目標	(1) クラスの活動や各行事の事前事後学習を通して、考える力を身につけ、知識や見分を広げる。(知) (2) 協同作業を行うことでコミュニケーション力や人との適切な関わり方を身に付ける。(思) (3) 将来の社会参加に向けて、いろいろな活動に積極的に参加しようとする態度を育てる。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1 学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○学校生活の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の予定を確認し、目標を決める。(知) ・クラス活動の流れや役割を確認し、協力する意識を高める。(思) ・目標決めやクラスの準備などに意欲的に参加する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士で話し合っ て決めるように 促す。
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○植物を観察しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の植物を知る。(知) ・気候や環境によって育つ植物の違いなどを考える。(思) ・季節によって育つ植物の違いについて関心をもって観察しようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・温度計、ワークシ ート、タブレット端 末を活用する。
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○学年集会の企画・準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・当日までの準備内容を計画的に進める。(知) ・他クラスの友達と協力して、ゲームの企画をする。(思) ・話し合い活動を通して、活動の準備を協力して取り組む。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士の関わり を増やし、頑張り を評価しながら、 意欲を高める。
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTを活用しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンやタブレット端末の様々な操作を活用できる。(知) ・タブレット端末を使って、レポートを工夫し、制作する。(思) ・目的に沿った操作方法を選択し、活用しようとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末、 ワークシート、画 用紙等を活用す る。
		9	<ul style="list-style-type: none"> ○学期末、学期始めの取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・学期の目標を振り返り、成果と課題を知る。(知) ・成果や課題を次に生かす方法を考える。(思) ・自らを振り返り、適切な目標設定をしようとする主体的に取り組むことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート
後期	2 学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○農業と暮らし 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の種類や日本の農産物について知る。(知) ・地域の農業や食べ物の流通などを調べる。(思) ・農業と自分たちの暮らしの関わりに気付き、意欲的に調べたり、まとめたりすることができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図、タブレット 端末、ワークシ ート等
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○こぶし祭まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や動画等でこぶし祭を振り返る。(知) ・作品や展示物で興味のあったものをまとめる。(思) ・まとめたものを発表する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・動画等を準備し、見 通しをもちやすく する。
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語(ALT) ・コミュニケーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語での挨拶や自己紹介の方法を知る。(知) ・自分の名前と好きなことを表現する。(思) ・外国語に興味をもち、自分から伝えようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的に分かりや すく提示する。
	3 学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の文化 	<ul style="list-style-type: none"> ・書き初めやお正月の伝承遊びを通して、日本の文化を学ぶ。(知) ・道具の扱いを工夫して活動する。(思) ・意欲的に参加しようとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の道具を 準備する。
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○校外学習に向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ・行先や活動内容、交通経路について知る。(知) ・友達と話し合い、クラス行動を計画する。(思) ・自主的に話し合いに参加しようとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を 使用する。
		3	<ul style="list-style-type: none"> ○2024まとめの会 ・アルバム作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真等を整理し、3年間を振り返る。(知) ・3年間の感想をまとめたり、卒業後の生活を考えたりする。(思) ・まとめたものを発表する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・動画、写真、卒業 生のことば等を使 って考えやすいよ うにする。

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・重度重複学級		
教科・領域等名	特別活動	クラス・グループ	A組		
教科・領域等の目標	(1) 学校生活に見通しをもち、心理的に安定して学校生活を送れるようになる。 (2) 人との関わりを通して、コミュニケーション能力の向上を図る。 (3) 集団生活のルールやマナーを意識し、主体的に活動に取り組む。				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい	指導の工夫及び活用する教材等		
通年	○奉仕活動（委員会） ○キャリアパスポート	・自分の役割を理解して進めることができるようになる。 ・自ら考え、積極的に活動に取り組むことができるようになる。 ・学んだことを生かして次の課題にも取り組み、責任をもって最後まで役割を果たそうとする。 ・自他の個性を理解、尊重し、よりよい人間関係が形成できるようになる。 ・現場実習の頑張ったことやできなかったことを教員や保護者と一緒に振り返ることができるようになる。 ・キャリア形成と自己実現について主体的に取り組むことができるようになる。	・ICT機器 ・文字・絵カード ・ICT機器 ・冊子 ・文字・絵カード		
前期	1学期	4	○学校生活のきまりについて ○3年生の目標	・一日の流れに見通しをもち、安定した気持ちで学校生活を送ることができるようにする。 ・昨年の学校生活を振り返り課題を教員と一緒に考えて今年の目標を立てる。 ・行事や係活動に、落ち着いて取り組む。 ・他のクラスの生徒との交流を通して人との関わり方を知る。 ・見通しがもちやすい簡単なレクリエーション活動を通して、ルールや順番など課題解決の方法を身に付ける。 ・自分の要求や意思を伝えることができるようにする。 ・教員と一緒に振り返ることが	・少ない言葉かけで動くことができるように教室整備を行う。 ・視覚支援を行い分かりやすく伝える。 ・個に応じた役割を教員と一緒に取り組む。 ・要求を丁寧に聞き、繰り返しの中で定着を図る。
		5	○行事に向けて（体育祭）		
		6	○学年交流活動		
		7	○クラスレクリエーション		
		9	○1学期を振り返る		
後期	2学期	10	○学年交流活動	・他のクラスの生徒との交流を通して人との関わり方の経験を積む。 ・行事や係活動に、落ち着いて取り組む。 ・見通しがもちやすい簡単なレクリエーション活動を通して、ルールや順番など課題解決の方法を身に付ける。 ・自分の要求や意思を伝える方法を身に付ける。 ・教員と一緒に振り返ることができる。 ・活動を振り返り、良かった点を考えることができる。 ・他のクラスの生徒との交流を増やす。 ・見通しがもちやすい簡単なレクリエーション活動を通して、ルールや順番など課題解決の方法を身に付ける。 ・自分の要求や意思を伝えることができる。 ・校外学習の日程を知る。 ・教員と一緒に振り返ることができる。	・視覚支援を行い、分かりやすく伝える。 ・個に応じた役割を教員と一緒に取り組む。 ・要求を丁寧に聞き、繰り返しの中で定着を図る。
		11	○クラスレクリエーション		
		12	○2学期を振り返る		
	3学期	1	○学年交流活動		
		2	○クラスレクリエーション		
		2	○行事に向けて（校外学習）		
		3	○1年間のまとめ		

令和5年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）		
教科・領域等名	特別活動	クラス・グループ	B組		
教科・領域等の 目標	(1) クラスの仲間をお互いに認め合い、協力して活動する力を育てる。 (2) 自分の役割を意識し、責任をもって最後まで活動する力を育てる。 (3) 仲間の意見を聞きながら、自主的に活動する力を育てる。				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい	指導の工夫及び活用する教材等		
通年	○奉仕活動（委員会） ○キャリアパスポート	・自分の役割を理解して進めることができるようになる。 ・自ら考え、積極的に活動に取り組むことができるようになる。 ・学んだことを生かして次の課題にも取り組み、責任をもって最後まで役割を果たそうとする。 ・自他の個性を理解、尊重し、よりよい人間関係が形成できるようになる。 ・悩みや課題に対して、解決策を考えることができるようになる。 ・キャリア形成と自己実現について主体的に取り組むことができるようになる。	・ICT機器 ・文字・絵カード ・ICT機器 ・冊子 ・文字・絵カード		
前期	1学期	4	○学級づくり ・係、クラス目標決め ・掲示物作成 ○1学期の目標	・自分の役割を理解して取り組む。 ・自分の課題を意識した個人目標の設定ができ、その達成に向けて努力できる。	・個に応じた役割分担を行う。 ・互いの成果を確認できるようにする。
		5	○クラスレクリエーション ○話し合い	・見通しがもちやすい簡単なレクリエーション活動を通して、ルールを理解し、順番などに従って取り組む。	・ルールを決めて同じ手順で取り組む。
		6	○1学期のまとめと夏休みの生活	・自分の意思を伝えたり、友達の意見を聞き入れたりすることができる。 ・1学期の目標を振り返る。 ・長期休業中の過ごし方（約束事）を確認する。 ・卒業後の生活を見据え、余暇の過ごし方を考える。	・互いの活動の成果を確認できる湯にする。
		7	○新学期の準備 ・夏休み報告と教室整備	・自分の役割を理解して取り組む。	・必要に応じてICT機器を活用する。
	9	○2学期の目標	・自分の課題を意識した個人目標の設定ができ、その達成に向けて努力できる。	・互いの活動の成果を確認できるようにする。	
後期	2学期	10	○クラスレクリエーション	・見通しがもちやすい簡単なレクリエーション活動を通して、ルールを理解し、順番などに従って取り組む。 ・クラスの友達との交流を通して、自己と他者への理解を深める。	・ルールを決めて同じ手順で取り組む。 ・生徒同士で話し合っ 決めて決めるように促す。
		11	○2学期のまとめと冬休みの生活	・2学期の目標を振り返る。 ・長期休業中の過ごし方（約束事）を確認する。 ・卒業後の生活を見据え、余暇の過ごし方を考える。	・個に応じた役割分担を行い、互いの活動の成果を確認できるようにする。
		12	○新学期の準備 ・冬休み報告と教室整備	・自分の役割を理解して取り組む。	・個に応じてコミュニケーションを支援する。
	3学期	1	○3学期の目標	・自分の課題を意識した個人目標の設定ができ、その達成に向けて努力できる。	・互いの成果を理解し合えるようにする。
		2	○行事に向けての話し合い（校外学習）	・自分の意思を伝えたり、友達の意見を聞き入れたりすることができる。	・できるだけ生徒同士で話し合っ 決めて決めるように促す。
3		○3年間のまとめと卒業後の生活について	・3年間を振り返るとともに、お世話になった方にお礼の気持ちを表す。 ・卒業後の生活に必要な知識や余暇の過ごし方等のイメージを深める。	・映像などを活用して、イメージをもちやすくする。	

令和5年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）		
教科・領域等名	特別活動	クラス・グループ	C組		
教科・領域等の目標	(1) 自分を理解し、互いを認め合うことの大切さを学ぶ。 (2) 集団生活のルールや自分に与えられた役割を意識し、主体的に活動に取り組む。 (3) コミュニケーションを大切にし、他者と調和を図る力を身に付ける。				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい	指導の工夫及び活用する教材等		
通年	○奉仕活動（委員会） ○キャリアパスポート	・自分の役割を理解して進めることができるようになる。 ・自ら考え、積極的に活動に取り組むことができるようになる。 ・学んだことを生かし、責任をもって役割を果たそうとする。 ・自他の個性を理解、尊重し、よりよい人間関係が形成できる。 ・悩みや課題に対して、解決策を考えることができるようになる。 ・キャリア形成と自己実現について主体的に取り組む。	・ICT機器を活用し、役割を明確に提示する。 ・ワークシートを用いて、具体例を示す。		
前期	1学期	4	○学級活動（掲示物作成、話し合い）	・自分の役割を意識して取り組む。 ・自分の意見を伝えることができるようになる。	・ポイントを明確にして説明をする。 ・意見を出ししやすい雰囲気を作る。
		5	○クラス合同レクリエーション企画	・意見を出し合い、お互いの意見を尊重する。 ・自分の役割を意識して取り組む。	・取り組める題材を取り入れる。 ・必要に応じて、タブレット端末や視覚支援を取り入れる。 ・身近な事例を挙げ、イメージしやすいようにする。 ・個別に確認をする場面を設定する。
		6			
		7			
	9	○学級活動 ・夏休みについて ○学級活動 ・夏休みの振り返り	・自分の生活を改めて考える。 ・進路に向けて役割をもって生活するようになる。 ・楽しかった思い出を振り返り、夏休みのまとめをする。	・個別に確認をする場面を設定する。	
後期	2学期	10	○クラス合同レクリエーション企画	・意見を出し合い、お互いの意見を尊重する。 ・自分の役割を意識して取り組む。	・手順や動線を分かりやすく示す。 ・個別に確認をする場面を設定する。
		11			
		12			
	3学期	1	○学級活動 進路に向けて	・友達に進路先に興味をもつ ・友達に進路先をわかりやすく知らせる	・必要に応じて手順を示す。 ・生徒の実態に合わせて見本を見せたり対応したりする。 ・生徒の実態に合わせて対応する。
		2			
3	○学級活動 ・卒業に向けて	・自分の役割に進んで取り組む。 ・自分の役割を考えて、より良いものにするよう取り組む。	・生徒の実態に合わせて対応する。		

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）		
教科・領域等名	特別活動	クラス・グループ	D組		
教科・領域等の目標	(1) 自分を理解し、互いを認め合うことの大切さを学ぶ。 (2) 集団生活のルールや自分に与えられた役割を意識し、主体的に活動に取り組む。 (3) コミュニケーションを大切にし、他者と調和を図る力を身に付ける。				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい	指導の工夫及び活用する教材等		
通年	○奉仕活動（委員会） ○キャリアパスポート	<ul style="list-style-type: none"> 自分の役割を理解して進めることができるようになる。 自ら考え、積極的に活動に取り組むことができるようになる。 学んだことを生かして次の課題にも取り組み、責任をもって最後まで役割を果たそうとする。 自他の個性を理解、尊重し、よりよい人間関係が形成できるようになる。 悩みや課題に対して、解決策を考えることができるようになる。 キャリア形成と自己実現について主体的に取り組むことができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器 文字・絵カード ICT機器 冊子 文字・絵カード 		
前期	1学期	4	○学級活動（掲示物作成、話し合い） 「3年生の自覚」	<ul style="list-style-type: none"> 友達と協力をする意識を高める。 自分の意見を整理して伝えることができるようになる。 お互いの意見を尊重しあう大切さを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 分かりやすく説明する。 意見を出しやすい雰囲気を作る。
		5	○前期の個人目標	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身で目標を設定し、どのように改善していくかを考えられるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の実態に配慮した題材を取り入れる。
		6	○学級活動（掲示物作成、話し合い） 「クラス目標」	<ul style="list-style-type: none"> お互いの意見を尊重しあう大切さを学び、友達との親睦を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、タブレット端末や視覚支援を取り入れる。
		7	○学級活動（掲示物作成） 「年間行事」	<ul style="list-style-type: none"> 友達と協力をする意識を高める。 自分の意見を整理して伝えることができるようになる。 お互いの意見を尊重しあう大切さを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の生活に身近な事例を挙げ、イメージしやすいようにする。
	9	○クラスレクリエーション（サッカー、卓球など）	<ul style="list-style-type: none"> 自分の役割を理解して取り組む。 お互いの意見を尊重しあう大切さを学ぶ。 ルールを守り、活動に取り組む態度を身に付ける。 		
後期	2学期	10	○後期の目標	<ul style="list-style-type: none"> 1学期を振り返って目標を設定し、どのように改善していくかを考えられるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 手順や動線を分かりやすく示す。
		11	○学級活動（掲示物作成、話し合い） 「お互いの進路について」	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を整理して、友達が理解できるよう伝えることができる。 友達からの意見や助言を聞いて、自分の考えを深めたり修正したりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態に合わせて対応する。 レクリエーションの例を示したり、必要に応じて助言をしたりする。
		12	○2学期の反省	<ul style="list-style-type: none"> 2学期を振り返り、正しく自己評価を行うことができる。 お互いの目標に対しての振り返りを伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて手順を示す。
	3学期	1	○クラスレクリエーション（ゲーム、買い物学習など）	<ul style="list-style-type: none"> 簡単なレクリエーションを企画運営し、活動全体に見通しをもてるようになる。 自分の役割を理解して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態に合わせて対応する。
		2	○学級活動（活動、話し合い） 「卒業に向けて」	<ul style="list-style-type: none"> 簡単なレクリエーションを企画運営し、活動全体を主体的に運営する力をつける。 	<ul style="list-style-type: none"> レクリエーションの例を示したり、必要に応じて助言したりする。
3	○学級活動 「卒業式練習」	<ul style="list-style-type: none"> 自分の役割に進んで取り組む。 自分の役割を考えて、より良いものにするよう取り組む。 			

令和5年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）		
教科・領域等名	特別活動	クラス・グループ	E組		
教科・領域等の 目標	(1) 自分を理解し、互いを認め合うことの大切さを学ぶ。 (2) 集団生活のルールや自分に与えられた役割を意識し、主体的に活動に取り組む。 (3) コミュニケーションを大切にし、他者と調和を図る力を身に付ける。				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい	指導の工夫及び活用する教材等		
通年	○奉仕活動（委員会） ○キャリアパスポート	・自分の役割を理解して進めることができるようになる。 ・自ら考え、積極的に活動に取り組むことができるようになる。 ・学んだことを生かして次の課題にも取り組み、責任をもって最後まで役割を果たそうとする。 ・自他の個性を理解、尊重し、よりよい人間関係が形成できるようになる。 ・悩みや課題に対して、解決策を考えることができるようになる。 ・キャリア形成と自己実現について主体的に取り組むことができるようになる。	・ICT機器 ・文字・絵カード ・ICT機器 ・冊子 ・文字・絵カード		
前期	1学期	4	○学級活動 ・係、クラス目標決め ・掲示物作成	・友達と協力をする意識を高める。 ・自分の意見を整理して伝えることができるようになる。 ・お互いの意見を尊重しあう大切さを学ぶ。	・分かりやすく説明する。 ・意見を出しやすい雰囲気を作る。 ・個別に確認をする場面を設定する。 ・取り組める題材を取り入れる。 ・必要に応じて、タブレット端末や視覚支援を取り入れる。 ・身近な事例を挙げ、イメージしやすいようにする。
		5	○1学期の目標	・自分自身で目標を設定し、どのように改善していくかを考えられるようになる。	
		6	○クラスレクリエーション	・簡単なレクリエーションを通して、ルールや順番（待つこと）などを身に付ける。 ・お互いの意見を尊重しあう大切さを学び、友達との親睦を深める。	
		7	○学級活動 ・1学期の振り返り、まとめ	・自分の意見を整理して伝えることができるようになる。 ・自分の役割と活動を振り返り、目標の自己評価ができる。	
	9	○2学期の目標	・自分自身で目標を設定し、どのように改善していくかを考えられるようになる。		
後期	2学期	10	○クラスレクリエーション	・簡単なレクリエーションを協力して企画運営する。 ・活動全体に見通しをもてるようになる。 ・自分の役割を理解して取り組む。	・取り組める題材を取り入れる。 ・必要に応じて、タブレット端末や視覚支援を取り入れる。 ・レクリエーションの例を示したり、必要に応じて助言をしたりする。 ・個別に確認をする場面を設定する。 ・意見を出しやすい雰囲気を作る。 ・個別に確認をする場面を設定する。
		11			
		12	○学級活動 ・2学期の振り返り、まとめ	・自分の意見を整理して伝えることができるようになる。 ・自分の役割と活動を振り返り、目標の自己評価ができる。	
	3学期	1	○3学期の目標	・自分自身で目標を設定し、どのように改善していくかを考えられるようになる。	
		2	○校外学習に向けての話し合い	・友達と協力をする意識を高める。 ・自分の意見を整理して伝えることができるようになる。 ・お互いの意見を尊重しあう大切さを学ぶ。	
3	○学級活動 ・3年間の振り返り、まとめ ・卒業に向けて	・自分の役割に進んで取り組む。 ・自分の役割を考えて、より良いものにするよう取り組む。	・生徒の実態に合わせて対応する。		

令和5年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）			
教科・領域等名	特別活動	クラス・グループ	F組			
教科・領域等の目標	(1) 自分を理解し、互いを認め合うことの大切さを学ぶ。 (2) 集団生活のルールや自分に与えられた役割を意識し、主体的に活動に取り組む。 (3) コミュニケーションを大切にし、他者と調和を図る力を身に付ける。					
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい	指導の工夫及び活用する教材等			
通年	○奉仕活動（委員会） ○キャリアパスポート	・自分の役割を理解して進めることができるようになる。 ・自ら考え、積極的に活動に取り組むことができるようになる。 ・学んだことを生かし、責任をもって役割を果たそうとする。 ・自他の個性を理解、尊重し、よりよい人間関係が形成できる。 ・悩みや課題に対して、解決策を考えることができるようになる。 ・キャリア形成と自己実現について主体的に取り組む。	・ICT機器を活用し、役割を明確に提示する。 ・ワークシートを用いて、具体例を示す。			
前期	1学期	4	○学級活動（掲示物作成、話し合い） ○前期の目標	・友達と協力をする意識を高める。 ・自分の意見を整理して伝えることができるようになる。 ・お互いの意見を尊重しあう大切さを学ぶ。 ・自分自身で目標を設定し、どのように改善していくかを考えられるようになる。	・ポイントを明確にして説明をする。 ・意見を出しやすい雰囲気を作る。	
		5	○クラス合同レクリエーション企画			・意見を出し合い、お互いの意見を尊重する。
		6				
		7	○学級活動 ・夏休みについて ○個人目標の振り返りと学期のまとめ			
	9	○後期の目標	・1学期を振り返って目標を設定し、どのように改善していくかを考えられるようになる。	・個別に確認をする場面を設定する。		
後期	2学期	10	○クラス合同レクリエーション企画	・お互いの意見を尊重しあう大切さを学ぶ。	・手順や動線を分かりやすく示す。	
		11	○学級活動 ・お互いの進路について	・自分の意見を整理して、友達が理解できるよう伝える。 ・友達からの意見や助言を聞いて、自分の考えを深めたり修正したりできる。	・個別に確認をする場面を設定する。	
		12	○2学期の振り返り	・2学期を振り返り、正しく自己評価を行うことができる。 ・お互いの目標に対しての振り返りを伝え合う。	・必要に応じて手順を示す。	
3学期	1	○リクエスト音楽	・好きな音楽を鑑賞し、感想を伝え合い、冊子にまとめることができる。	・生徒の実態に合わせて見本を見せたり対応したりする。		
	2	○学級活動 ・卒業に向けて	・自分の役割に進んで取り組む。 ・自分の役割を考えて、より良いものにするよう取り組む。	・生徒の実態に合わせて対応する。		
	3					

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）			
教科・領域等名	特別活動	クラス・グループ	G組			
教科・領域等の 目標	(1) 自分を理解し、互いを認め合うことの大切さを学ぶ。 (2) 集団生活のルールや自分に与えられた役割を意識し、主体的に活動に取り組む。 (3) コミュニケーションを大切にし、他者と調和を図る力を身に付ける。					
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい	指導の工夫及び活用する教材等			
通年	○奉仕活動（委員会） ○キャリアパスポート	・自分の役割を理解して進めることができるようになる。 ・自ら考え、積極的に活動に取り組むことができるようになる。 ・学んだことを生かして次の課題にも取り組み、責任をもって最後まで役割を果たそうとする。 ・自他の個性を理解、尊重し、よりよい人間関係が形成できるようになる。 ・悩みや課題に対して、解決策を考えることができるようになる。 ・キャリア形成と自己実現について主体的に取り組むことができるようになる。	・ICT機器 ・文字・絵カード ・ICT機器 ・冊子 ・文字・絵カード			
前期	1学期	4	○学級づくり（掲示物作成、目標）	・学級のルールを理解し、それらを守って学校生活を送る。 ・自らの課題を意識した個人目標の設定ができ、その達成に向けて努力できる。 ・クラスの仲間と役割を分担したり、協力したりして活動することができる。	・端的で分かりやすい説明をする。	
		5	○クラス合同レクリエーション企画	・友達の発表や意見に対し最後まで聞き、自分の意見も伝えることができる。 ・自分の役割に責任をもち、周囲の状況を確認しながら主体的に活動に取り組む。	・意見を出しやすい雰囲気を作る。 ・生徒が興味や関心をもって、主体的に取り組める題材を取り入れる。	
		6	○1学期のまとめ ・目標に対する振り返り ・学期のまとめ	・お互いの意見を尊重し合う大切さを学び、友達との親睦を深める。 ・学校行事の事前・事後学習では、積極的に学習に参加し、自分の役割を果たす。	・必要に応じて、タブレット端末や視覚支援を取り入れる。 ・生徒の生活に身近な事例を挙げ、イメージしやすいようにする。	
		7	○夏休みに向けて ・目標発表	・長期休業中の約束事を確認し、安全に過ごす。 ・自分の生活を豊かにする余暇の過ごし方を知る。		
	9					
後期	2学期	10	○学期の過ごし方 ・夏休みの思い出 ・目標決め	・自らの課題を意識した個人目標の設定ができ、その達成に向けて努力できる。 ・友達の発表を最後まで聞くことができる。発表の中で気になった点は、適切な表現や方法で質問ができる。	・端的で分かりやすい説明をする。 ・話を聞く態度を伝える。	
		11	○2学期のまとめ ・目標の振り返り ・学期のまとめ	・自分の生活や態度、行事の内容などを振り返り、感想などを発表することができる。 ・長期休業中の約束事を確認し、安全に過ごす。	・生徒の生活に身近な事例を挙げ、イメージしやすいようにする。	
		12	○学級活動 ・レクリエーション	・クラス全員で楽しめるレクリエーションを考える。 ・友達の意見や希望を受け止め、自分の意見を伝えられるようになる。	・意見を出しやすい環境を作る。 ・全員が意見を出せるようにする。	
	3学期	1				
		2	○卒業に向けて	・卒業式の流れや正しい態度を知り、自分の態度を振り返る。 ・自分の役割りを考えて、より良いものにするよう取り組む。	・映像などを活用しイメージをもちやすくする。	
		3				

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（総合類型）		
教科・領域等名	特別活動	クラス・グループ	H組		
教科・領域等の 目標	(1) クラスの仲間を尊重し、協力する態度を養う。 (2) 自分の役割に積極的に取り組み、責任をもって最後まで活動する力を育てる。 (3) 学級の一員としての自覚をもち、主体的に考えて活動できる力を付ける。				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい	指導の工夫及び活用する教材等		
通年	○奉仕活動（委員会） ○キャリアパスポート	・自分の役割を理解して進めることができるようになる。 ・自ら考え、積極的に活動に取り組むことができるようになる。 ・学んだことを生かして次の課題にも取り組み、責任をもって最後まで役割を果たそうとする。 ・自他の個性を理解、尊重し、より良い人間関係が形成できるようになる。 ・悩みや課題に対して、解決策を考えることができるようになる。 ・キャリア形成と自己実現について主体的に取り組むことができるようになる。	・ICT機器 ・文字・絵カード ・ICT機器 ・冊子 ・文字・絵カード		
前期	1学期	4	○学級活動（掲示物作成、話し合い） 「3年生の自覚」 ○1学期の目標	・友達と協力をする意識を高める。 ・自分の意見を整理して伝えることができるようになる。 ・お互いの意見を尊重しあう大切さを学ぶ。 ・自分自身で目標を設定し、どのように改善していくかを考えられるようになる。	・手順や動線を分かりやすく示す。 ・生徒の実態に合わせて対応する。 ・レクリエーションの例を示したり、必要に応じて助言をしたりする。
		5	○クラスレクリエーション（ゲーム、買い物学習など）	・簡単なレクリエーションを企画運営し、活動全体に見通しをもてるようになる。 ・自分の役割を理解して取り組む。	・必要に応じて助言を示す。
		6	○自己を見つめて ・キャリアパスポート作成	・実習体験をもとに、自分の課題を知って、解決の手立てを考えられるようになる。	・生徒の実態に合わせて対応する。
		7	○1学期の反省 ○学級活動（掲示物作成、話し合い） 「夏休みについて」	・1学期の目標を振り返り、正しく自己評価を行うことができる。 ・友達と協力をする意識を高める。 ・自分の意見を整理して伝えることができるようになる。 ・お互いの意見を尊重しあう大切さを学ぶ。	・必要に応じて助言をする。
	9	○2学期の目標 ○学級活動（掲示物作成、話し合い）	・1学期を振り返って目標を設定し、どのように改善していくかを考えられるようになる。 ・自分の役割を理解して取り組む。 ・お互いの意見を尊重しあう大切さを学ぶ。		
後期	2学期	10	○学級活動（掲示物作成、話し合い） 「お互いの進路について」	・自分の意見を整理して、友達が理解できるよう伝えることができる。 ・友達からの意見や助言を聞いて、自分の考えを深めたり修正したりできる。	・必要に応じて手順を示す。 ・生徒の実態に合わせて対応する。
		11	○2学期の反省	・2学期の目標を振り返り、正しく自己評価を行うことができる。 ・お互いの目標に対しての振り返りを伝え合う。	
		12	○自己を見つめて ・キャリアパスポート作成 ○3学期の目標	・実習体験をもとに、自分の課題を知って、解決の手立てを考えられるようになる。 ・2学期を振り返って目標を設定し、どのように達成していくかを考える。 ・簡単なレクリエーションを企画運営し、活動全体を主体的に運営する力をつける。	・必要に応じて手順を示す。 ・生徒の実態に合わせて対応する。
	3学期	1	○クラスレクリエーション（ゲーム、買い物学習など）	・自分の役割に進んで取り組む。	
		2	○学級活動（活動、話し合い） 「卒業に向けて」	・自分の役割を考えて、より良いものにするよう取り組む。	
		3	○学級活動 「卒業式練習」		

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級(類型)	3年・重度重複学級					
教科・領域等名	総合的な探究の時間		クラス・グループ					
教科・領域等の目標	(1)必要な情報を教員と一緒に探したり、調べたりすることができる。(知) (2)動画やロールプレイを通して交通安全や公共施設でのマナーについて考え、正しい行動を選択することができる。(思) (3)自助、共助、公助に関する知識を体験的に知り、まとめたものを発表する。(態)							
単元(題材)名・主な学習内容		単元毎のねらい	指導の工夫及び活用する教材等					
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全について 歩行時の交通安全の注意点や身近な危険を調べる。 安全な交差点や横断歩道の渡り方の動画作り。 交通安全について考える まとめ、発表する 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行時の交通安全の注意点や身近な危険について知る。(知) 実際に学校周辺の交差点や横断歩道へ行って、安全確認や危険に注意して横断できる。(思) 安全な交差点や横断歩道の渡り方をまとめた動画を教員と一緒に仲間と協力して取り組む。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 視覚的に理解できるよう工夫する。 ロールプレイを通して体験する。 参考となる動画資料を用意する。 タブレット端末を使って動画撮影。 			
		5						
		6						
		7						
後期	2学期	9	<ul style="list-style-type: none"> 「燃えるごみ」「燃えないごみ」「リサイクルごみ」について、それらに分類されるものを知る。(知) 分別を体験し教員と一緒に考える。(思) 自らリサイクル活動に取り組もうとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 「燃えるごみ」「燃えないごみ」「リサイクルごみ」について、それらに分類されるものを知る。(知) 分別を体験し教員と一緒に考える。(思) 自らリサイクル活動に取り組もうとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 「燃えるごみ」「燃えないごみ」「リサイクルごみ」について、それらに分類されるものを知る。(知) 分別を体験し教員と一緒に考える。(思) 自らリサイクル活動に取り組もうとしている。(態) 			
		10						
		11						
	3学期	12				<ul style="list-style-type: none"> ○周辺の公共施設について 学校周辺にある公共施設について調べる。 公共施設の利用についてのルールやマナーについて動画づくり。 なぜ利用時のマナーやルールが必要か体験を通して考える。 まとめ、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校周辺ある公共施設の利用についてのルールやマナーについて知る。(知) ルールやマナーを意識して実際に周辺の公共施設を利用する。(思) 公共施設の利用のルールやマナーをまとめた動画を教員と一緒に仲間と協力して取り組む。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末を使って学校周辺の地図を見ながら探せるようにする。 ICT 機器やスライドを活用して、視覚的にも分かりやすい内容にする。 ロールプレイを通して体験する。 タブレット端末を使って動画撮影。
		1						
2	<ul style="list-style-type: none"> ○人との関わり方や社会人の生活について考える 	<ul style="list-style-type: none"> 社会におけるルールやマナーを知る。(知) 学生と社会人の違いを考え、卒業後の変化や気を付けるべきことについて考える。(思) 自ら適切なコミュニケーションのマナーについての練習に取り組もうとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> 社会におけるルールやマナーを知る。(知) 学生と社会人の違いを考え、卒業後の変化や気を付けるべきことについて考える。(思) 自ら適切なコミュニケーションのマナーについての練習に取り組もうとしている。(態) 					
3								

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）				
教科・領域等名	総合的な探究の時間		クラス・グループ				
教科・領域等の目標	(1) 自分たちが住んでいる地域環境や地域の防災について知る。(知) (2) 公共のマナーや社会人としての生活について知る。(知) (3) 環境に応じた生活様式や、よりよい生活について考えたり選択したりすることができる。(思) (4) 自分自身の課題に対して、改善に向け考えを発表したり他者の意見を聞いたりするなかで、よりよい方法を選んで取り組むことができる。(態)						
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等				
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○安全に関する学習① ・交通ルール、マナー 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全ルールを正しく理解する。(知) ・自分の命を守るために必要な事柄を考える。(思) ・友達の行動を見て、自分の行動を省み、発表する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的に理解できるよう教材を工夫する。 ・探究すべき事柄を常に意識できるよう、視覚的教材を多く取り入れる。 ・実践の難しい事柄については、ICT機器等を活用して実践例を動画で確認する。 		
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○環境に関する学習① ・春から夏にかけての気候の変化 ・雨の降り方や災害について 			<ul style="list-style-type: none"> ・天気や気温、降水など予報の見方を知り、記録する。(知) ・災害等の原因を調べたり、対処法を考えたりする。(思) ・快適・安全に暮らす方法について、自ら調べたり適切な方法を選んだりすることができる。(態) 	
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○安全に関する学習② 				<ul style="list-style-type: none"> ・大災害が発生したときの正しい知識を身に付ける。(知) ・大災害が発生したときに取るべき行動について考える。(思) ・大災害への理解を深め、適切な行動についてまとめ、発表する。(態)
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○環境について ・ごみの種類、分別 				
9							
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○環境に関する学習② ・秋から冬にかけての気候の変化 ・寒さと防寒の方法について ・電気とエネルギーの関係について ・環境に優しい生活について 	<ul style="list-style-type: none"> ・天気や気温、降水など予報の見方を知る。(知) ・天気の記録から、暑さや寒さを考えることができる。(思) ・凍結や雪など、不快さや危険を感じる気候について考える。(思) ・快適・安全に暮らす方法について、自ら調べたり適切な方法を選んだりする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的に理解できるよう教材を工夫する。 ・探究すべき事柄を常に意識できるよう、視覚的教材を多く取り入れる。 ・実践の難しい事柄については、ICT機器等を活用して実践例を動画で確認する。 		
		11				<ul style="list-style-type: none"> ・自分や他者の長所を知る。(知) ・学生と社会人の違いを考え、卒業後の変化や気を付けるべきことについて考え、理解を深める。(思) ・適切なコミュニケーションのマナーについて意見を集約し、発表する。(態) 	
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○人との関わり方 ・自己理解、他社理解 ・社会人の生活 				
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○安全に関する学習③ 	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話やインターネットの、正しい使い方が分かる。(知) ・携帯電話やインターネットを安全に扱うために自分自身が気を付けることを考える。(思) ・話し合った内容やまとめたものを発表する。(態) 			
		2					
3							

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年C組（基礎類型）	
教科・領域等名	総合的な探究の時間	クラス・グループ	C組	
教科・領域等の目標	(1) 環境問題や防災問題など身近な生活上の課題を知る。(知) (2) 地球環境にやさしい生活や防災の対応方法を考える。(思) (3) 環境や防災を意識した生活様式を考え発表する。(態)			
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなリサイクルマークを知る。(知) ・リサイクルマークが何のためにあるのか考える。(思) ・ごみを捨てる時に多様なリサイクルマークを調べるようになる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な商品を提示し、多くの商品の中に記されていることを感じやすくする。 ・記録はタブレット端末を活用し、写真で保存するなど生徒が使いやすくする。 ・タブレット端末を有効活用し、発表資料もタブレット端末を活用する。
		5		
		6		
		7		
		9		
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの自然災害について特徴を知る。(知) ・災害に応じた避難方法、対処方法を考える。(思) ・調べたことの発表方法を考えを、発表する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・理解しやすい簡単なビデオを中心に視聴する。 ・身近な事例や実際の事例などを視覚的に理解しやすくする。
		11		
		12		
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ・(知)多様な防災の知らせ方を知る。(知) ・(思)効果的に伝えるビデオの方法を考える。(思) ・みんなで協力してビデオを作る。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の啓発ビデオをたくさん見てイメージをつけやすくする。 ・タブレット端末を活用し、編集作業にも取り組めるようにする。 ・必要に応じて静止画や自分達で描いた絵なども活用する。
		2		
		3		

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）		
教科・領域等名	総合的な探究の時間	クラス・グループ	D組		
教科・領域等の目標	(1) 身近な活動・集団から、地域で生きるために必要な知識やスキルを身に付ける。(知) (2) 自己と向き合い、長所や個性を活かしながら、心身の健康を増進する意識を高める。(思) (3) 地域で生活する意識を高め、自分のできることを探したり、行動したりする。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	○SDG sを知ろう ○身の周りのSDG sに係るものを見つけよう①	<ul style="list-style-type: none"> ・SDG sの概念を理解している。(知) ・幸せな世界は何かを考え、SDG sとの関連を図ることができる。(思) ・SDG sの17の目標のイラストの内容を予測しようとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的教材を多く取り入れる。 ・ICT機器
		5			
		6			
		7			
		9			
後期	2学期	10	○地域の課題を見つけよう ○身の周りのSDG sに係るものを見つけよう② ○プロジェクトを考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・SDG sの視点で地域の魅力や課題を認識することができる。(知) ・学習した地域の魅力や課題を表現することができる。(思) ・地域の魅力や課題に関心をもとうとしている。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器
		11			
		12			
	3学期	1			
		2			
		3			

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）	
教科・領域等名	総合的な探究の時間		E組	
教科・領域等の目標	(1) 身近な活動・集団から、地域で生きるために必要な知識やスキルを身に付ける。(知) (2) 自助、共助、公助に関する知識を体験的に知り、地域で生活する意識を高める。(思) (3) 公共のマナーや社会人としての生活について知り、自身の課題に気付いたり、よりよい生活について考えたり選択したりすることができる。(態)			
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○安全に関する学習 ・公共交通機関のルールやマナーを知る。(知) ・乗車時のマナーを考える。(思) ・主体的に体験活動に参加する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイを通して体験する。 ・模造紙
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○人との関わり方について ・自分と他者の思いは違うことを知る。(知) ・他者の思いについて考える。(思) ・自分と他者の思いの違いを理解し、よりよい対応ができるようになる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・ICT教材 ・ロールプレイを通して体験する。
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○自己理解に関する学習 ・イライラの解消方法を知る。(知) ・怒りや後ろ向きな気持ちとの付き合い方を考える。(思) ・適切な表現方法を覚える。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・ICT教材
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○防災に関する学習 ・ピクトグラムについて ・ピクトグラムについて知る。(知) ・表示の意味するものについて考える。(思) ・かるたにまとめ、活用できる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的に理解できるよう工夫する。 ・ICT教材 ・画用紙等
	9			
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○SDG s ・SDG sの17の目標と内容を知る。(知) ・持続可能な社会を実現するために自分にできることを考える。(思) ・17の目標から1つを選び、調べ、発表をすることができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器やスライドを活用して、視覚的にも分かりやすい内容にする。
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○安全に関する学習 ・災害が発生した時の正しい知識を身に付ける。(知) ・適切な行動を友達同士で話し合い、発表する。(思) ・主体的に体験活動に参加する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的教材や具体物を多く取り入れる。
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○人との関わり方について ・適切な人との距離を知る。(知) ・適切な距離を友達同士で話し合い、意見を表明することができる。(思) ・適切な距離を検討し、まとめ・発表することができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイを通して体験する。
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○人との関わり方について 卒業に向けて ・卒業式に向けた活動の中での自分の役割を認識して行動することができる。(知) ・在校生、保護者に感謝の気持ちを伝える内容を考える。(思) ・卒業式に向けた活動を通して、感謝の気持ちを表現することができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的にもイメージを持ちやすくするために、ICT機器や視聴覚教材を活用する。
		2		
		3		

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）		
教科・領域等名	総合的な探究の時間		クラス・グループ		
教科・領域等の目標	(1) 身近な活動・集団から、地域で生きるために必要な知識やスキルを身に付ける。(知) (2) 自助、共助、公助に関する知識を体験的に知り、地域で生活する意識を高める。(思) (3) 公共のマナーや社会人としての生活について知り、自身の課題に気付いたり、よりよい生活について考えたり選択したりすることができる。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○自分自身に関する学習 ・自他のよいところ 	<ul style="list-style-type: none"> ・長所について知る。(知) ・自分と他者の長所を考える。(思) ・自分と他者の長所についてまとめたものを掲示する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的に理解できるように、ICT機器を活用する。
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○環境に関する学習 ・ごみの種類や分別 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの種類や分別について知る。(知) ・ごみの分別理由について考え、仮説をたてる。(思) ・調べた内容をまとめて実践しようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例を挙げてイメージしやすくする。
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○安全に関する学習 ・安全な登下校の方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時の危険な場所について知る。(知) ・危険を回避するための方法を考える。(思) ・危機回避の方法についてまとめ、発表する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイを通して体験する。
		7			
	9	<ul style="list-style-type: none"> ○防災に関する学習 ・ピクトグラムについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピクトグラムについて知る。(知) ・表示の意味するものについて考える。(思) ・まとめたものを発表したり、掲示したりする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べる内容を明確に提示し、適宜教員と確認をする。 	
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○環境に関する学習 ・衣服のリサイクルについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルについて知る。(知) ・自分たちが身に着けている衣服について考える。(思) ・リサイクルについてまとめたものを掲示して発表する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的教材を多く取り入れる。
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○自己理解 ・食生活や予防 	<ul style="list-style-type: none"> ・健全な食生活や病気の予防について理解する。(知) ・自分の生活について振り返り、自身の課題について考える。(思) ・自分の特性を理解し、よりよい生活を目指して自己決定できるようになる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを用いて、話し合いの場を設定する。
		12			
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○他者理解 ・ものの見方や感じ方 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己と他者との違いを知る。(知) ・適切な付き合い方について考える。(思) ・自己と他者の違いを認め、受け入れようとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを明確にし、意見を出し合う場面を設ける。
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○セーフティー教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話やインターネット等の正しい使い方を知る。(知) ・自分の特性を理解し、よりよい活用方法を考える。(思) ・話し合った内容やまとめたものを発表する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・シチュエーションをイメージしやすいよう具体的に提示する。
3					

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（基礎類型）						
教科・領域等名	総合的な探究の時間		クラス・グループ						
教科・領域等の目標	(1) 公共のマナーや社会人としての生活、地域や防災について知る。(知) (2) 環境に応じた生活様式や、よりよい生活や健康について考えたり選択したりすることができる。(思) (3) 公共のマナーや社会人としての生活について知り、自身の課題に気付いたり、よりよい生活について考えたり選択したりすることができる。(態)								
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等						
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○安全に関する学習① 	<ul style="list-style-type: none"> ・命を守るために必要な交通ルールなどの知識を身に付ける。(知) ・友達の行動を見て、自分の行動を省みることができる。(思) ・自分の生活や環境の中に、学んだことを活かすことができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的に理解できるように工夫する。 				
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○地域を知ろう ・公共施設利用のマナーに関する学習 			<ul style="list-style-type: none"> ・地域の道路や施設等を知り、掲示物にまとめることができる。(知) ・社会におけるルールやマナーを知り、意識することができる。(思) ・学びを活かし、実際に施設を利用することができる。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に利用体験を計画する。 ・振り返りしやすいよう、視覚的教材を多く取り入れる。 ・訓練等での体験と関連させ、よりイメージをもちやすくする。 ・ロールプレイ等を通して体験する。 		
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○防災について考えよう 					<ul style="list-style-type: none"> ・自分の命を守るために必要な知識を知る。(知) ・身の守り方や非常時における、とるべき行動の仕方を考える。(思) ・防災を模擬体験し非常時における行動の仕方を訓練等に活かす。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練等での体験と関連させ、よりイメージをもちやすくする。 ・ロールプレイ等を通して体験する。
		7							
	9		<ul style="list-style-type: none"> ・訓練等での体験と関連させ、よりイメージをもちやすくする。 ・ロールプレイ等を通して体験する。 						
後期	2学期	10		<ul style="list-style-type: none"> ○自然や環境に関する学習 ・フードロス ・健康と食生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康と食生活、フードロスについて知り、掲示物にまとめることができる。(知) ・健康と食生活、フードロスについて学び、自分たちにできることを考えることができる。(思) ・学んだことを日常生活で行動に移すことができる。(態) 				
		11		<ul style="list-style-type: none"> ○安全に関する学習② ・セーフティ教室 		<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話やインターネット等の正しい使い方を知る。(知) ・自分の特性を理解し、よりよい活用方法を考える。(思) ・話し合った内容やまとめたものを発表する。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的な活動を取り入れ、実感を持ちやすくする。 		
		12		<ul style="list-style-type: none"> ○1年間のまとめ 				<ul style="list-style-type: none"> ・1年間で取り組んできた内容を振り返る。(知) ・1年間の学習を振り返り、学んだことから、自分自身の考えや行動の変化を自覚することができる。(思) ・年間を通し学んだことを日々の生活やこれからの生活に活かそうとする。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを使用したり、友達からの意見を吸い上げたりして、客観的に振り返れるようにする。 ・ロールプレイ等を通して体験する。
	3学期	1							
2			<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを使用したり、友達からの意見を吸い上げたりして、客観的に振り返れるようにする。 ・ロールプレイ等を通して体験する。 						
3		<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを使用したり、友達からの意見を吸い上げたりして、客観的に振り返れるようにする。 ・ロールプレイ等を通して体験する。 							

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・普通学級（総合類型）		
教科・領域等名	総合的な探究の時間	クラス・グループ	H組		
教科・領域等の目標	(1) 自分たちが住んでいる地域環境や地域の防災について知る。(知) (2) 公共のマナーや社会人としての生活について知る。(知) (3) 環境に応じた生活様式や、よりよい生活について考えたり選択したりすることができる。(思) (4) 自分自身の課題に対して、改善に向け考えを発表したり他者の意見を聞いたりするなかで、よりよい方法を選んで取り組むことができる。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	○安全に関する学習① ・地域を知ろう ・公共施設利用のマナーに関する学習	・自分の命を守るために必要な知識を身に付ける。(知) ・友達の行動を見て、自分の行動を省みることができる。(思) ・地域の施設等調べたことを、協力して掲示物にまとめようとしている。(態) ・社会におけるルールやマナーを知る。(知) ・安全やマナーとは何かを考え、意識することができる。(思) ・学びを活かし、実際に施設を利用することができる。(態)	・視覚的に理解できるように ICT 機器を活用する。 ・実際に利用体験を計画する。
		5	○防災について考えよう	・発災時の身の守り方を知る。(知) ・身の守り方や非常時における、取るべき行動の仕方を考える。(思) ・地震や火災を模擬体験し、非常時における行動の仕方をまとめ、仲間と協力して発表したり、掲示したりできる。(態)	・訓練等と関連させ、イメージをもちやすくする。 ・ロールプレイ等を通して体験する。
		6	○進路や自立に関する学習	・現場実習等への心構えや自立に向け必要な力を知る。(知) ・今できることは何か、話し合ったり、考えたりすることができる。(思) ・自立に向けて調べたことをまとめ、発表することができる。(態)	・視覚的教材を多く取り入れ、イメージしやすくする。
		7			
	9				
後期	2学期	10	○自然や環境に関する学習 ・SDGsとは？ ・リサイクル、フードロス	・SDGsについて知り、掲示物にまとめることができる。(知) ・リサイクルやフードロスについて学び、自分たちにできることを考えることができる。(思) ・学んだことを日常生活で行動に移すことができる。(態)	・ICT機器を活用して、視覚的に分かりやすい内容を工夫する。
		11	○自分自身に関する学習	・自分自身を振り返り、自分の長所や苦手な面を知る。(知) ・自分の長所を伸ばしたり、苦手なことを補ったりするにはどうしたらいいか、友達と意見を出し合うなどより良い方法を考える。(思) ・学んだことを日々の生活に活かそうとすることができる。(態)	・実践的な活動を取り入れ、実感を持ちやすくする。
		12	○人との関りに関する学習	・よりよい対人関係について知る。(知) ・人とかかわりについて日々の行動を振り返ったり、意見を交換したりできる。(思) ・他者の考え方に触れ、自分自身の生活、家族や友達との関係に活かそうとワークシート等にまとめることができる。(態)	・ワークシートを使用したり、友達からの意見を吸い上げたりして、客観的に振り返れるようにする。
	3学期	1			
		2	○安全に関する学習②	・携帯電話やインターネット等の、正しい使い方を知る。(知) ・自分の特性を理解し、よりよい活用方法を考える。(思) ・話し合った内容やまとめたものを発表できる。(態)	・イメージをもちやすいよう具体的に提示する。
		3			

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	3年・重度重複学級		
教科・領域等名	自立活動	クラス・グループ	A組		
教科・領域等の目標	(1) 身体機能の維持と健康促進を目指す。(健康の保持、身体の動き) (2) 他者との関わり合いの中で対人関係の形成を広げ、集団に参加できる力を培う。 (コミュニケーション、人間関係の形成) (3) 身近スキルを通して日常生活に必要な基本動作の向上を目指し、場の変化に対応できる力を付ける。 (環境の把握) (4) 活動に見通しをもち、達成感や満足感を得る体験を積む。(心理的な安定)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ○身体活動 (ストレッチ、階段昇降、校内・外歩行、水分補給等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体を動かすことに慣れ、身体への緊張感をほぐす。 ・校内・外の歩行を通して、足腰のバランス感覚や強化を図る。 ・体力の保持増進、健康の維持、適切な水分補給に取り組む。 ・課題に見通しをもち、主体的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心できる環境を整える。 ・実態に応じた自立課題を設定する。 ・見通しがもてるように教材教具の工夫をする。
		5	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーション活動 (言葉、サインやカードでの意思表示や方法等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して教員や友だちと関わる。 ・コミュニケーションカードを活用して、適切に要求を伝える。 	
		6	<ul style="list-style-type: none"> ○手指機能 (ペグさし、マッチング、洗濯ばさみ等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・手指機能や身辺処理の課題を一つずつ行い、繰り返し練習することで向上力をつける。 ・決められた時間、集中して課題に取り組む。 	
		7	<ul style="list-style-type: none"> ○身辺処理トレーニング (着替え、排泄トレーニング等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションカードや教員とのやり取りを通して、定時排泄を意識する。 	
	9				
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> ○身体活動 ストレッチ、水分補給等 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力の保持増進、健康の維持、水分補給に取り組む。 ・いろいろな体の動かし方を知る。 	
		11	<ul style="list-style-type: none"> ○集団行動 校内・外歩行、集団活動等 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内・外の歩行を通して、足腰のバランス感覚や強化を図る。 ・一列に並んで歩くことにより、集団への意識を高める。 ・教員の支援を受けながら、交通マナーを守る。 	
		12	<ul style="list-style-type: none"> ○心理的な安定 アロマセラピー、ソルフエジオヒーリング、ハンモック、バランスボール等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンモックやバランスボールで浮遊感を感じ、自らの力（身体）を他人や道具に預け、自分の身体をコントロールしようとする等の意識や感覚を高める。 	
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーション活動 言葉やサイン等での意思表示 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して教員や友だちと関わりを広げる。 ・コミュニケーションカードを活用して、適切に要求を伝える。 	
		2	<ul style="list-style-type: none"> ○手指の巧緻性向上 ペグさし、マッチング等 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別課題学習で、手指機能や身辺処理の課題を一つずつ続けて練習することでスキルアップを図る。 ・集中して課題に取り組む時間を延ばす。 ・課題に見通しをもち、自発的に取り組む。 	
		3	<ul style="list-style-type: none"> ○セルフコントロール ブロック、パズル等 		
		3	<ul style="list-style-type: none"> ○身辺処理トレーニング 着替え、トイレ等 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションカードや教員とのやり取りを通して、定時排泄を意識する。 	